

官報 號 外

大正十年三月十六日 水曜日

印刷局

第四十四回衆議院議事速記録第二十七號

大正十年三月十五日(火曜日)午後一時十八分開議

議事日程 第二十六號 大正十年三月十五日

午後一時開議

質問

一 德島市長選舉ニ關スル質問(野田文一郎君提出)

二 官吏ト政黨員トカ權力ヲ濫用シ官規ヲ紊リ民心ヲ害ヒ自治ヲ破壞シタル事實ニ關スル質問(山道襄一君提出)

三 大井浦鹽派遣軍司令官ノ責任ニ關スル質問(田中武雄君提出)

四 霞ヶ浦沿岸江戸崎入干拓ニ關スル質問(田中萬逸君提出)

五 滿洲ニ於ケル施政方針ニ關スル質問(吉野小一郎君提出)

六 東京市及其ノ附近ニ於ケル颱風及海嘯ニ依ル水害防備ニ關スル質問(太田信治郎君外一名提出)

第一 府縣制中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 北海道會法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三 北海道地方費法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 郡制廢止ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第五 衆議院議員選舉區ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第六 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉產業組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 住宅組合法案(政府提出) 第一讀會

第八 明治四十一年法律第三十五號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第九 明治四十一年法律第三十五號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十 小田原電氣鐵道株式會社所屬軌道經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十一 市制中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十二 町村制中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十三 決議案(床次內務大臣不信任ノ件)(佐々木安五郎君提出) 第一讀會

第十四 樞密院官制改正ニ關スル建議案(副島義一君提出)

第十五 商務省及工務省設置ニ關スル建議案(與村安太郎君外一名提出)

第十六 癲狂院増設ニ關スル建議案(中馬與九君外三名提出)

第十七 傳染病豫防法改正ニ關スル建議案(松下禎二君外三名提出)

第十八 中央線淺川驛鹽山驛間電力速成ニ關スル建議案(三枝彦太郎君提出)

第十九 賣藥營業稅廢止ニ關スル建議案(高見之通君外二名提出)

第二十 大阪和歌山間鐵道敷設ニ關スル建議案(山口義一君外四名提出)

第二十一 國分岩川間鐵道敷設ニ關スル建議案(日野辰次君外一名提出)

第二十二 櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案(津野田是重君外九名提出)

第二十三 勢江鐵道速成ニ關スル建議案(天春文衛君外七名提出)

第二十四 西條松山間鐵道豫定線一部變更ニ關スル建議案(成田榮信君外五名提出)

第二十五 溫泉政策ニ關スル建議案(成田榮信君外一名提出)

第二十六 港灣行政ニ關スル建議案(三善清之君外四名提出)

第二十七 鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案(袴田代君外七名提出)

第二十八 三原吳間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(井上角五郎君外三名提出)

第二十九 酒造稅法中改正ニ關スル建議案(中村清造君外四名提出)

第三十 農產物收穫調査及農家經濟調査確立ニ關スル建議案(土井權大君提出)

第三十一 軍人恩給法中改正ニ關スル建議案(近藤達見君提出)

第三十二 清酒ノ滓引及貯藏減量控除額増加ニ關スル建議案(山邑三郎君外二名提出)

第三十三 相可町大口港間鐵道敷設ニ關スル建議案(伊坂秀五郎君外四名提出)

第三十四 野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案(八田宗吉君外三名提出)

第三十五 柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(八田宗吉君外三名提出)

第三十六 濃飛鐵道速成ニ關スル建議案(匹田銳吉君外三名提出)

第三十七 僧侶其ノ他諸宗教師ノ被選舉權附與ニ關スル建議案(安藤正純君提出)

第三十八 東京外國語學校修業年限延長ニ關スル建議案(菅原傳君外三名提出)

第三十九 北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(伊藤廣錢君外四名提出)

第四十 木次三次間鐵道建設ニ關スル建議案(原夫次郎君外五名提出)

第四十一 落合木次間鐵道起工年度繰上ニ關スル建議案(佐野正雄君外五名提出)

第四十二 日向沿岸國庫補助港設定ニ關スル建議案(長峰與一君外二名提出)

第四十三 恩給法規ノ根本改正ニ關スル建議案(高木正年君外二名提出)

第四十四 福山三次間鐵道速成ニ關スル建議案(永屋茂君外三名提出)

第四十五 吉野縦貫鐵道建設ニ關スル建議案

(岩本平藏君外三名提出)

第四十六 癩豫防關係法規改正ニ關スル建議案

(中馬與九君外二名提出)

第四十七 山田川ニ河川法適用ニ關スル建議案

(原田藤次郎君外五名提出)

第四十八 鴨綠江岸道路修築ニ關スル建議案

(高見之通君外五名提出)

第四十九 京都監獄移轉ニ關スル建議案(竹上藤次郎君外三名提出)

第六十 六大都市特別市制速施ニ關スル建議案(奧村安太郎君外三名提出)

第五十一 國幣大社大山祇神社昇格ニ關スル建議案(深見寅之助君外五名提出)

第五十二 國幣大社大山祇神社國寶殿建築ニ關スル建議案(深見寅之助君外五名提出)

第五十三 山田豐岡間鐵道速成ニ關スル建議案

(長田桃藏君外一名提出)

第五十四 富山伏木間鐵道建設ニ關スル建議案

(高見之通君外三名提出)

第五十五 松江隱岐間海底電線増設速成ニ關スル建議案(若林德懋君外五名提出)

第五十六 金融機關整備ニ關スル建議案(河上哲太君外十一名提出)

第五十七 思想問題審議機關設置ニ關スル建議案(星島二郎君提出)

○議長(奧繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

(原田書記官朗讀)

所縣制中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道地方費法中改正法律案

郡制廢止ニ關スル法律案

衆議院議院選舉區ニ關スル法律案

(以上三月十四日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

官吏恩給及遺族扶助料増額ニ關スル法律案

提出者 荒川 五郎君 春日 俊文君

宇都宮岐阜及和歌山監獄ノ移轉促進ニ關スル建議案

提出者 植竹龍三郎君 山田 永俊君

久下 豐忠君

印紙稅免除ニ關スル建議案

提出者 安原仁兵衛君

帝國在鄉軍人會國庫補助ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君

稱號撤廢ニ關スル建議案

提出者 奧村安太郎君

哈港牛深間鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 池田 泰親君

楠浦港富岡間鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 池田 泰親君

北海道產業資金充實ニ關スル建議案

提出者 伊藤 廣幾君

橫須賀ヨリ浦賀三崎ヲ經テ三浦半島ヲ一周スル鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 森 格君

決議案(南滿鐵道會社ニ對スル監督責任ノ件)

提出者 箕浦 勝人君

市制中改正法律案ニ對スル修正案

提出者 小山 松壽君

町村制中改正法律案ニ對スル修正案

提出者 小山 松壽君

山形福島高知神戸德島及京都ノ監獄移轉ニ關スル建議案

提出者 戶符權之助君

澤木三郎兵衛君

坪田 十郎君

私立中學校私立高等女學校ニ補助金下附ニ關スル建議案

提出者 鳩山 一郎君

醫師ニ對スル適當ノ教育機關設置ニ關スル建議案

提出者 香川 保忠君

竹田三田井間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 吉良 元夫君

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

朝鮮ニ於ケル行政司法ノ衝突ニ關スル質問主意書

提出者 鮎川 盛貞君

蠶絲及織物ノ根本政策ニ關スル質問主意書

提出者 清水留三郎君

(以上三月十四日提出)

一 昨十四日政府ヨリ受領シタル各辯書左ノ如シ

衆議院議員高草美代藏君提出

市町村ノ自治體ヲシテ煙草元賣捌事務ヲ取扱ハシムルノ件ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員小池仁郎君外三名提出

小樽官有地處分ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員木村權右衛門君外一名提出

第四師團射的場ノ流彈ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員橫山勝太郎君外一名提出

言論自由ノ抑壓ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中善立君提出

鹿町炭礦買収ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員下岡忠治君外二名提出

昇格問題ニ付原内閣總理大臣及中橋文部大臣ノ貴族院ニ於ケル釋明ニ關スル質問ニ對スル答辯書

(市町村自治體ヲシテ煙草元賣捌事務ヲ取扱ハシムルノ件ニ關スル質問主意書ハ大正十年二月二十二日速記錄第十七號三五七頁掲載)

大正十年三月十四日

內閣總理大臣 原

敬

衆議院議長 奧繁三郎殿

衆議院議員高草美代藏君提出市町村自治體ヲシテ煙草元賣捌事務ヲ取扱ハシムル件ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員高草美代藏君提出市町村自治體ヲシテ煙草元賣捌事務ヲ取扱ハシムル件ニ關スル質問ニ對スル答辯書

市町村自治體ヲシテ煙草元賣捌事務ヲ取扱ハシムルモ其ノ收益ハ地方財政ヲ緩和スルノ效少クミナラス之レカ爲政府ノ經費膨脹ヲ來タスト共ニ煙草ノ賣行ニモ影響ヲ及ホシテ政府ノ收入減少ヲ見ルノ虞アルヲ以テ政府ハ市町村ヲシテ煙草元賣捌事務ヲ取扱ハシムルノ意思ヲ有セス
右及答辯候也

大正十年三月十四日

大藏大臣 子爵高橋 是清

小樽官有地處分ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正十年二月二十四日

提出者

小池 仁郎
山本 厚三

岡本 幹輔
淺川 浩

賛成者 早速 整爾

外三十九人

一 小樽官有地處分ニ關スル質問主意書

北海道廳長官ハ小樽區若竹町所在官有地一萬七百餘坪ヲ無償同様に使用料ヲ以テ三十箇年ノ長期ニ亙リ小樽船渠株式會社發起人ニ貸付スルコトニ內定セリト聽ク果シテ事實ナリヤ若事實ナリトセハ其ノ貸付條件ノ明示ヲ望ム

二 右發起人ナルモノハ表面色々人物加ハリ居ルモ其ノ眞ノ計畫者ハ某政黨ノ地方幹部ニシテ誠實ニ船渠經營ノ意思ナク單ニ海岸重要ノ地積ヲ獲得シテ巨利ヲ獲ムトスルノ劃策ナリトノ評アリ當局者ハ其ノ眞相ヲ調査セシコトアリヤ

三 本件ニ付當初出願ノ際ハ地價約百萬圓(地積一萬坪)ノ土地ヲ僅ニ十分ノ一即チ十萬圓ニ拂下ヲ受ケ且六千五百坪ノ接續海面埋立權ヲ得ムトスルニ在リシカ其ノ後地積ヲ二萬坪トシ時價約二百萬圓ノ土地ヲ二十分ノ一即チ十萬圓ノ價格ニテ拂下ヲ受ケム

トスルノ計畫ヲ立テ而モ豫メ其ノ筋ノ內諾ヲ得タリト右發起人ハ聲明シ居リタリ當時斯ノ如キ法外ノ價格ニテ拂下ノ意思アリタルヤ

四 然ルニ其ノ後拂下ノ方針ヲ變更シ一箇年僅ニ五十錢(時價一坪一箇年ニ付三圓乃至五圓)ヲ以テ三十箇年ノ長期貸付トスルコトナシ是ヲ該發起人ニ內示シ內諾ヲ與ヘタリト云フ果シテ此ノ如キ事實アリヤ

五 小樽港ニ船渠築設ノ要アルハ勿論ナルカ貸付許可內定セリト稱スル地點ハ海岸一帯ニ海底岩盤ナルニ加フルニ水深淺ク船渠トシテ極メテ不適當ノ箇所ナリ近時内外ノ航路ハ大船巨舶ヲ使用スルノ傾向ナルヲ以テ船渠ノ設備亦之ニ順應スルノ要アリ當局ハ小樽船渠會社計畫ノ船渠設備ニ付調査セシヤ其ノ設備ノ内容如何

六 若船渠會社不成立ニ終ルカ又ハ直ニ事業ニ著手セサル場合ハ如何ナル處置ヲ執ラル方針ナルヤ

七 小樽港ノ利用ニ關シテハ速ニ其ノ方針ヲ確定スルノ要アリト認ム鐵道省ニ於テハ既設高架棧橋ノ現ニ腐朽シテ大修繕ヲ要スルヲ以テ寧ろ此ノ際ニ本問題ノ地點ニ移轉シ現在ノ貯炭場ヲ同時ニ變更スルノ內議アリト聞ク當局ハ此ノ點ニ付鐵道省ト充分意見ノ交換ヲ爲シタルコトアリヤ又當局ノ此ノ點ニ對スル意見如何

八 貯炭場トシテハ地形上最適當ニシテ石炭業者モ之ヲ希望シ居リ且隣接セル港外海岸ノ埋立ニ依リ七萬坪ノ地積ヲ得ルノ利アリ

九 現在ノ石炭棧橋ヲ移シ貯炭場ヲ移轉スルコトハ現在ノ貯炭場用地一帯ハ海岸水深最深ク風浪ニ對シテ最安全ナルヲ以テ一部ヲ普通貨物ノ積卸場トシ船渠ヲ其ノ一部ニ築設スルハ最適當ノ施設ト思ハル當局ノ意見如何

十 本件ニ關シ小樽區會ノ反對及世論ノ喧シキカ爲ニ一時貸下ノ形式ト爲スモ速カラサル内ニ機ヲ見テ之ヲ拂下ムトスル方針ナリト云フ果シテ然ルカ

船渠業者ニ株式ヲ轉賣シ以テ巨利ヲ獲ムトスルノ計畫ナリトノ評アリ此ノ計畫目論見當時ハ財界事業界ノ全盛時代ニシテ時價二十分ノ一ノ價格ニテ廣大ノ土地ヲ獲得セムトスルカ如キ計畫ニ對シテハ其ノ株式ニ對シテ多額ノ「プレミアム」ノ付クコト當然タリシモ昨今ノ財界殊ニ海運界極度ノ悲況ニ際シテモ發起人等ハ尙且本計畫ヲ實行スルノ意思アリヤ又實行シ得ルモノト認ムルヤ如何

三

十一 小樽區ハ明治四十一年來數回ニ亙リ區會ノ決議ニ依リ公共使用ノ目的ヲ以テ該地積ノ拂下ヲ出願セルニ對シ當局ハ之ヲ排斥シ一法人タル發起人等ニ之ヲ貸與セムトスル理由如何

北海道廳長官ハ小樽區カ道廳ノ諮問ニ答申セス自北同區拂下ノ目的判明セサルヲ以テ排斥ノ唯一理由トセルモ該答申ノ如キハ區ノ理事者及區ノ公職者ヨリ屢親シク陳情ヲ遂ケ事情明白ナリト聽ク果シテ然リトセハ單ニ形式上答申ナキヲ理由トシテ之ヲ排斥セムトスルハ諒解シ難シ即チ世評ノ如ク發起人等ニ內諾ヲ與ヘタルニ依リ之ヲ口實トシテ小樽區ノ出願ヲ拒否スルモノナリト解スルノ外ナシ果シテ小樽區ノ拂下出願ハ其ノ目的未タ不明ナリヤ

十二 小樽區カ該地積ノ拂下ヲ受ケテ之ヲ公共ノ用ニ供スルハ論ヲ俟タサル處ナルヘシト信ス只其ノ形式上答申ヲ爲サスト云フニ依リ公共ノ用ニ供スルヤ否ヤ不明ナリト云フハ曲解ナラスヤ而モ其ノ後ノ出願ニ依リ海陸聯絡ノ用ニ供セムトスルコト極メテ分明ナルニ拘ラス最初答申ヲ爲ササリシニ依リ今日ニ於テハ事情分明トナルトモ尙且之ヲ拒否セムトセラルルヤ

十三 小樽區ハ屢區會ノ決議ニ依リ同港海陸聯絡ノ施設上之ヲ區ニ拂下ラレムコトヲ熱望シ區民ノ大多數モ同一ノ熱望ヲ有スルハ本問題ニ關スル區民大會ノ決議及其ノ他ノ情況ニ依リテ明ナリ然ルニ徒ニ事ノ成行ニ拘泥シテ少數ノ船渠會社發起人ニ貸下ムトスルハ自治體ノ決議ヲ無視シ同區將來ノ禍根ナリト信ス當局ノ見解如何

右及質問候也

大正十年三月十四日

內閣總理大臣 原

敬

衆議院議長 奧繁三郎殿

衆議院議員小池仁郎君外三名提出小樽官有地處分ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員小池仁郎君外三名提出小樽官有地處分ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 小樽船渠會社發起人ノ小樽區所在官有地一部拂下出願ニ對シ當局ハ築港工事竣成後公用ヲ廢止セル上貸付スヘキ旨通牒ヲナセルモ其ノ貸付期限條件等ニ付テハ貸付ノ際決定スヘシ

二 眞相ヲ調査スルニ質問者ノ云フ如キ事實ナシ
三 當局ハ嘗テ拂下ノ意思ヲ有シタルコトナシ

四 其ノ事實ナシ

五 貸付セントスル地點ハ小樽港内ニ於テ船渠設置ニ最モ適當ナル箇所ト認ム小樽船渠會社計畫ノ船渠設備ニ付テハ調査ノ上大體ニ於テ適當ナルヲ認メタルモ設計ニ於テ多少ノ不備アリ目下之カ更正ヲ求メツ、アリ

六 貸付條件ヲ以テ適當ノ方法ヲ定ムヘシ

七 鐵道省ニ於テハ既設高架橋樑移轉ノ計畫ナシ

八 高架橋樑移轉ノ計畫ナキヲ以テ本項ハ問題トナラヌ

九 然ラス

十 本計畫ハ實行ノ意思アリ又實行シ得ルモノト認ム十一 小樽區拂下出願ノ目的ハ度々變更セラレ一定計畫ノ認メ難キノミナラス小樽船渠會社事業ノ緊要ナルヲ認メタルヲ以テ之レニ貸付スルコトニ決定セル次第ナリ

十二 十一ニ對スル答辯ニ依リ明ナリ

十三 當局ノ處置ハ小樽區ノ將來ニ對シ最モ適當ナルヲ以テ禍根ヲ將來ニ貽スモノニアラスト信ス右及答辯候也

大正十年三月十四日

內務大臣 床次竹二郎
鐵道大臣 元田 肇

第四師團射の場ノ流彈ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正十年三月一日

提出者 木村權右衛門 上島益三郎
賛成者 矢島 專平

外三十人

第四師團射の場ノ流彈ニ關スル質問主意書

大阪第四師團射の場ノ構造不完全ナル爲流彈頻々トシテ場外ニ落下シ或ハ街路通行中ノ人馬ニ命中シ或ハ人家ニ穿入シテ住居者ヲ傷ケタルコト枚舉ニ遑アラス射撃場附近ノ住民及通行者ハ何時傷害ヲ受クルヤモ知レサル不安ノ位置ニ在リテ人心常ニ恟々タリ
昨年七月下旬居民一同當局官廳ニ陳情シテ其ノ應急設備ヲ求メタルニ當局者ハ何等省慮スルコトコナク依然射撃ヲ續行シ日々實彈ヲ街路及人家ニ雨下セシメ之カ爲一箇月未滿ノ間ニ更ニ又三名ノ重傷者ヲ出スニ至リタルハ天下公知ノ事實ナリ是レ固ヨリ國家ノ人命保護上一日モ坐視スヘカラサルコトコナクミナラス國民ヲシテ不知不識ノ間ニ軍隊ノ無情ヲ怨ミテ反感ヲ起サシム

ル虞アリ依テ左ノ三點ニ付政府ノ答辯ヲ求ム

一 右ノ如キ重大ナル危險ノ頻出ヲ看過シナカラ大正九年八月末日マテ依然射撃ヲ繼續シ來リタル事實ニ對シ政府ハ之ヲ當局者ノ怠慢ト認メサルヤ若怠慢ト認メタルトセハ之ニ對シテ如何ナル措置ヲ爲シテ其ノ責任ヲ明ニシタリヤ

二 昨年九月以後政府ハ該射の場ニ如何ナル危險豫防工事ヲ施シツアリヤ該工事竣成ノ上ハ絕對ニ流彈ノ危險ナキコトヲ確保シ得ルヤ若確保シ得ルトセハ其ノ工事ノ内容ヲ詳細ニ説明シテ大阪市民及中本町民ノ不安ヲ除去セラレタシ若又此ノ確保ヲ爲シ得サルトキハ該射の場ヲ他ニ移轉シテ關係住民ノ生命ニ對スル脅威ヲ除去スルノ意ナキヤ

三 從來流彈ノ爲死傷シ又ハ財産ヲ毀壞セラレタル者ニ對シ政府ハ相當ノ慰藉又ハ補償ヲ爲シタリヤ若然リトセハ其ノ内容如何
右及質問候也

大正十年三月十四日

內閣總理大臣 原 敬
衆議院議長 奧繁三郎 殿

衆議院議員 木村權右衛門 君外一名提出第四師團射の場ノ流彈ニ關スル質問主意書
（別紙）

衆議院議員 木村權右衛門 君外一名提出第四師團射の場ノ流彈ニ關スル質問主意書

一 從來大阪射撃場ノ設備ハ學理上完全ニ流彈ヲ防止シ得ルモノト認メ多年之ヲ使用セリ然ルニ昨年流彈ノ災害ヲ生セシヲ以テ直ニ其原因ヲ調査セシモ射

手並監督者共ニ過失怠慢等ノ所業ナカリシヲ以テ別ニ責任者ヲ問フコトコナシ
二 以上ノ事實ニ鑑ミ一層流彈防止ヲ完全ニセムカ爲メ昨年九月斷然各部隊ノ射撃ヲ中止シ臨時ニ三萬圓ヲ投シ跳彈墻ト一層強大ニスルト共ニ的卓上ノ防彈柵ノ張鐵板ヲ更新シ更ニ兩翼部分ノ高サヲ増加シテ流彈ノ防止ヲ講シ尙射庭鋸ノ齒形不整ヲ改修シ跳彈ノ原因ヲ除去スル等ノ處置ヲナシ十二月ニ到リ竣工セリ而シテ流彈防止ニ就テハ學理上ハ増築以前ニ於テモ既ニ充分流彈ヲ防止シ得タリシヲ以テ今回ノ改修ニヨリ從來ヨリ尙一層完全ニ流彈ヲ防止シ得ヘキヲ信スルモ尙萬一ノ場合ヲ顧慮シ射撃場移轉ノ問題ニ就テモ亦調査研究中ナリ

三 大正九年八月十九日步兵第八聯隊射撃演習ノ際流彈ノ爲ニ婦人ヲ負傷セシメタルモ右婦人ニ對シテハ衛戍病院ニテ應急手當ヲナシ更ニ地方病院ニ入院セシメ入院諸費ヲ辨セリ
其他流彈ノ爲微傷ヲ受ケタル地方人二名アルモ右ハ師團ニ於テ相當ナル處置ヲ執リ彼我ノ間ニ満足ナル解決ヲ了セリ但シ此等ノ事件ハ何レモ射撃場改築以前ノ出來事ニ係ルモノトス
右及答辯候也

大正十年三月十四日
陸軍大臣 男爵田中 義一
言論自由ノ抑壓ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正十年三月十四日
提出者 橫山勝太郎 八並 武治
賛成者 箕浦 勝人 外三十人

言論自由ノ抑壓ニ關スル質問主意書
一 政府ハ大正十年三月三日附ヲ以テ大正十年三月一日發行中外新聞論（發行人田代順一）ノ記事ハ安寧秩序ヲ紊スモノト認メ新聞紙法第二十三條ニ依リ其ノ發賣及頒布ヲ禁止セリ該記事ノ如何ナル點カ安寧秩序ヲ害スルモノト認ムルヤ

二 頃者政府ハ新聞雜誌ニ對シ記事ノ差止發賣禁止等ノ行政命令ヲ頻發シ言論ヲ抑壓スルコト從來其ノ比ヲ見サルコトコナリ是レ憲法上保障セラレタル言論ノ自由ヲ無視スルノ甚シキモノナリト思料ス政府ノ所見如何
右及質問候也

大正十年三月十四日
內閣總理大臣 原 敬
衆議院議長 奧繁三郎 殿

衆議院議員 橫山勝太郎 君外一名提出言論自由ノ抑壓ニ關スル質問主意書
（別紙）

衆議院議員 橫山勝太郎 君外一名提出言論自由ノ抑壓ニ關スル質問主意書

一 大正十年三月一日發行ノ中外新聞論ハ「政海ノ氣運」ト題スル記事中安寧秩序ヲ紊ルモノアリト認メ其ノ發賣頒布ヲ禁止シタリ

二 政府ハ言論ノ自由ハ固ヨリ之ヲ尊重スト雖モ安寧秩序ヲ紊亂シ又ハ風俗ヲ壞亂スト認ムル出版物ニ對シ相當ノ取締ヲ爲スハ法律ニ基ク處分ニシテ憲法上

保障セラレタル言論ノ自由ヲ無視スルモノニアラス
右及答辯候也

大正十年三月十四日

内務大臣 床次竹二郎

鹿町炭礦買収ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十年三月七日

提出者 田中 善立
賛成者 箕浦 勝人
外二十九人

鹿町炭礦買収ニ關スル質問主意書

長崎縣北松浦郡鹿町村ニ存在スル鹿町炭礦ハ濱野治八(前長崎縣會副議長政友會員)カ前持主中島德太郎外數名ヨリ一坪八厘乃至三錢ニテ買収經營セシモ維持困難ニ陥リ漸ク大倉喜八郎氏ノ援助ニ依リ株式會社ヲ組織シ繼續經營セシモ炭界不況ニ際シ殆ト破滅ノ境遇ニ在リテ時價僅ニ三十萬圓内外ニ過キストノ公評アリ然ルニ製鐵所ハ一坪當リ一圓シツ計金三百萬圓ノ高價ヲ以テ該炭礦ヲ買収セシ理由如何
右及質問候也

大正十年三月十四日

内閣總理大臣 原 敬

衆議院議長奥繁三郎殿

衆議院議員田中善立君提出鹿町炭礦買収ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員田中善立君提出鹿町炭礦買収ニ關スル質問ニ對スル答辯書

大正九年三月鹿町炭礦株式會社ヨリ製鐵所ヲ買収シタル礦區ハ總坪數四百六十七坪ニシテ一坪當五十九錢餘採掘可能總噸數ノ内良炭六割トシテ千八百五十五萬噸一噸當十五錢ノ計算ナリ

本礦區買収ニ關スル事項ハ製鐵所長官ノ專行權限ニ屬スルヲ以テ同長官ノ意見ヲ質シタルニ本礦區ノ炭質ハ本邦ニ於ケル製鍊用炭炭配合材料ニ適シタル唯一ノモノニシテ從來年々買炭シ海外ヨリ購入シツアル配合炭ノ不足ヲ補フモノ也而シテ此礦區ヲ買収シタルハ當時開平炭ヲ購入スルノ困難ナルト近キ將來ニ於テ開平附近ニ製鐵所設立ノ計畫アリテ該炭ヲ購入シ得サル場合ノ發生セムトスルニ由リタルモノナリ
右及答辯候也

官報號外 大正十年三月十六日

衆議院議事速記第二十七號

大正十年三月十四日

農商務大臣 男爵山本 達雄

昇格問題ニ付原内閣總理大臣及中橋文部大臣ノ貴族院ニ於ケル釋明ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十年三月十一日

提出者 下岡 忠治 早速 整爾

賛成者 小山 松壽
外三十人

昇格問題ニ付原内閣總理大臣及中橋文部大臣ノ貴族院ニ於ケル釋明ニ關スル質問主意書

去十日貴族院本會議場ニ於テ爲シタル原内閣總理大臣及中橋文部大臣ノ專門學校昇格ニ關スル釋明演說ニ依リハ學校問題ニ關連セル風紀問題ニ付テハ最近文部當局カ其計畫中ノ一部ヲ他ニ漏洩シ夫カ爲メ一層ノ紛糾ヲ重ネタルハ官紀上注意ノ足ラサリシニ起因ス依テ政府ハ此點ニ充分ノ注意ヲ爲シ且ツ部下ニモ之ヲ爲サシムヘシ云々是ニ由テ之ヲ觀レハ本院ニ於テ屢問題トナリタル中橋文部大臣ノ昇格問題ニ關スル食言ハ政府ニ於テ之ヲ認メ其ノ言明ハ官紀紊亂ヲ承認シタルモノト云ハサルヘカラス果シテ然ラハ政府ハ之ニ對シ其ノ責任ヲ負フヘキモノト信ス政府ノ所見如何
右及質問候也

大正十年三月十四日

内閣總理大臣 原 敬

衆議院議長奥繁三郎殿

衆議院議員下岡忠治君外二名提出昇格問題ニ付原内閣總理大臣及中橋文部大臣ノ貴族院ニ於ケル釋明ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員下岡忠治君外二名提出昇格問題ニ付原内閣總理大臣及中橋文部大臣ノ貴族院ニ於ケル釋明ニ關スル質問ニ對スル答辯書

本月十日ノ貴族院本會議場ニ於テ文部大臣ハ文部當局ノ計畫中ニ屬スルモノノ一部カ昨年末他ニ漏洩シタルカ爲一層ノ紛糾ヲ重ヌルニ至リタルハ注意ノ至ラサリシ點モアリシカ故ニ今後其ノ邊ニ充分ノ注意ヲ爲スヘキ旨ヲ述ヘタルモ質問書ニ云フカ如ク當局カ計畫ノ一部ヲ漏洩シタリト云フカ如キコトヲ述ヘタルコトナシ
右及答辯候也

大正十年三月十四日

内閣總理大臣 原 敬

文部大臣 中橋德五郎

衆議院議員田中武雄君提出

大井浦鹽派遣軍司令官ノ責任ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員吉野小一郎君提出滿洲ニ於ケル施政方針ニ關スル質問ニ對スル答辯書

大井浦鹽派遣軍司令官ノ責任ニ關スル主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十年三月二日

提出者 山田 武雄
賛成者 小山 松壽
外三十人

大井浦鹽派遣軍司令官ノ責任ニ關スル質問主意書
滿洲ニ於ケル「ラングトン」大尉ニ對スル事件ハ西原少將ノ待命ヲ以テ終了シタルノ觀アルモノニ對スル大井司令官ノ責任如何
右及質問候也

大正十年三月十五日

内閣總理大臣 原 敬

衆議院議長奥繁三郎殿

衆議院議員田中武雄君提出大井浦鹽派遣軍司令官ノ責任ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員田中武雄君提出大井浦鹽派遣軍司令官ノ責任ニ關スル質問ニ對スル答辯書

今回發生シタル「ラングトン」事件ハ合營勤務ニ屬スル事項ナルカ故直接ノ責任ヲ負フヘキモノハ合營司令官以下ノ將校ナリ之ニ關スル大井司令官ノ責任ハ答辯ノ限ニアラス
右及答辯候也

大正十年三月十五日

陸軍大臣 男爵田中 義一

滿洲ニ於ケル施政方針ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十年三月五日

提出者 吉野小一郎
賛成者 松野 鶴平
外二十九人

六五五

滿洲ニ於ケル施政方針ニ關スル質問主意書

一 近時日支間ノ親善ハ所謂國際儀禮ニ屬スルモノノ外諸般ノ事實ニ於テ殆ト總テ寧ロ逆轉ノ觀アリ政府ハ支那ノ自覺ヲ待ツト謂フ外ニ日支共有共榮ノ根本義ニ基キ兩國ノ政治經濟上親善ノ實ヲ舉クヘキ積極的ノ促進策ニ付奈何ノ考慮ヲ有スルヤ

二 滿蒙ニ對スル我カ施政上政府ヲ直接間接ニ代表スル領事館關東廳陸軍滿鐵ノ相互ハ其ノ政治經濟的施爲方針ニ付頗ル聯絡統一ヲ缺クテ恆ト各機關ノ當事者亦之ヲ確認セリ政府ハ此ノ際實情ノ調査ヲ進メ制度ノ更新ヲ圖ルコトニ付奈何ノ考慮ヲ有スルヤ

三 南北滿洲ノ貿易ハ近時異常ノ發展ヲ遂ケ其ノ產業ノ發達ハ將來益觀ルヘキモノアルヘク隨テ本邦トノ關係ハ更ニ一層重要ナルモノアラムトス政府ハ滿蒙ヲ管轄區域トスル獨立ノ商務官ヲ速ニ設置スルニ付考慮ノ要ヲ認メサルヤ

四 東支鐵道ノ支配權及其ノ管内ニ於ケル行政權ハ事實上漸次露國ヨリ支那ニ奪回セラレタリ且東支鐵道ニ依ル交通運輸ハ今日若シ支障ヲ生シ居レリ政府ハ從來ニ於ケル日支露間ノ協定ニ照ラシ支那ニ對シ國際通義上何等ノ交渉ヲ要セスト認メラルヤ

五 日支兩國間既定ノ協約ニ係ル鐵道ノ速成及商租契約ニ關スル施行細則ノ協定ニ付政府ハ現在如何ノ進行ヲ爲セルヤ

又本邦ノ滿蒙經營根本義ハ北滿ニ於ケル優越權ヲ獲得シテ初テ其ノ意義徹底スヘシ政府ハ北滿ニ對シテモ南滿ト均シク商租權ヲ承諾セシムル等具體的ノ所見ヲ有セルヤ

六 滿蒙ニ於ケル經濟產業ノ發展ヲ希圖セハ我カ低利資金ノ注入ニ銳意スルヨリ急ナルモノ莫シ政府ハ其ノ保有セル資金ノ一部ヲ割キ適當ノ機關ヲ通シ一定年間特殊貸出ヲ行フコトニ付考慮ノ要ヲ認メサルヤ

七 所謂滿蒙經營ニ關シ現在金融上ノ任務ヲ有スル我カ特殊會社ハ正金銀行、朝鮮銀行及東洋拓殖會社ノ三者ナルカ是等各會社執レモ其ノ業務方針組織權限資金ニ於テ多大ノ缺陷ヲ有シ且均シク政府ノ特設會社ニシテ對滿經營上ノ聯絡統一ヲ缺如セリ政府ハ此ノ際滿蒙經營上其ノ實情ニ適當セシムヘキ滿蒙本位ノ中樞的金融機關ヲ特設スルコトニ付考慮ノ必要ヲ認メサルヤ

右及質問候也

大正十年三月十五日

衆議院議長奥繁三郎殿 敬

衆議院議員吉野小一郎君提出滿洲ニ於ケル施政方針ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員吉野小一郎君提出滿洲ニ於ケル施政方針ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 帝國政府ハ日支共有共榮ノ根本義ニ基キ政治經濟上親善ノ實ヲ舉クル爲各方面ヨリ銳意考慮ヲ懈ラズト雖之カ具體的實現ニ就テハ單ニ政府ノ焦慮施設ニ依リテノミ其達成ヲ期スルヲ得ス必ス支那ノ協力國民ノ努力ニ俟タルヘカラス即チ第一支那國內ノ統一康寧ノ回復ニ依リ協力ニ便ナル政情ノ到來ヲ要ス乍併之カ爲帝國政府ニ於テ内政干涉ニ陷ルカ如キ舉措ニ出ツルハ之ヲ避ケサルヘカラス要ハ先ツ支那有爲ノ政治家ニ於テ些々タル感情ヲ排シ和平統一ノ實現ニ努力セムコトヲ熱望セザルヲ得ス帝國政府ニ於テハ數年來列國ト共ニ之ヲ支持スルノ方針ヲ確立シ之カ實現ニ努メ居レリ第二ニ我民間ニ於テモ兩國國民相互ノ了解協力ニ努メ國民感情ノ融和ヲ來シ從來ノ誤解ヲ釋クニカメ以テ共有親善策實行ノ途ヲ圓滑ナラシムルニ盡セムコトヲ切望セザルヲ得サルナリ

二 滿洲ニ於ケル諸機關ノ間ニ聯絡統一ヲ缺キタルカ如キ事實ナシ

三 支那一般ニ對スル商務官ヲ置クカ爲之ニ要スル豫算ハ已ニ今期議會ニ提出シタリ特ニ滿蒙ヲ管轄スル商務官ノ設置ニ付テハ政府ニ於テ差當考慮セス

四 東支鐵道問題ニ關シ最近露支間ニ折衝ノ事實アルモ右ハ畢竟露國ノ崩壞ニ伴フ異常ノ事態ニ胚胎スルモノニシテ如斯機微ナル局面ニ際シ帝國政府ニ於テ進テ右露支間ノ問題ニ介入スルカ如キハ決シテ策ヲ得タルモノニ非スト信ス只常ニ事態ノ推移ニ留意シ帝國及國民ノ既得利益ノ侵蝕ヲ防止スルニ就テハ機宜ノ措置ヲ怠ラサルヘキコト勿論ナリ尙東支鐵道ノ運行確保ニ關シテハ聯合國間ノ協定ニ基ク聯合國委員會依然存續シ必要ノ措置ヲ講シツ、アリ

五 日支間既定ノ協約ニ係ル鐵道ニ就テハ政府ハ素ヨリ其ノ速成ヲ希望シ之カ實現ニ努力シツ、アルモ未タ具體的ニ其進行ノ程度ヲ發表シ得ルノ時機ニ達セス

商租契約ノ施行細則協定ニ付テハ目下對案考查中ナルカ支那ノ政情我交渉ニ便ナル時機ニ於テ可成速ニ我目的ヲ達スル樣努力シツ、アリ

北滿ニ於ケル商租權ヲ承諾セシムルコトハ或ハ質問書ノ說ノ如ク我國ニ有利ナランモ四圍ノ情勢ニ顧ミ政府ハ未タ之ヲ考慮スルノ時機ニ達セスト思考ス

六 預金部ノ資金トシテ餘裕アル場合ニハ滿蒙ニ於ケル經濟產業發展ノ爲ニモ利用スルコトニ付考量ヲ加フルヲ辭セス

七 滿蒙ニ於テハ金融機關トシテ既ニ橫濱正金銀行朝鮮銀行及東洋拓殖會社各活動シ相當效果ヲ舉ケ居レリ從テ將來益々努力シテ滿蒙ノ需要ニ應スル樣指導スル積ナリ差當リ此等ノ機關ヲ放棄シテ滿蒙本位ノ中樞金融機關ノ急設ヲ要ストハ思考セス

大正十年三月十五日

衆議院議長奧繁三郎殿 敬

衆議院議員吉野小一郎君提出滿洲ニ於ケル施政方針ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員吉野小一郎君提出滿洲ニ於ケル施政方針ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 去十二日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
六大都市行政監督ニ關スル法律案外一件
松浦五兵衛君 鳩山 一郎君 宮崎三之助君
土屋 興君 若尾 幾造君 加藤重三郎君
竹上藤次郎君 坪田 十郎君 樋口伊之助君
赤田 瑳一君 向井 倭雄君 小山 松壽君
森田 茂君 武内 作平君 作間 耕逸君
高木 正年君 板野 友造君 森下龜太郎君
都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外五件

八田 宗吉君 佐藤寅太郎君 西村 伊亮君
吉木 陽君 龍野周一郎君 江崎幸太郎君
荒川 五郎君 樋口 秀雄君 石川長右衛門君
黃燐燐寸製造禁止法案
今井 今助君 高島七郎右衛門君 山本清三郎君
福井 甚三君 多木米次郎君 中馬 興九君
淺川 浩君 中川幸太郎君 山邑太三郎君
畜牛結核病豫防法中改正法律案

柳原九兵衛君 池田猪三次君 伊藤 廣幾君
木下甚三郎君 岩崎宗茂助君 久慈 貫一君
鈴木久次郎君 村山喜一郎君 小橋藻三衛君
石油政策ニ對スル燃料調查會設立ニ關スル建議案
高野 毅君 三浦權兵衛君 中島 鵬六君
木村清三郎君 三好 德松君 坂本素魯哉君

齋藤巳三郎君 古賀三千人君 守屋松之助君
多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案
外一件

秋本 喜七君 土屋 興君 長谷場 敦君
内山安兵衛君 森 恪君 淺賀長兵衛君
小野 重行君 出口 直吉君 最上 直吉君
救世軍補助ニ關スル建議案

中村 喜平君 吉良 元夫君 波多野喜右衛門君
竹澤 太一君 若林 德懋君 岡 順次君
横山勝太郎君 小池 仁郎君 奥村安太郎君
延美鐵道速成ニ關スル建議案外二件

池田猪三三君 吉原祐太郎君 野呂 駿三君
西村 正則君 森 恪君 三枝彦太郎君
永井柳太郎君 古屋 慶隆君 近藤 達兒君
一去十二日地方鐵道法中改正法律案外一件委員河

相三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ阪上貞信君ヲ、陸
軍軍法會議法外十一件委員上島益三郎君辭任
ニ付其ノ補闕トシテ仙波太郎君ヲ、地方學事通則中
改正法律案委員山邑太三郎君辭任ニ付其ノ補闕ト

シテ森下龜太郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ
一昨十四日委員長理事互選ノ結果左ノ如シ
六大都市行政監督ニ關スル法律案外一件委員

委員長 松浦五兵衛君 理事 宮崎三之助君
都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關
スル法律案外五件委員

委員長 八田 宗吉君 理事 吉木 陽君
黃燐燐寸製造禁止法案委員 理事 福井 甚三君
畜牛結核病豫防法中改正法律案委員 理事 鈴木久次郎君

委員長 柳原九兵衛君 理事 鈴木久次郎君
石油政策ニ對スル燃料調查會設立ニ關スル建議案
委員 高野 毅君 理事 守屋松之助君

委員長 秋本 喜七君 理事 小野 重行君
救世軍補助ニ關スル建議案委員 理事 奥村安太郎君
委員長 中村 喜平君 理事 永井柳太郎君

遠美鐵道速成ニ關スル建議案外二件委員
委員長 池田猪三三君 理事 永井柳太郎君
一昨十四日六大都市行政監督ニ關スル法律案外一件

委員森田茂君辭任ニ付其ノ補闕トシテ野田文一郎
君ヲ、多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關ス
ル建議案外一件委員淺賀長兵衛君辭任ニ付其ノ補
闕トシテ高木正年君ヲ、遠美鐵道速成ニ關スル建議
案外二件委員三枝彦太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシ
テ松浦五兵衛君ヲ就レモ議長ニ於テ選定セリ
一今十五日身元保證ニ關スル法律案委員上島益三郎
君辭任ニ付其ノ補闕トシテ森下龜太郎君ヲ議長ニ於
テ選定セリ

○議長(與繁三郎君) 會議ヲ開キマス、諮問致シマスル件
ガアリマス、箕浦勝人君外三名提出市制中改正法律案、
町村制中改正法律案、濱田國松君外二名提出市制中改
正法律案、町村制中改正法律案右提出者ヨリ撤回ノ申
出ガアリマス之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト呼フ者アリ
可致シマス 議事ノ進行ニ就テ發議ノ要求ガアリマスカ
ラ、之ヲ許シマス 高田松平君

○議長(與繁三郎君) 議長、議長
○議長(與繁三郎君) 今高田君ニ發言ヲ許シマシタ、遠
藤君何デスカ

○議長(與繁三郎君) 是ヨリ所得稅法中改正法律案外四件
ノ委員會ヲ開キタウ存ジマス
○議長(與繁三郎君) 宜シウゴザイマス
○議長(與繁三郎君) ソレデハ委員ノ諸君ハ、第九委員會ニ御
參集ヲ願ヒマス

○高田松平君 登壇、拍手起ル
シタイト思ヒマス、ソレハ衆議院規則第五十五條ニ基ツクモ
ノデアリマス、即チ小學校教員俸給國庫負擔金増加ニ
關スル建議案ノ委員會ハ、速ニ其審查ヲ終了シ、次ノ本
會議ニ於テ其結果ヲ報告スベシ 斯ウ云フ動議デゴザイ

マス、國民黨及我黨ガ國家ノ大問題タル小學校教員俸給
國庫負擔額増加ノ建議案ヲ出シマシタコトハ、議會開會ノ
劈頭、即チ昨年ノ十二月二十七日デゴザイマス、然ルニ此建
議案ガ今尚ホ審查未了ニナツテ居ルノデゴザイマス、而シテ
此建議案ニ關聯致シマシテ、政友會ヨリ二月十五日ト思
ヒマス、小學校教育費整理ニ關スル建議案ナルモノガ出マ

シタノデゴザイマス、而シテ其席上ニ於キマシテ井上角五郎君
ヨリ、三割標準ヲ以テ市町村ノ教育費ヲ節約セシムルト云
フ意味ノ建議案ガ出タノデアリマス、吾々ハ斯様ナル事ハ到
底不可能ナルガ故ニ、是ハ委員會ニ付スベキモノニ非ズト

ノ意味ヲ持シテ居リマシタガ、遺憾ナガラ是ガ多數ヲ以テ委
員會ニ付セラレマシタ、委員會ハ此問題ニ就キマシテ數回
委員會ヲ開キマシタ、勿論吾々ノ提出シタル案ト併セテ政
府ニ向テ質問ヲ致シ、或ハ委員會ニ於テ質問ヲ爲シタノデ
ゴザイマス、併ナガラ其委員會ニ於キマシテハ、井上君ノ本
會議ニ於テ申サレタル三割標準節減稅ハ全然裏切ラレマ
シタ、井上君モ及委員トナラレマシタル鵜澤總明君ナドモ、
(委員會ノ報告デスカ)ト呼フ者アリ)此節約ト云フコトニ
就キマシテハ、何等ノ餘地ガナイト云フコトヲ略ホ答辯ニナ
テ居ルノデアリマス、政府委員ニ於キマシテモ尙ホ其通りデ
ゴザイマス、而シテ此委員會ハ三月七日ニ兩案トモ質問ガ
終了致シマシテ、直チニ討議ニ移ル答デゴザイマスケレドモ、
今尙ホ委員長ハ何故カ逡巡決セズシテ、此委員會ヲ開會
セラレナイノデゴザイマス、申スマデモナク此問題ハ如何ニモ
大問題デゴザイマス、政友會ノ人ト雖モ恐クハ吾々ノ提出
シタル建議案ニ、心中反對スル人ハ一人モ無イデアラウト思
フノデゴザイマス、唯タ併ナガラ政府ガ調査機關ヲ設ケルト
云フコトヲ發表シマシタ爲メニ、其意思ヲ迎合シテ、誤テ三
割節減ト云フヤウナ、途方途徹モナイ間違タル建議案ヲ御
出シニナツタモノデアラウト思フ、ソレガ爲メニ委員會ニ於キ
マシテハ數回質問應答ヲ致シマシテ、而モ鵜澤君ナドモ質
問ヲ政府ニ致シマシタケレドモ、鵜澤君ナドハドウモ餘地ガ
無カリサウダト云フコトデ、窮餘ノ策トシテ「ゲリーシステ
ム」デモ採用シテハドウカト云フコトデアリマシタ、政府ハ、此
「ゲリーシステム」ハ是ハ實業教育ニ行フベキモノデ、小學
教育ニハ實行スベカラザルモノデアル、斯ウ云フヤウナ答辯
ヲ得マシタ結果ハ、殆ド調査機關設置ノ必要ナシト云フ斷
案ヲ下サルヲ得ナクナツタ、私ハ委員長ガ三月七日ニ既ニ
委員會ノ終了シタニモ拘ラズ、今尙ホ此問題ヲ討議ニ移サ
ナイト云フコトハ、要スルニ政友會諸君ガ誤タル建議案ヲ
提出シテ、今其處置ニ困窮シテ居ル爲メデアラウト思フノデ
アリマス(拍手)或ハ漏レ問題ト所ニ依レバ、其眞偽ハ判リマ
セヌガ、政友會ノ諸君ハ此問題ニ對シテハ、何等カ政府ニ向
テ五百万圓ナリ一千万圓ナリノ金ヲ出サセナケレバ、其進
退ニ窮スルモノ云フコトカラ、内密ニ交渉シテ居ルト聞及ンデ
居リマス、併ナガラ此問題ハ、既ニ小學校教員ノ俸給ソレ自身
ノ問題デハゴザイマス、市町村自治體ノ基礎ニ大關係ヲ
持ツ問題ニナツテ居ルノデゴザイマス、近キ例ヲ申上ゲマスレ
バ、近頃地方ノ新聞ヲ見ルト、今や大正十年度ノ豫算審議
中ニ各町村トモナツテ居リマシテ、各縣ニ於テ町村會ガ費用
ノ増加ニ困難シタ結果、如何ナル方面ニ向テカ斧鉞ヲ加
ヘザルヲ得ナイ、其結果ハ市町村ノ吏員、即チ村長助役、有
給吏員等ノ俸給ニ向テ大削減ヲ加ヘタ結果、各所ニ於テ

名譽職有給吏員ノ全部ガ辭職スルコト云フ實況ガ各所ニ見ユルノデアリマス、若シ現在ノ儘ニ抛擲シテ置キマシタラバ、此傾向ハ益々多クナリマシテ、或ハ小學校ノ教員ニ向テモ、其俸給ハ知事ノ辭令ニ依ル結果、削減ヲ加ヘルコトハ出來ナイカ知レマセヌケレドモ、併ナガラ市町村ガ勝手ニ決議ノ出來ル設備、其他ニ向テハ、大ニ斧鉞ヲ加ヘル結果ニ相成ルコトデアラウト思ヒマス、ソレガ若シ合理的ノ斧鉞ナラバ吾ニ構ハヌノデアリマス、非合理的ノ設備其他ニ向テ斧鉞ヲ加ヘルコト云フコトハ明カデゴザイマス、加之吾ニカ最モ憂フル所ハ、市町村當然ノ施設タル勸業、土木、衛生等ノ施設ハ益々等閑ニセラレマシテ……

○議長(與繁三郎君) 注意致シマス、成ベク議事ノ進行ニ就テ……

○高田松平君(續) 自治體ノ發展ヲ害スルヤウニナルト思ヒマス、故ニ此市町村教育費ノ國庫負擔金増加ノ問題ハ、決シテ文部當局ノ問題ニ非ズ全ク自治體ノ基礎ヲ、如何ニシテ維持スルカト云フ大問題ニ達シテデゴザイマス、故ニ吾ニ此大問題ハ下院一致ノ力ヲ以テ吾ニノ建議案ヲ通過シテ之ヲ政府ニ迫レバ、如何ニ頑冥ノ不靈ノ政府ト雖モ、國民ノ要求ヲ容レナイコトハ無イト思フノデアリマス、現ニ再々申ス通り文部大臣ハ、昨年ノ二月ノ「簡單」ト呼フ者アリ委員會ニ於テモ、或ハ七月ノ委員會ニ於キマシテモ、米價ガ半値ニナタ場合ニ於テハ、何ヲ質ニ置イテモ此問題ヲ解決シナケレバナラヌト云フコトヲ、議會ニ於テ明言サレタノデアリマス(拍手起ル「ヒヤ」)私共ハ此意味ニ於キマシテ、此大問題ヲ是非トモ本會期中ニ於テ解決シタイト云フ意味ニ於キマシテドウゾ政友會ノ諸君モ前ニ御提出ニナリマシタル三割削減ナド、云フ「不得要領」ノ不可能ノ建議案ハ御撤回ニナテ、而シテ委員會ヲ開イテ速ニ委員會ヲ開イテ、此次ノ本會議マデ此問題ノ審査ノ結果ヲ終了セシメタイト思フノデアリマス、ドウゾ滿場諸君ノ御同意ヲ乞ヒマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 高田君ニ一寸聽キマスガ、今御發議ノ要旨ハ、次ノ本會議マデニ委員會ノ結果ヲ報告セヨト云フノデスカ

○高田松平君 サウ云フ動議デス

○議長(與繁三郎君) 尙ホ一寸聽キマスガ、ソレヲ議長カラ委員長ニ請求セヨト云フニ非ズシテ、院議デソレヲ決メタイト云フ動議デスカ、サウ云フ動議デスカ明カニ仰シヤイ、速記ニ載セニナリマセヌ

○高田松平君 私ノ動議ハ先程申シマシタ通り、議院規則第五十五條ニ基ツキマシテ、之ヲ根據ト致シマシテ、此

小學教員俸給國庫負擔增加ノ建議案ハ昨年ノ十二月……

○議長(與繁三郎君) ソレハ宜シイ、院議ヲ以テ決メルト云フノデスカ

○高田松平君 ソレガ今尙ホ委員會ニ於テ質問ハ終了シタケレドモ、討論ハ終結シナイ、其儘ニナテ居ルコトハ甚ダ困ルカラ、速ニ委員會ノ審査ヲ終了シテ、サウシテ其結果ヲ次ノ本會議ニ報告スベシト云フ動議デアリマス

○議長(與繁三郎君) 高田君ノ動議ニ賛成ガアリマスガ(賛成者々々「ト呼フ者アリ」)

○議長(與繁三郎君) 賛成ガアリマスカラ採決致シマス(「ノウ」ト呼フ者アリ)

○岩崎勳君 只今ノ動議ハ吾ニハ反對デアリマス、ソレハ吾ニハ委員長及委員諸君ニ信賴致シマシテ、必ズヤ委員長及委員諸君ガ適當ナル時機ニ、適當ナル報告ヲセラルベキモノデアルト云フコトヲ確信シテ疑ハナイ(拍手「ヒヤ」)ソレ故ニ只今ノ動議ニハ反對致シマス

○議長(與繁三郎君) 高田君ノ動議ニ賛成ガアリマスカラ採決致シマス、高田君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス(反對「ト呼フ者アリ」)

(賛成者 起立)

○議長(與繁三郎君) 起立少數、仍テ此動議ハ否決セラレマシタ、質問ニ入りマス、德島市長選舉ニ關スル質問、野田文一郎君

德島市長選舉ニ關スル質問(野田文一郎君提出)

德島市長選舉ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十年二月二十四日

提出者 野田文一郎

賛成者 古屋 慶隆

外三十人

德島市長選舉ニ關スル質問主意書

一 大正十年一月十八日德島市會ニ於テ市長ヲ選舉スルニ方リ政友會員タル市會議長村井茂市ハ與黨議員ヲ擁シ無賴漢ヲ使喚シテ非違橫暴ヲ逞フシ甚シク市民ノ公憤ヲ招キ同地未會育ノ紛擾ヲ惹起セシメ今ヤ德島辯護士團亦起テ事ノ真相ヲ調査シ既ニ其ノ選舉無效ノ意見ヲ公表スルニ至リタリ内務大臣ハ果シテ其ノ監督ノ任ヲ完ウシタリト爲スカ

二 右選舉ニ方リ議長ハ多數ノ無賴漢ヲ議場ニ配置シテ自ラ議場ノ秩序ヲ亂リ反對派議員ヲ脅迫シテ其ノ

選舉ノ自由ヲ妨害セシメ議員ニ投票用紙ヲ交付セス與黨議員ヲシテ豫メ議場外ニ於テ記載セルモノト認ムヘキ投票ヲ咄嗟ニ投函セシメ且投票票前投票函ヲ改ムルコトナク又他ノ議員ヲシテ議長ノ職務ヲ代理セシメタル形跡ナキニ拘ラス議長ノ一票ヲ得票ニ算入シ尙出席議員法定數ヲ缺クニ至リタルモ適法ノ手續ヲ執ラスシテ選舉ヲ敢行シタルハ違法ニシテ該選舉ハ當然無効ニ屬スヘキモノト認ム内務大臣ハ之ニ對シ果シテ如何ナル見解ヲ有シ現ニ如何ニ處理シツツアリヤ又今後如何ナル處置ヲ執ラムトスルヤ

三 右市會議事録ノ記載ハ緊要ナル點ニ於テ眞實ヲ僞ルモノ甚タ多ク素ヨリ之ニ依リテ會議ノ經過ヲ判斷スルコトヲ許サズ宜シク速ニ其ノ非行ヲ糾彈シテ責任ノ所在ヲ明ニスルコトヲ要ス政府ハ此ノ點ニ關シ如何ナル處置ヲ執リツツアリヤ又將來如何ニ之ヲ處理セムトスルヤ

右及質問候也

(野田文一郎君登壇、拍手起ル)

○野田文一郎君 私ハ德島市長選舉ニ關シマシテ、如何ニモ看過スルコトノ出來ナイ甚シキ不法ナル事ガゴザイマス、今尙ホ此問題ガ解決サレマセヌカラ、此事ニ向テ質問致サントスル者デゴザイマス、(簡單「ト呼フ者アリ」)諸君モ御承知ノ如ク床次内務大臣ハ、會テ德島ニ知事トシテ在任ヲシテ居タル人デゴザイマス、ソレ故ニ德島ニ床次内務大臣ハ特別ノ緣故ガアリ、深キ關係ヲ有セラル、人デゴザイマスカラ、德島ニ於ケル縣政——市會ニ於テハ、相當ナル人ハ悉ク床次君ノ知遇ヲ受ケテ居ル人多イノデアリマシテ、現ニ德島市ヨリ選出セラレマシタル海原君ノ如キハ、床次君ノ秘書官タリシ關係ノアル人デゴザイマス、斯様ナル關係デアデ、德島ニ於ケル政友會ノ別働隊タル公民會ハ、此議場ニ御在ニナル原田君ガ統率シテ居ラル、ト聞イテ居リマス、併シ是等ノ團體ハ、團體ノ内情ニ就テモ床次内務大臣ハ詳シク御承知ノ答アル、現ニ昨年十月政友會ノ中國四國大會ガ德島ニ於テ開カレマシタ際ニモ、(質問ノ要點ヲ言「ト呼フ者アリ」)床次内務大臣ハ總裁代理ノ格デ出張セラレマシテ、其當時德島市ハ一千四百圓ト云フ費用ヲ、内務大臣ノ歡迎費用トシテ支出スルコトヲ決メマシタ、所ガ歡迎會ノ席上ニ臨ンデハ、内務大臣ト云フ資格デナクシテ、政友會ノ相談役タル床次君ト云フヤウナ挨拶ガアツタ爲メニ、物議ヲ招イタコトモアルノデアリマス、要スルニ床次内務大臣ハ德島ノ縣會、市會ニ就テハ、其情偽ヲ詳ニシテ居ル人デゴザイマス、カラ、内務大臣トシテ地方ノ自

治體ニ對シテ監督權ヲ持テ居ル地位ニ於テハ、内部ノ事情ニ精通致シテ居ルグクシテ、大臣ハ自ラ其責任ノ重キヲ感シナクバナラヌト思フ、此事ヲ私ハ先ツ以テ御斷リ申シテ置ク、然ルニ一月十八日ニ德島市長トシテ候補ニ舉ケラレタ人ハ、一阪俊太郎ト云フ人デゴザイマスルガ、此人ハ多年市長ノ職ニ在リ、現ニ是マデ二回マデモ不信任ノ決議ヲ受ケ、大正五年ニモ市長選舉ノ爲メニ一大紛亂ヲ醸シタコトガアル人デアル、此一阪俊太郎ト云フ人ノ公友會ノ人トガ、是非共之ヲ舉ゲナクバナラヌト云フコトノ爲メニ、有エル手段ヲ盡シテ、神聖ナル市會ノ議場ニ於テ、有ルベカラザル亂暴詐術ヲ用キテ選舉ヲセント試ミタノデゴザイマス、故ニ德島ノ多數ノ市民ハ之ヲ評シテ、白晝強盜ニ均シキ市長選舉ヲ爲サントシタノデアルト叫ンデ居ル、(拍手起ル)之ガ爲メニ、餘リニ亂暴ナル事ノ爲メニ、德島市民ハ非常ニ憤激ヲ致シマシテ、二月二十日ニハ約四十ト云フ市民ノ多數ノ人トガ、別ニ之ヲ誘導スル者ノ無カリシニ拘ラズ、此多數ノ人トガ自發的ニ集リマシテ、サウシテ(簡單々々)ト呼フ者アリ、或ハ市會議長ノ村井ノ宅ヲ襲撃セントスルトカ、非常ナル紛亂ヲ來シタノデアル、ソレカラ後更ニ二月二日ニ至リマシテハ、組織的ニ市民大會ト云フモノヲ開イテ、サウシテ此選舉ノ違法ナルコトヲ叫ビマシタ、其結果數箇ノ決議ヲ取纏メテ、當時内務大臣ニ此事ハ進達ヲ致シタコトニナデ居リマス、ソレノミナラズ德島ノ辯護士團體ハ全部此事ヲ憤慨ヲ致シマシテ、所謂德島市ニ於ケル法曹トシテ、斯ノ如キ違法ナル事ヲ此儘ニ看過スルト云フコトハ、市民トシテ德島市ニ居住ヲ致ス法律家トシテ忍バ能ハザル事ナリトシテ、遂ニ辯護士團體中僅ニ二名ノ人ヲ除ク外ハ、全部起テ此問題ヲ調査シ、サウシテ其研究ノ結果ヲ公表スルト云フコトニナリマシタノデアル、此德島市ノ辯護士團體ハ、是ハ政黨政派ニ何等ノ關係ナキ人多クデゴザイマシテ、全ク法律家トシテ此違法ヲ看過スルコトガ出來ナイト云フ見地ヨリ起テ、調査ヲスルト云フコトニナタノデアル、而シテ其調査ノ結果ニ依リマスルト、吾々ガ以前ヨリ聞イテ居リマシタ事ト少シモ相違ガ無イノデアル、此辯護士團體ノ調査シタ事柄ハ、十分ニ信ヲ置クニ足ルト信ジマスカラ、私ハ先ツ此選舉ノ經過ニ就テハ大體ノ辯護士團體ノ調査ニ基礎ヲ置イテ、此事實ノ真相ヲ見ルト云フコトガ、最も穩當デアラウト思ヒマス、其調査ノ結果ニ依リマスルト、細カク申上ゲルト長クナリマスカラ、成ベク要點ヲ摘申上ゲマスルガ、一月十八日ノ午後一時先ツ會議ヲ開キマシテ、議長ハ公友會ノ村井茂市ト云フ人デアル、此議長ノ下ニ二月十八日ノ午後一時頃開會ヲ致シマシタ所ガ、三十六名ノ市會議員ノ中デ、議長ヲ入レテ十七名ヨリ集ラナカタノデ

アル、ソコデ議員ガ定數ニ充テマセヌカラ一旦休憩ヲ命ジテサウシテ二時十五分ニ市長選舉ヲ行フカラ出頭シロト云フコトノ催告狀ヲ發シマシテ、三時五分ニ開會スルコトニナタノデアル、但シ催告狀ハ議員全體ニ達シテ居リマセヌデ、一部ノ議員ハ受取テ居ナイ人モアルノデアル、所ガ此村井議長ハ會議ヲ始メルニ當テ、今日ノ時代ニ於テ、吾々ノ想像モ及バナイ所ノ亂暴ナル遣方ヲヤテ居ルノデアル、ソレハ多數ノ無賴漢ヲ議場ニ配置ヲ致シマシテ、反對派ノ議員ヲ脅迫シテ、咄嗟ノ間ニ其選舉ヲ終了セント試ミタノデアル、今少シ詳シク其模様ヲ申シマスナラバ、議長席ノ左ノ方ノ側ニハ暴漢ガ五名許リ椅子ヲ列ベテ控エテ居ル、其議長ノ右ノ方ニハ、即チ議場ノ入口ニハ、或ル俠客ノ一人ガ乾兒ノ數名ノ者ヲ其處ニ立タシテ、サウシテ議場ハ、全ク是等ノ暴漢ガ守衛ノ役ヲ勤メタト云フヤウナ觀ヲ呈シテ居タノデアリマス、又議場ノ中ニハ「マント」ヲ著テ居ル者モアレバ、或ハ襟卷ヲシテ居ル者モアル、帽子ヲ目深ニ被テ居ル者モアル、是等ハ何レモ土地ニ於テ蛇蝎ノ如ク振ハレテ居ル所ノ、所謂無賴ノ徒デアル、サウシテ又議員ノ一人ノ席ニハ、暴漢ガ議員ト同ジヤウニ議席ニ坐テ居タト云フヤウナ事實モゴザイマス、其議員ノ一人ノ名前モ今日ハ明カニナラズ居リマシテ、久住久藏ト云フ人ノ議案デアル、斯様ナル光景ノ下ニ議長ハ開會ヲ宣告致シマシタカラ、是ニ於テ反對派ノ議員ノ一人ハ立テ、議場ノ秩序、議事ノ進行ニ關シテ發言ヲ求メマシタケレドモ、議長ハ更ニ之ニ耳ヲ假サナイ更ニ之ニ耳ヲ假サズシテ、突然ト投票ヲスベシト云フコトヲ宣告致シタノデアル、此議長ガ投票ヲセヨト云フコトノ宣告ノ聲ニ應ジテ、公友會ニ屬スル市會議員ノ十六名ハ、直チニ自分ノ席ヲ離レテ議長ノ前ニ「アツ」所——演壇ノ上ニアリシ投票函ニ投票セントシタノデゴザイマス、是ニ於テ議長ノ横暴ヲ訴ヘル議員ガアリ、又餘リニ亂暴ナル遣方デアルト爲メニ、傍聴席カラ飛込シテ其不法ヲ詰ル者モアル、又先程申シマシタ入口ノ方ノ側ニ居タ所ノ俠客ハ、議長ノ後ノ方ニ立テ、自分ノ乾兒ヲ指揮シテ居ルト云フヤウナ有様デアル、斯様ナル有様ノ下ニ議場ハ一大混亂ヲ來シテ、議員ノ一團ト暴漢ノ一團トハ大格闘ヲ演ズルコトニナリ、遂ニ市長——助役モ勿論、議長スラモ其席ニ留マルコトガ出來ナクシテ、遂ニ退席ヲ致シタト云フヤウナ有様デアラ、デゴザイマス、此時ニ市長反對ノ十二名ノ議員モ亦同時ニ退場致シタ、此混亂ノ紛レニ於テ、公友會ニ屬スル十七名、議長ヲ除イテノ十六名ノ人ハ投票ヲ致シタノデアリマスガ、併シ今申ス通り先ツ開會ヲ宣告ヲ致シテ、直チニ議場ガ大混亂ニナテ格闘マデモシテ、殆ド收拾スルコト能ハザル狀態ニナタノデゴザイマスカラ、十六名ノ議員ノ人ハ其席ニ於テ投票ヲスルト云フコト

ハ、無論出來ナイノデアル、筆ヲ執テ投票ヲ認メルト云フヤウナ餘裕モゴザマセズ、又事實ニ於テ左様ナ事ハ出來ナク、タノデアル、ソレニモ拘ラズ十六名ノ者ハ其混亂ニ紛レテ投票函ニ投票ヲ投入致シタノデアル、惟フニ是ハ議場内ニ於テノ投票ハ絕對ニ出來ナイノデゴザイマスカラ、或ハ議事ノ始マル前ニ、投票用紙ヲ議席ノ空席ニ配付セシメタ事實ガゴザイマスカラ、此用紙ヲ窃ニ控室ニ持テ參テ書イタモノカ、然ラザレバ同一ノ他ノ用紙ヲ以テ議場外ニ於テ豫メ書イテ、サウシテ之ヲ懷ニ入レ、若クハ袖ニ入レカシテ持テ參テ投入ヲシタト云フノガ、事實デアルト認メル外ハ無イノデアリマス、德島辯護士團體ノ調査シタ結果モ亦斯様ニナテ居リマス、又今申ス通りノ狀況デゴザイマスカラ、議長自ラモ投票用紙ニ投票ヲ認メルト云フコトノ餘裕モ時間モ無イ、又議長ガ他ノ副議長若クハ其他ノ議員ヲシテ其職務ヲ代理セシメタト云フコトハ、絕對ニ無イノデゴザイマシテ、此事ハ偽造ノ嫌疑ノアル議事録ニモ書イテナイノデゴザイマスカラ、確ニ間違ナイ事實デアル、而モ議長村井茂市ノ投票モ一票トシテ計算サレテ、ソレヲ合シテ即チ十七票ト云フコトニ依テ、一阪俊太郎ガ當選ヲ致シタト云フコトニナテ居ルノデアル、左様ナ事實デアル以上ハ、議長ノ村井茂市ノ一票ハ、或ハ後カラ入レタモノデアルカ、若クハ其以前ニ入レタタモノデハナイカト云フ疑ヲ容レザルヲ得ズ、何トナレバ投票函ヲ檢メタト云フ事實ハ絕對ニ無イノデアル、議事録ニハ投票函ヲ檢メタト書イテゴザイマスケレドモ、事實ニ於テハ投票函ヲ檢メズ、議長自ラ筆ヲ執ル時間モ餘裕モ無クシテ、而モ其一票ガ加テ居ルトスレバ、此投票ハ眞正ナル投票ト認メルコトヲ得ヌノデアリマス……

〔簡單々々〕言論ヲ壓スルナト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○野田文一郎君(續) 而シテ議場ハ今申ス如キ大混亂ニ陥テ、又復議員ノ定數ニ充タザルニ至ツタノデゴザイマスカラ、議長ハ控室ニ在リシ議員ニ對シテ、會議ヲ繼續スルカラ著席ヲセヨト云フコトノ口頭ノ催告ヲ致シマシタケレドモ、併ナガラ此時ハ、反對派ノ議員ノ多數ハ、最早控室ニモ居ラナカタノデアルカラ、其催告ハ缺席議員ニ對シテ居イテ居ナイノデアル、斯様ナル有様デアラ、議員ノ定數ニ充タザルニ拘ラズ、矢張議事ヲ進行ヲ致シタト云フコトハ、是ハ明カニ市制ノ規定ニ反スルモノト謂ハナケレバナラス、以上申ス如キ大要ノ事實デゴザイマスカラ、此市長選舉ノ投票ハ、法律上絕對ニ無効ナリト謂ハザルヲ得ヌノデアル、之ヲ區別ヲシテ要點ヲ申シマスナラバ、凡ソ議場ハ「神聖」ニシテ犯スベカラザルモノデアラ、其議場ノ中ニ暴漢ヲ配置シ、暴力ヲ以テ議事ヲ進行セントスルガ如キ事ハ明カニ違法デアル、斯ル

有様ノ下ニ進行シタル議事ハ、絕對ニ無効ナリト謂ハナ
ケレバナラヌ、更ニ又市長選舉モ矢張り市制ニ於テハ市會議
員等ノ選舉ノ規定ニ準用ヲ致シテ居リマスカラ、此選舉ノ
方則ニ依テ考ヘテ見マスナラバ、申ス迄モナク選舉ハ自由
公正ト云フコトヲ尊重スルノデアラフ、選舉ノ自由公正ハ、總
テノ選舉ニ通スル大原則デアリ、此暴漢ノ壓迫ヲ受ケ、若ク
ハ議員ヲ暴漢トシテ、於テ格闘スルガ如キ有様ノ下ニ
市長ヲ選舉致シタルハ、選舉ノ例カラ見マシテモ、是ハ明カ
ニ無効ナリト謂ハナケレバナラヌ、又第二ニハ市制ノ第五十
五條ニ於テ二十五條ト二十八條トヲ準用致シテ居リマス
ガ二十五條ニ依レバ、投票用紙ハ市長ノ定ムル所ニ依テ、
一定ノ式ヲ用井ヨト云フコトニテ居ル、而シテ二十八條
ニ依レバ、成規ノ用紙ヲ用井ザル投票ハ無効ナリト云フコト
ニテ、テ居リマスカラ、衆議院議員選舉法ノ如ク、投票用紙
ヲ議員ニ交付セヨト云フコトノ明文ハゴザイマセヌガ、此二
十八條二十五條等ノ精神ヨリ解釋ヲ致シマスルナラバ、投
票用紙ハ須ラタ一定ノ式ノ物ヲ、議員自身ニ之ヲ交付シナ
ケレバナラヌト云フコトハ、理論上當然ナ事デアルト私ハ信
ズル、然レニ議員ノ未ダ著席セザルニ方テ、空席ニシテ
置クト云フガ如キ事ハ、此選舉ニ關スル法律ノ精神ヨリ考
ヘテ、明カニ是ハ違法ナリト云フコトニ結論ヲシナケレバナ
ラヌモノト信ジマス（拍手）又第三ニハ矢張り市制ノ五十五條
ノ準用ニ依テ、第二十五條ノ五項ニ依ルト云フ、是ハ明
カニ選舉場、即チ議場ニ於テハ選舉人、即チ市會議員ガ自
ラ記名シナケレバナラヌト云フコトニテ居ル、自ラ書カナ
ケレバナラヌノデアリ、選舉場外即チ議場ノ外ニ於テ十六名
ノ議員ガ作票シタル投票ハ、是ハ明カニ無効デアルト云フコ
トハ一點ノ疑ガ無イト思フ、ソレカラ前ニ申ス如ク、議長ノ
一票ト云フモノハ是ハ違法ノモノデアラフ、眞正ナル投票ト云
フコトニハ認メラレナイ、而モ此一票ガ加テ居ルト云フコト
ハ、是亦選舉ノ無効ナルコトヲ認ムベキ一ツノ理由デアルト
信ジマス、第五ニハ出席議員ガ法定數ニ充タズ、而モ適法
ノ催告ヲセズシテ選舉ヲ終了致シタルデアリ、是ダケノ理由
ニ依リマシテ、此市長ノ選舉ハ當然無効タルベキモノデア
ルト信ズル、殊ニ最モ不都合ナル事ハ、此會議ノ經過ヲ證明
スベキ最モ大切ナル議事録デアリ、此議事録ノ樞要ナル點
ハ、偽造ノ嫌疑ガアルノデアリマス、此事實ヲ辯護士團ノ調査
ノ結果判ツタデアラフ、或ハ最初二二十九名ノ議員ガ出席
ヲ致シタル書イテ居ルケレドモ、其中一人ハ現ニ其時ニ市役
所ニモ來テ居ナカッタト云フコトノ事實ガアル、其名前モ判
テ居リマス、其外此會議ノ眞正ニ行ハレタルデアリカ、其
選舉ハ有效ナリヤ否ヤヲ判定スベキ根據トナル所ノ議事録
ハ、數個所ニ於テ、數個ノ點ニ於テ偽造ノ嫌疑ガアルデア
ラフ、

テ、現ニ德島ノ辯護士團ハ之ヲ告發スルト云フコトノ手續
ヲシタト云フコトモ聞イテ居リマスガ、併ナガラ此事ハ新聞
ニモ出テ居リマセヌカラ、實際告發ガ有テカ無テカ知リ
マセヌガ、司法官憲ハ必ズ其調査ヲシテ、速ニ責任ノ所在
ヲ明クニスル筈デアリハ拘ラズ、今尙ホ其事ガ行ハレテ居
ルト云フコトヲ聞キマセヌ、斯ノ如クニシテ一面ニ於テ市民
ノ憤激ヲ招キ、サウシテ德島市ニ於ケル（簡單）ト呼フ者
アリ（七新聞ノ記者モ新聞記者大會ヲ開イテ、此市長選舉ハ
甚ダ失當デアリカラ（簡單）簡單（簡單）ト呼フ者アリ）
市長ニシテ當選セシメザルヤウニ、更ニ進ンデ市會議員全體
ノ辭職ヲシナケレバ、德島市政ノ圓滿ナ働ハ、ドウシテモ出
來ナイト云フコトノ決議ヲ致シテ居ルノデアリマス
〔少數意見デスカソレハ〕負腹癒セハ困ルヨ、裁判
所ガアルデヤナイカ（默）大問題ダ能ク聽ケ、貴
樣ニ判ルカ（何ダ俊文）氣違（醉拂）ト呼フ者アリ
○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……
○野田文一郎君（續） 更ニ最モ痛心ニ堪ヘナイ事ハ此問
題ハ德島市ニ於ケル一市長ノ選舉デゴザイマスガ、斯ノ如
キ亂暴ナ事ヲ致シタル爲メニ、遂ニ此事ヲ聖慮ニ訴ヘント試
ミルニ至タノデアリ、客月十五日ニ松方内大臣ニ對シテ此
事ノ書面ヲ發シテ、聖慮ニ訴ヘムトスルト云フヤウナ事マデ
モ致シテ居ルノデアラフ、問題ハ一德島ノ問題デゴザイマス
ケレドモ、此事ノ爲メニ市民憤激ノ結果、遂ニ聖慮ニ訴ヘン
トスルニ至ッテハ、是ハ一重大ナル問題ト謂ハナケレバナラヌ
（ノウ）（能ク聽ケ）餘リ馬鹿々々シイト呼フ者アリ、而
シテ此公友會ハ嚮ニ申ス如ク政友會ノ別働隊デアラフ、中
央ニマデ勢力ヲ持ツモノデアリマセヌケレドモ、併ナガラ現
政府並ニ與黨ノ造方ニ如可ナル事ト雖モ、此議會ニ絕對
多數ヲ擁シテ居レバ、ドンナ亂暴ナ事ヲ致シテモ（ノウ
ノウ）如何ニ非立憲ナ事ガアツテモ（拍手起ル）何ガ亂暴
ダト呼フ者アリ）必ズ是ハ通ルモノデアルト云フ、左様ノ
範ヲ中央ニ於テ……

テ居ル、演說料ハ幾ラダ五圓カ十圓カ、辯護士モ廉イモ
ダ（德島ノ少數意見カ德島ノ少數意見ヲ持テ來テハ困
ルヨ）モト好イ問題ヲ持テ來イ（裁判所ガアルデヤナイカ）
ト呼フ者アリ）裁判所ノ働ハ、必ヤ近キ將來ニ起リマシテ、此
市長ノ問題ハ必ズ解決スルト信ジマスガ、併ナガラ議場ニ於
テ質問ヲ致スノハ、裁判所ノ判決ヲ待ツノ必要ハ無イノデ
アリマス
〔此時發言スル者多ク議場騒然〕
○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……
○野田文一郎君（續） 德島ノ市長ノ問題デアルケレドモ、
斯ノ如キ事ヲ看過スルト云フコトニナルト、全國ノ自治機關
ハ之ガ爲メニ根柢ヨリ破壊セラレルト云フ虞ガアルデア
ル、（ノウ）（而シテ斯ノ如キ事ガ段々ト傳播スルト云
フコトニナレバ、（ソナナ事ハナイ）ト呼フ者アリ）是ハ天下ノ
民心ニ惡シキ影響ヲ及ボスト云フコトハ、ドウシテモ免ルベ
カラザル事デアリ、ソレ故ニ吾々ハ此問題ハ、一德島ノ問題
デアルケレドモ、内務大臣ハ特ニ德島ノ縣市政ノ表裏ノ事
情ニ精通シテ居ル人デアラフ、監督者トシテ斯ノ如キ問題
ハ早くニ之ヲ調査シテ適當ノ解決ヲスベキデアリハ拘ラズ、
今尙ホ何等ノ調査ヲ進行シタト云フコトヲ聞カヌ、未ダ結
末ガ著キマセヌガ爲メニ、私ハ爰ニ内務大臣ハ、果シテ此問
題ニ就テ監督ノ責任ヲ完クシタル信ズルノデアリカ、又第二
ト致シマシテハ、嚮ニ申ス如キ數箇ノ理由ニ依リテ、此選舉
ノ無効デアルト信ズルノデアリカ、内務大臣ハ之ニ對シテ如
何ナル見解ヲ持テ居ラル、ノデアリカ、而シテ將來之ニ對
シテ如何ナル處置ヲ執ラントスルノデアリカ、此事ヲ第二ト
云フコトハ、確實ナル事實ト信ジマスガ、之ニ對シテ政府ハ
如何ナル處置ヲ執ラントスルノデアリカ、此事ヲ質問スルノ
デアリマス、願クバ一地方ノ問題ナリトシテ冷淡ナル取扱
ヲセズシテ、殊ニ屢ニ申ス如ク、緣故アル德島ニ於ケル内務大臣
ノ問題デゴザイマスカラ、深切明快ナル答辯ヲ與ヘラレン
コトヲ希望致シマス（拍手起ル）答辯ノ必要ナシト呼フ者
アリ）

ナト呼フ者アリ議場騒然）
○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……
○野田文一郎君（續） 私ハ德島ニ對シテ何等ノ利害ノ關
係モ無イノデアリマス（御座ダト呼フ者アリ）ケレドモ問
題ハ頗ル重大デアラフ、德島ニ於ケル問題ハ所謂一主流デ
アル、未流デアリマス、源泉ガ政友會ノ中央ニアルノデア
ル、（拍手起ル）此濁リノ源泉ガアルガ爲メニ（ノウ）（馬鹿
ト呼フ者アリ）此未流ニ至ルマデモ斯ノ如キ有様デアラフ、
（出鱈目ヲ言フナ）ト呼フ者アリ）東京ニ於ケル醜怪ナル事
件ノ如キ其支流ノ一ツデアリ（拍手起ル）貴様ノ演說ガ濁ッ

○議長（與繁三郎君） 床次内務大臣
（國務大臣床次竹二郎君登壇 拍手起ル）
○國務大臣（床次竹二郎君） 御答致シマスガ、只今ノ事
件ハ調査中デゴザイマス、ソレダ續々申述ヘラレタ事ハ何レ
モ處分濟ノ上ニ御議論然ルベキコト、考ヘマス（拍手起ル）
（判ツカ）顔色ガアルカト呼フ者アリ）
○議長（與繁三郎君） 官吏ト政黨トガ權力ヲ濫用シ官
規ヲ紊リ民心ヲ害ヒ自治ヲ破壞シタル事實ニ關スル質
問——（山道襄一君提出）

○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……
○野田文一郎君（續） 德島ノ市長ノ問題デアルケレドモ、
斯ノ如キ事ヲ看過スルト云フコトニナルト、全國ノ自治機關
ハ之ガ爲メニ根柢ヨリ破壊セラレルト云フ虞ガアルデア
ル、（ノウ）（而シテ斯ノ如キ事ガ段々ト傳播スルト云
フコトニナレバ、（ソナナ事ハナイ）ト呼フ者アリ）是ハ天下ノ
民心ニ惡シキ影響ヲ及ボスト云フコトハ、ドウシテモ免ルベ
カラザル事デアリ、ソレ故ニ吾々ハ此問題ハ、一德島ノ問題
デアルケレドモ、内務大臣ハ特ニ德島ノ縣市政ノ表裏ノ事
情ニ精通シテ居ル人デアラフ、監督者トシテ斯ノ如キ問題
ハ早くニ之ヲ調査シテ適當ノ解決ヲスベキデアリハ拘ラズ、
今尙ホ何等ノ調査ヲ進行シタト云フコトヲ聞カヌ、未ダ結
末ガ著キマセヌガ爲メニ、私ハ爰ニ内務大臣ハ、果シテ此問
題ニ就テ監督ノ責任ヲ完クシタル信ズルノデアリカ、又第二
ト致シマシテハ、嚮ニ申ス如キ數箇ノ理由ニ依リテ、此選舉
ノ無効デアルト信ズルノデアリカ、内務大臣ハ之ニ對シテ如
何ナル見解ヲ持テ居ラル、ノデアリカ、而シテ將來之ニ對
シテ如何ナル處置ヲ執ラントスルノデアリカ、此事ヲ第二ト
云フコトハ、確實ナル事實ト信ジマスガ、之ニ對シテ政府ハ
如何ナル處置ヲ執ラントスルノデアリカ、此事ヲ質問スルノ
デアリマス、願クバ一地方ノ問題ナリトシテ冷淡ナル取扱
ヲセズシテ、殊ニ屢ニ申ス如ク、緣故アル德島ニ於ケル内務大臣
ノ問題デゴザイマスカラ、深切明快ナル答辯ヲ與ヘラレン
コトヲ希望致シマス（拍手起ル）答辯ノ必要ナシト呼フ者
アリ）

○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……
○野田文一郎君（續） 私ハ德島ニ對シテ何等ノ利害ノ關
係モ無イノデアリマス（御座ダト呼フ者アリ）ケレドモ問
題ハ頗ル重大デアラフ、德島ニ於ケル問題ハ所謂一主流デ
アル、未流デアリマス、源泉ガ政友會ノ中央ニアルノデア
ル、（拍手起ル）此濁リノ源泉ガアルガ爲メニ（ノウ）（馬鹿
ト呼フ者アリ）此未流ニ至ルマデモ斯ノ如キ有様デアラフ、
（出鱈目ヲ言フナ）ト呼フ者アリ）東京ニ於ケル醜怪ナル事
件ノ如キ其支流ノ一ツデアリ（拍手起ル）貴様ノ演說ガ濁ッ

○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……
○野田文一郎君（續） 私ハ德島ニ對シテ何等ノ利害ノ關
係モ無イノデアリマス（御座ダト呼フ者アリ）ケレドモ問
題ハ頗ル重大デアラフ、德島ニ於ケル問題ハ所謂一主流デ
アル、未流デアリマス、源泉ガ政友會ノ中央ニアルノデア
ル、（拍手起ル）此濁リノ源泉ガアルガ爲メニ（ノウ）（馬鹿
ト呼フ者アリ）此未流ニ至ルマデモ斯ノ如キ有様デアラフ、
（出鱈目ヲ言フナ）ト呼フ者アリ）東京ニ於ケル醜怪ナル事
件ノ如キ其支流ノ一ツデアリ（拍手起ル）貴様ノ演說ガ濁ッ

○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……
○野田文一郎君（續） 德島ノ市長ノ問題デアルケレドモ、
斯ノ如キ事ヲ看過スルト云フコトニナルト、全國ノ自治機關
ハ之ガ爲メニ根柢ヨリ破壊セラレルト云フ虞ガアルデア
ル、（ノウ）（而シテ斯ノ如キ事ガ段々ト傳播スルト云
フコトニナレバ、（ソナナ事ハナイ）ト呼フ者アリ）是ハ天下ノ
民心ニ惡シキ影響ヲ及ボスト云フコトハ、ドウシテモ免ルベ
カラザル事デアリ、ソレ故ニ吾々ハ此問題ハ、一德島ノ問題
デアルケレドモ、内務大臣ハ特ニ德島ノ縣市政ノ表裏ノ事
情ニ精通シテ居ル人デアラフ、監督者トシテ斯ノ如キ問題
ハ早くニ之ヲ調査シテ適當ノ解決ヲスベキデアリハ拘ラズ、
今尙ホ何等ノ調査ヲ進行シタト云フコトヲ聞カヌ、未ダ結
末ガ著キマセヌガ爲メニ、私ハ爰ニ内務大臣ハ、果シテ此問
題ニ就テ監督ノ責任ヲ完クシタル信ズルノデアリカ、又第二
ト致シマシテハ、嚮ニ申ス如キ數箇ノ理由ニ依リテ、此選舉
ノ無効デアルト信ズルノデアリカ、内務大臣ハ之ニ對シテ如
何ナル見解ヲ持テ居ラル、ノデアリカ、而シテ將來之ニ對
シテ如何ナル處置ヲ執ラントスルノデアリカ、此事ヲ第二ト
云フコトハ、確實ナル事實ト信ジマスガ、之ニ對シテ政府ハ
如何ナル處置ヲ執ラントスルノデアリカ、此事ヲ質問スルノ
デアリマス、願クバ一地方ノ問題ナリトシテ冷淡ナル取扱
ヲセズシテ、殊ニ屢ニ申ス如ク、緣故アル德島ニ於ケル内務大臣
ノ問題デゴザイマスカラ、深切明快ナル答辯ヲ與ヘラレン
コトヲ希望致シマス（拍手起ル）答辯ノ必要ナシト呼フ者
アリ）

○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……
○野田文一郎君（續） 私ハ德島ニ對シテ何等ノ利害ノ關
係モ無イノデアリマス（御座ダト呼フ者アリ）ケレドモ問
題ハ頗ル重大デアラフ、德島ニ於ケル問題ハ所謂一主流デ
アル、未流デアリマス、源泉ガ政友會ノ中央ニアルノデア
ル、（拍手起ル）此濁リノ源泉ガアルガ爲メニ（ノウ）（馬鹿
ト呼フ者アリ）此未流ニ至ルマデモ斯ノ如キ有様デアラフ、
（出鱈目ヲ言フナ）ト呼フ者アリ）東京ニ於ケル醜怪ナル事
件ノ如キ其支流ノ一ツデアリ（拍手起ル）貴様ノ演說ガ濁ッ

○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……
○野田文一郎君（續） 私ハ德島ニ對シテ何等ノ利害ノ關
係モ無イノデアリマス（御座ダト呼フ者アリ）ケレドモ問
題ハ頗ル重大デアラフ、德島ニ於ケル問題ハ所謂一主流デ
アル、未流デアリマス、源泉ガ政友會ノ中央ニアルノデア
ル、（拍手起ル）此濁リノ源泉ガアルガ爲メニ（ノウ）（馬鹿
ト呼フ者アリ）此未流ニ至ルマデモ斯ノ如キ有様デアラフ、
（出鱈目ヲ言フナ）ト呼フ者アリ）東京ニ於ケル醜怪ナル事
件ノ如キ其支流ノ一ツデアリ（拍手起ル）貴様ノ演說ガ濁ッ

○議長（與繁三郎君） 靜肅ニ……
○野田文一郎君（續） 德島ノ市長ノ問題デアルケレドモ、
斯ノ如キ事ヲ看過スルト云フコトニナルト、全國ノ自治機關
ハ之ガ爲メニ根柢ヨリ破壊セラレルト云フ虞ガアルデア
ル、（ノウ）（而シテ斯ノ如キ事ガ段々ト傳播スルト云
フコトニナレバ、（ソナナ事ハナイ）ト呼フ者アリ）是ハ天下ノ
民心ニ惡シキ影響ヲ及ボスト云フコトハ、ドウシテモ免ルベ
カラザル事デアリ、ソレ故ニ吾々ハ此問題ハ、一德島ノ問題
デアルケレドモ、内務大臣ハ特ニ德島ノ縣市政ノ表裏ノ事
情ニ精通シテ居ル人デアラフ、監督者トシテ斯ノ如キ問題
ハ早くニ之ヲ調査シテ適當ノ解決ヲスベキデアリハ拘ラズ、
今尙ホ何等ノ調査ヲ進行シタト云フコトヲ聞カヌ、未ダ結
末ガ著キマセヌガ爲メニ、私ハ爰ニ内務大臣ハ、果シテ此問
題ニ就テ監督ノ責任ヲ完クシタル信ズルノデアリカ、又第二
ト致シマシテハ、嚮ニ申ス如キ數箇ノ理由ニ依リテ、此選舉
ノ無効デアルト信ズルノデアリカ、内務大臣ハ之ニ對シテ如
何ナル見解ヲ持テ居ラル、ノデアリカ、而シテ將來之ニ對
シテ如何ナル處置ヲ執ラントスルノデアリカ、此事ヲ第二ト
云フコトハ、確實ナル事實ト信ジマスガ、之ニ對シテ政府ハ
如何ナル處置ヲ執ラントスルノデアリカ、此事ヲ質問スルノ
デアリマス、願クバ一地方ノ問題ナリトシテ冷淡ナル取扱
ヲセズシテ、殊ニ屢ニ申ス如ク、緣故アル德島ニ於ケル内務大臣
ノ問題デゴザイマスカラ、深切明快ナル答辯ヲ與ヘラレン
コトヲ希望致シマス（拍手起ル）答辯ノ必要ナシト呼フ者
アリ）

二 官吏ト政黨員トカ權力ヲ濫用シ官規ヲ紊リ民心ヲ害ヒ自治ヲ破壞シタル事實ニ關スル質問(山道襄一君提出)
官吏ト政黨員トカ權力ヲ濫用シ官規ヲ紊リ民心ヲ害ヒ自治ヲ破壞シタル事實ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正十年二月二十八日

提出者 山道 襄一
賛成者 河野 廣中
外二十九人

官吏ト政黨員トカ權力ヲ濫用シ官規ヲ紊リ民心ヲ害ヒ自治ヲ破壞シタル事實ニ關スル質問主意書
大分縣ニ於ケル縣當局者カ監督權ヲ濫用シ自治團體ヲ壓迫シテ政友會員ノ增加ニ努メタルコトハ天下公知ノ事實ナルカ其ノ代表的事實ノ一トシテハ同縣宇佐郡津房村會ハ大正九年一月十二日村長選舉ヲ行ヒ現任村長尾立維忠多數ヲ得テ當選シタルヲ以テ翌十三日認可申請書ヲ宇佐郡長ニ提出シ尾立維忠ハ大分縣知事ヲ訪ヒ右村長認可ノ速ナラムコトヲ述ヘタルニ知事ハ當然ノコトナルヲ以テ書類到達次第其ノ手續ヲ了スヘシト答ヘタルニ月餘ヲ經過スルモ認可セラレサルヲ以テ村會議員江藤健太郎外五名ハ請願書ヲ提出シタルニ三月二十三日ニ至リ知事ハ維忠ニ對シ津房村長認可ノ件ハ郡長ヨリ不認可ノ申請アリタルヲ以テセリ故ニ維忠ハ維忠ハ永ク村長タルノ意思ナケレハ今回ハ認可サレタシト云ヒシニ知事ハ再ヒ曰ク然ラハ維忠ヲシテ豫メ辭表ヲ作製セシメ郡長ニ預ケ置カシメ得ルカト云ヒシカハ維忠之ヲ保證スヘキヲ告ケ知事亦然ラハ郡長ヲ呼出シテ認可可方取計ヒ本月中ニ回答スヘシト約シ別レタル四月一日知事ハ維忠ニ對シ仲裁不調ニ付辭退ヲ望ム旨ヲ電報シ越エテ五月十二日再ヒ維忠ニ電報ヲ以テ維忠ノ辭退ヲ希望スル旨云ヒ來リタルヲ以テ維忠ハ返電ヲ發シ維忠辭退セスト明答セシカハ五月二十五日大分縣知事ハ右不認可ノ命令ヲ發シタル

宇佐郡役所ハ津房村長尾立維忠就任不認可ノ命令書ヲ津房村役場ニ送致セシ直ニ郡書記中井常之助ヲ津房村長職務管掌ニ任命シ且速ニ津房村長選舉ヲ行フヘシト命令シタル常之助ハ津房村ニ赴任シ此ノ旨ヲ助役遠島藤十郎ニ傳ヘタル儘病氣ニ罹リ缺勤セルヲ以テ藤十郎ハ町村制ノ規定ニ依リ村長職務管掌代理トシテ内務大臣宛村長就職認可申請書ヲ提出シタルニ郡役所ハ之ヲ却下シ六月六日更ニ中

島嶼ヲ村長職務管掌トシテ任命シ津房村會ニ選舉會ヲ開カシメ其ノ間警察官ト政友會員トカ協力シテ憲政會所屬村會議員ヲ誘惑シ又ハ暴力ニ訴ヘテ脅迫シタルノ事實アリ遂ニ政友會員大坪重軌ヲ村長ニ當選セシメ縣當局ハ直ニ就職認可ノ手續ヲ爲シタルカ之レ實ニ監督權ヲ濫用シテ地方自治ヲ紊リ黨勢擴張ノ爲官權ヲ濫用スルモノニ非サルカ

二 熊本縣ニ於ケル政友會ノ黨勢擴張ニ對シ縣當局者カ權勢ヲ濫用シテ之ヲ援助セルノ事實ハ各方面ニ涉リテ殆ト亂暴狼藉ヲ極ム今其ノ顯著ナル事實ヲ列舉セム
(イ)阿蘇郡小峯村會ハ村長選舉ヲ行ヒ倉岡友彦當選シ大正九年三月認可申請ヲ爲シ就職ニ至ル迄六十日間政友會員駐在巡查ト協力シテ倉岡ニシテ若政友會員入黨セサレハ就職認可ナキコトヲ脅迫シ遂ニ入會内諾ヲ得テ認可シタル
(ロ)飽託郡川口村會ハ大正八年七月二十九日中島仙太郎ヲ助役ニ選任シ翌日認可申請ヲ爲シタルニ容易ニ認可ヲ與ヘス其ノ間ニ於テ政友會員中村辰彦及林田寧熊等ハ頻ニ中島ヲ誘惑シ之カ爲認可ヲ五箇月間延引セリ

(ハ)上益城郡中島村長選舉當日即チ大正九年十二月二十五日憲政會所屬村會議員ニ對シ警察署ハ同日午前九時迄ニ出頭スヘシト命令シ午後四時ニ至ル迄之ヲ留メ置キ遂ニ會議ニ出席スルヲ得サラシメタル而已ナラス同郡長ハ郡書記三名ヲ中島村ニ派遣シ選舉運動ヲ爲サシメタルノ事實アリ
(ニ)上益城郡名連川村會ハ大正八年十一月二十四日滿場一致ヲ以テ憲政會員堀萬八ヲ村長ニ選舉シ即日認可申請ヲ爲シタルモ五箇月間認可ヲ與ヘスシテ一方政友會員濱口町長ハ堀ニ對シ若政友會員入會セハ直ニ認可アルヘシト其ノ筋ノ有力者ヨリノ直話ナリトテ百方入會ノ勸誘ニ努メタルカ堀ノ意志堅クシテ其ノ效ナカリシナリ

(ホ)菊池郡原水村助役辭職セルヲ以テ後任選定ニ當リ大正九年九月十一日三島勇雄當選シタルカ當局者ハ容易ニ就任ヲ許可セシメシ其ノ間惡辣手段ヲ弄シテ政友會員入會セシメタルコトハ三島ハ知事及政友會員等ノ行爲ヲ不快トシ十一月十二日認可アリタルモ就職ヲ辭退セリ
(ヘ)天草郡富津村會ハ村長選舉ヲ行ヒ多數ヲ以テ山下龜造當選シ大正八年十二月一日認可ヲ申請セルモ餘リニ認可可延延セルヲ以テ村會議員ハ事

務ノ滯滯ヲ恐レ當局ニ對シ再三懇請シタルモ決セズ遂ニ山下ハ當局ノ措置ニ憤慨シテ自ラ當選ヲ辭退セリ之レ大正九年三月二十八日ナリ之ニ乘ジテ第一監督官廳ハ郡書記ヲ富津村ニ派シテ山下再選ノ不可ヲ吹聴セシメタルカ大正九年五月二十五日ノ選舉會ニ於テ山下ハ九點ノ中八點ノ多數ヲ以セラレタルニ郡書記ハ村會議員ニ對シ再選ノ不可ヲ再選ヲ説キ且政友會員増田頑次ヲ選舉スヘク選舉ノ進リ直シラシテハ如何ト説キ山下ニ對シ亦直接辭退ヲ勸告シタルト云フ斯クテ認可申請中種々ノ手段ヲ以テ政友會員入會ヲ勸誘シ甚シキハ外米購入分配等ニ付不正事件アルカ如ク吹聴セシメ警察官ノ活動ヲ名トシテ認可ヲ延延シツツアリ
(ト)八代郡太田鄉村會ハ小田三郎ハ収入役ニ推薦シ、大正九年九月認可ノ申請ヲ爲シタルモ七十日間之ヲ許可セス其ノ間政友會員西三圭ヲシテ小田ニ對シ政友會員入會セサレハ就職認可セラレサルヘシト脅迫シタルヲ以テ小田ハ認可ヲ得ムトシテ政友會員入會ノ口約ヲ與ヘタルニ果然三日目就職認可ヲ得タリ而シテ政友會員ハ其ノ約ヲ履行シ新聞ニ廣告スヘシト迫リタルヲ以テ朴直ナル小田ハ憲政會員ニ對スル從來ノ關係ヨリシテ苦煩ノ結果遂ニ精神ニ異狀ヲ來シ辭職ノ已ムナキニ至レリ
(チ)八代郡太田鄉村助役片岡伊吉ニ對シ惡辣手段ヲ以テ辭職セシメ政友會員井村某ヲ後任トナサムトセルモ憲政會員片岡伊吉再選セラレタルヲ以テ未タ當局ハ認可ヲ與ヘス
(リ)八代郡八千把村助役本田嘉市ノ認可申請書ハ大正九年十一月二十六日提出セラレ殊ニ本田ハ前助役滿期ノ結果再選セラレタルモノニシテ何等缺點ナキニ拘ラス憲政會員ナルノ故ヲ以テ認可セズ
(ヌ)八代郡下松求麻村ニテハ村長西岡義憲(政友會員)カ刑事被告事件ニテ失格シタルヲ以テ村會議員多數ハ選舉會ノ開會ヲ要求セルモ助役岩橋與一郎(政友會員)ハ之ヲ拒ミ更ニ大正八年十月岩橋亦滿期トナルヤ八代郡長ハ政友會員佐伯義方ト稱スル同村ト無關係ナル人物ヲ臨時村長代理ニ任命シ今日ニ至ル迄二箇年餘ニ及ヘリ
熊本縣ニ於ケル政友會員增加ノ手段ハ行政監督權ノ濫用ニ止マラス教育土木勸業等各種ノ方面ニ及ヘルカ其ノ一二ヲ指摘スレハ

(イ)中學校建設ニ際シ縣當局者ハ縣會ノ決議ヲ無視シ原案執行ヲ爲シテ先ツ之ヲ利用シテ上益城郡御船町民ノ政友會入會勸告ノ具ニ供シタルモ其ノ效少カリシカハ甲佐町民ヲ誘惑シ更ニ轉シテ菊池郡大津町民ヲ勸誘シツ、アリト云フ

(ロ)飽託郡河内道路豫算二萬三千圓ハ既ニ縣道存在セルニ拘ラス衆議院議員選舉ノ際全村ノ投票ヲ政友會派ニ投スヘシトノ條件ニテ道路取廣ケヲ約シ大正十年度豫算トシテ計上セラレタルモノナリト云フ

(ハ)宇土郡松合道路豫算八千圓ハ松合村民ノ政友會入會ヲ條件トシテ大正十年度豫算ニ計上シタルト云フ

(ニ)以上ノ諸費ハ縣會ニ於テ否決セラレタルモノナリ然ルニ知事ハ内務部長ヲ上京セシメ遂ニ原案ヲ執行セリ

(ホ)葦北郡吉尾村ニテハ村有林ヲ以テ學校ヲ建築セルニ用材多量盜難ニ罹リタルコトヲ發見シ大正九年九月一日村民大會ヲ開キ約五十名宛十組二分レ搜索ノ結果附近山間、溪谷、鐵道橋梁ノ下及建築委員ニシテ區長タル宮崎某ノ小屋二階ヨリ多量ノ建築用材ヲ發見シタル爲檢事局ニ告訴シタルモ爾來五箇月何等ノ解決ヲ見ス右ハ村長カ政友會員ニシテ此ノ事件發展セムカ同村政友會全滅ノ恐アル爲ナリト云フ

(ヘ)阿蘇郡朝陽村ニテハ村長ヲ始メ一級公民ノ租稅滯納三年ヲ越ユルモノアリ公金費消ノ嫌疑アリ學校建築費ノ決算ヲ爲ス能ハサル等ノ不始末アルモ村長カ政友會員ニシテ黨勢擴張ニ熱心ナルカ爲當局ハ之ヲ放任セリト云フ

四 島根縣ニ於ケル政友會ノ黨勢擴張運動亦各方面ニ涉リ露骨ニ行ハル殊ニ驚クヘキ一事アリ大正九年十二月總理大臣官邸ニ於ケル豫算内示會ニ提呈セラレタル大正十年度豫算綱要中内務省所管臨時部出雲大社境内擴張整理費五萬圓ノ計上セラレアル備考欄ニ依レハ總額三十一萬九千九百零九圓ニシテ六箇年繼續費ナルカ此ノ豫算ハ出雲大社ノ地元ナル村築町並附近數箇村ノ重立者ニハ數箇月前ヨリ明示セラレ今期議會ニ必ス提出セラルヘキヲ以テ大社境内整理ヲ條件トシテ政友會ニ入會スヘシト島根縣政友會支部幹部ヨリ勸誘セラレ町村民ノ重立者ハ皆之ニ應ジタリト云フ

五 鐵道敷設ヲ好餌トシテ政友會カ黨員ヲ募集シツツ

アルコトハ天下之ヲ知ラサルモノナシ之ヲ列舉スルコトハ其ノ煩ニ耐ユル所ニ非サレトモ爲ニ地方民心ヲ惡化シ地方財界ヲ混亂セシメ自治ノ圓滿ヲ破壞セル二三ノ實例ヲ舉ケレハ

(イ)巖手縣一ノ關町ヨリ千厩町ヲ經テ宮城縣氣仙沼町ニ至ル所謂磐仙鐵道ハ寺内内閣當時ニ於テ大正十年度ヨリ起工ニ著手スヘキコト決定セルモノナルニ千厩町地方ハ非政友ノ氣勢旺盛ナルヲ以テ之ヲ破壞スヘク特ニ線路ヲ變更シテ政友會所屬代議士某ノ居住地即チ東磐井郡北部ヲ通過スルコトノ計劃ヲ立テ一方ニ於テハ千厩町民ニ對シ若線路ノ變更ヲ防カント欲セハ政友會ニ入會スヘシ而モ其ノ保證トシテ憲政會員タル千葉町長ヲ辭職セシムヘシト脅迫シ千葉町長ハ辭職シタルモ線路何レニ決スヘシトモ思ハレス黨勢擴張ノ口實ニ過キサルヲ思ハシムルモノアリ地方民心頗ル不安ニ變ハレツツアリト云フ

(ロ)八戸久慈間ノ線路即チ青森縣八戸驛ヨリ巖手縣久慈町ニ至ル鐵道ヲ敷設スルヲ條件トシテ由來非政友會員多數ナル同地方民ヲ政友會ニ入會セシメ縣會議員村田矢太郎(憲政會)先ツ其ノ犧牲ニ供セラレタルト云フ

(ハ)熊本縣宮地線ノ立野驛ヨリ分岐シテ高森町ニ達スル鐵道線路ノ敷設ヲ條件トシテ沿線十一箇村民ハ大正八年縣會議員選舉前政友會ニ入黨セシメラレタルモノナリト云フ

(ニ)政摩郡人吉町ヨリ多良木町ニ至ル輕便鐵道線ハ私設出願アリタルヲ却下シテ官設ノ計劃アルコトヲ公表シ沿道村民ニ對シ交換條件トシテ政友會入會ヲ勸誘セリト云フ

(ホ)熊本縣ヨリ宮崎縣延岡町ニ至ル鐵道及熊本縣菊池郡ヨリ阿蘇郡ノ一部ヲ經テ大分縣ニ通スル鐵道線路ノ如キハ數回測量技師ヲ派遣シテ地方ヲ徘徊セシメ測量隊ノ後方ニ政友會員附隨シテ沿道人民ニ政友會入會ヲ勸誘セリト云フ

(ヘ)廣島縣三原町ヨリ吳市ニ至ル所謂海岸鐵道ハ緊急ノ線路ニシテ又有利ナル鐵道タリ爲ニ鐵道省ハ之ヲ豫定線ニ編入シ衆議院ハ已ニ之ニ同意ヲ與ヘ寧ろ今年度迄提案ナカリシヲ怪ム程ナルニ今更白々シクモ之ヲ利用シテ若沿線五千人ノ政友會入會者ヲ得ラヌムハ右鐵道敷設ハ困難ナルヘシト脅威シ地方民ハ長イ物ニ念カレト嘲笑シツツ入黨書ニ捺印セリト云フ

(ト)北海道天鹽國留萌ヨリ天鹽ニ至ル所謂沿岸鐵道敷設ハ地方民ノ最希望スル線路ナルカ同國ニテ五千人ノ政友會入會アルニ非スムハ成功シ難シト吹聴シ町村民ハ政友會入黨書調印ノ爲村費ヲ以テ管内出張ヲ爲シ爲ニ問題ヲ惹起シタル而已ナラス各町村ハ鐵道期成同盟會ナルモノヲ組織シ各數百乃至數千圓ヲ繰出シ支出明瞭ナラサルモノアリト云フ

以上ハ全國ニ於ケル事實ノ千萬分ノ一ヲ指摘シタルニ過キサレトモ而モ政府ハ全然之ヲ否認シ去ルコトハ不可能ナルヘシ即チ之レ全ク權力ノ濫用ニシテ官規ノ紊亂ナリ民心ノ攪亂ナリ自治ノ破壞ナリ政府ハ果シテ如何ナル態度ヲ以テ之ニ處セムトスルカ

右及質問候也

〔山道襄一君登壇、拍手起ル、簡單、要領ヲ言ヒ給ヘ、速記者泣カセ〕「元辯ハ却テ效ヲ爲サズ、會期餘ス所十日間簡單ヲ望ミマス、默レ默ッテ聽ケ」ト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 質問サレ方ニ申シマスガ、本日ハ質問サレ方モ隨分多ウゴザイマシテ、殊ニ同ジ派ノ方ニ限ラレテ居リマスカラ成ベク、内輪同士時間ノ節儉アランコトヲ望ミマス

〔贊成〕議長公平「ト呼フ者アリ」

○山道襄一君 私ノ質問セント致シマス事ハ全國ニ亙テ居リマスレバ、而モ事實ヲ一々列舉シマスレバ、之ヲ文章語デ申シマスレバ數限リナイコトデアリマス、併ナガラ只今議場ヨリ誰方ウノ御言葉モゴザイマシタ、殊ニ議長ノ御注意モゴザイマシタ、左ナクトモ私不肖ト雖モ本日會期ノ切迫致シテ居ル位ノコトハ心得テ居リマス、又多少ノ私ハ議場ノ德義心ヲ承知致シテ居リマス故ニ、努メテ簡單ニ申述ベル積リデアリマス、併ナガラ簡單ニ申述ベルト申シマシテモ、私ノ質問ノ趣旨ガ徹底致サナイヤウナコトデハ甚ダ困ルノデアリマス、又本日私ノ申述ベントシマス事ハ、殊ニ政友會ノ御方ニ取リマシテハ、御聽惡イ點ガ多アラウト考ヘマス、故ニ若シソレガ爲メニ種々ナル批評ヲ御試ミニナル場合ニ於テ、若シ私ノ陳述ノ御妨ゲナサルヤウナコトゴザイマスレバ、隨テ私ハ其事實ヲ、幾ラノ時間ヲ要シテモ申述ヘナケレバナラヌデアリマス、故ニ私ヲシテ簡單ニ此事實ヲ陳述セシメ、質問セシメントスナラ、先ヅ諸君モ靜ニ御聽取リ下サランコトヲ、切ニ御願シテ置クデアリマス(拍手起ル)私ノ第一ニ御尋致シタイ事ハ、此官吏ト政黨員トガ權力ヲ濫用シ、官紀ヲ紊シ民心ヲ害ヒ、自治ヲ破壞シタル事實、第一ト致シマシテ、大分縣下ニ於ケル縣當局者ガ、監

實、第一ト致シマシテ、大分縣下ニ於ケル縣當局者ガ、監

督權ヲ濫用致シテ、自治團體ヲ壓迫致シタル事カラ申
述ベキ、是等ノ事實ハ幾多、アルノデアリマス、併ナガラ此
中ニ於テ、唯ダ一ツノ代表的ノ事實ヲ申述ベキ、ノデアリ
マス、而モ其事實ハ私ノ存シテ居ル一事實ヲ述ベマス、タ
モ、此文書タケノモノガゴザイマス、之ヲ私ハ努メテ簡單
ニ申述ベマス、大分縣ノ宇佐郡津房村ニ於キマスル村會
ハ、大正九年一月十二日村長選舉ヲ行ヒマシタ、其時ニ滿
期トナリテ居リマスル現任ノ村長デゴザイマシタ、尾立維忠
君ヲ多數ヲ以テ推選致シタルデアリマス、然ルニ其翌日認
可申請書ヲ提出致シタルニ拘ラズ、約百三十日間ニ亙リマ
ス間、是ガ認可ヲセラルトモ認可ヲセラレズトモ決セズシテ、
放任セラレテアツタノミナラズ、此間ニ於キマシテ、内務大臣
モ御承知デアリマセウガ、此尾立君ノ令兄ニ當ラル、尾立
維孝君、最モ地位アル人デアリマシテ、錦鷄間祇候ヲ致シテ
居ラレル人デアリマス、此紳士ナル所ノ、名譽アル地位ニ在
ラレマス所ノ、此尾立維孝君ガ大分縣知事ヲ訪問セラレ
テ、速ニ其認可ヲラントラ述ベラレタ際ニ於テハ、大分縣
知事ハ何トソレニ答ヘテ居ルカト云ヘバ、適法ナル選舉ニ依
テ選舉セラレマシタ村長デアリカ、直チニ申請書ノ到達次
第認可スルノガ當然ナリト云フコトデ、其會談ヲ終テ歸ラ
レマシタガ、其後ニ於テ依然トシテ其認可ガゴザイマセウカ
ラ、再ビ此尾立維孝君ガ知事ヲ訪問セラレマス、意外ニモ
知事ハ斯ノ如キ事ヲ言テ居ラレノデアリマス、若シ君ガ
令弟デアル所ノ維忠君ヲシテ、豫メ辭表ヲ作テ置カセ
テ——村長ヲ辭スルト云フコトノ辭表ヲ作テ、之ヲ郡長ノ
手計ニ預ケテ置カル、ナラバ、郡長ニ言テ此認可ノ出來ル
ヤウニ取計ハウト云フ知事ノ話デアリマス、洵ニ驚人タ事
デアリマス、豫メ村長ノ認可ヲスルニ當テ、辭表ヲ郡長ノ手
計ニ差出シテ置クナラバ、其認可ヲ取計テヤルト云フ其當
時ノ言葉ハ、認可ヲ取計ハウト云フヨリハ、寧ロ仲裁スルト
云フヤウナ言葉ヲ以テ知事ガ言テ居ル、然ルニ斯様ナ事
ハ、到底兄弟ノ間柄ト雖モ出來ル事デハゴザイマセウ、又當
然斯様ナ事ヲ爲スベキコトデハゴザイマセウ、ソレ故ニ其儘
ニシテ置キマシタ所ガ、其後大分縣知事ハ度モ此尾立維孝
君ニ向テ、電報ヲ以テ調停ガ或ハ不能デアルトカ、或ハ斯
様ニ取計フヤウニナツタカラ、辭表ヲ出シテ置カル、ナラバ、何
トカ方法ヲシテ見ヤウト云フヤウナコトヲ繰返シテ居ラレマ
シタケレドモ、遂ニ其事ニ就テハ、尾立維孝君ハ名譽アリ地
位アル人デアリカ、斯様ナ事ニハ無論關與セズシテ、其儘
ニ放任シテ置キマシタ、所ガ遂ニ百三十日ヲ經過シテ、五
月二十五日ニ認可ノ命令ガ來タ、而モ其認可ノ命令ハ
役場ニ送達セズシテ、郡役所カラ直チニ其郡長ハ那書記中
井某ヲ以テ、村長ノ職務管掌ニ任命致シテ津房村ニ赴カ

シメタ、然ルニ其書記ガ病氣ノ爲メデゴザイマセウカ、一日モ
出勤致サナイ、ソレ故ニ其當時ノ助役ハ町村制ノ命ズル所
ニ從テ、内務大臣ニ向テ申請書ヲ出シマシタケレドモ、是
亦郡役所ニ於テ阻止セラレテ、遂ニ何等ノ事ナシデ、其間ニ
於テ郡役所ハ再ビ六月六日ニ、更ニ又中島某ナル者ヲ村
長職務管掌ニ任命シマシテ、此津房村ノ村會ヲ開カシテ、
村長選舉ヲ行ハシメタルデアル、其際ニ於ケル警察官ノ行
動及政友會員ト稱スル人達ノ行動、是等ノ行動ガ、其憲政
會ノ所屬村會ノ議員ニ對シテ非常ナル誘惑ヲ試ミ、甚シキ
ハ暴力ニ訴ヘテ以テ、威壓ヲ加ヘ、壓迫ヲ加ヘタニモ拘ラズ、
警察官ハ之ニ對シテ、何等ノ保護ヲ憲政會ノ村會議員ニ
加ヘナカッタト云フ事實ハ、此處ニアル此文書中ニ、十分其
事實ノ調査ガ記録セラレテハゴザイマス、是ハ略スト致シ
マス、斯様ナ事實ガアリマシテ、遂ニ此政友會ノ大坪重軌ナ
ル人ガ村長ニ當選セラレマス、云フト、直チニ其認可ガ出來
タノデアリマス、洵ニ此間ノ事情ニ就キマシテハ、吾ハ不可
解ニ堪ヘナイノデアリマス、ノミナラズ之ガ爲メニ、此大分
縣民心ヲ惡化シテ居ル此代表的ノ事實ニ等シキモノガ、各
郡ニ亙テ幾多存在致シテ居ルコトハ、自治ノ將來ニ對シテ
非常ニ憂慮ニ堪ヘナイノデアリマス、是ガ私ノ第一ノ質問デ
アリマス、其次ニ於キマシテハ、諸君ハ既ニ度々御聞ノ如ク
デアリマス、御承知ノ通りデアリマス、殊ニ全國中ニ於テモ、
地方官ガ權力ヲ濫用致シマシテ、地方自治ノ紊亂ヲ致シテ
居ル上ニ於テ、最モ甚シイト云ハレテ居ルハ熊本縣デアリ
マス、此熊本縣ニ於ケル選舉干涉等ニ就テハ、會テ内務大
臣ハ縣知事ニ向テ、或ハ郡長ニ向テ、相當ナル戒飭ヲ加
ヘマシタコトガアル位、有名トル所ノモノデアリマス、自己ノ
政府ノ下ニ於テ、自己ノ其政府ノ下ニ於テ行レタ選舉ニ對
シテサハ斯様ナ事ヲセラレタ、幾多ノ驚クベキ事實ノ存在致
シテ居ルコトハ、恐ラク内務當局モ御否認ナサルコトハナ
ト思ヒマス、更ニ私ハ此直接地方自治ノ實體ニ涉リマシテ
ノ不徳ナル事、各郡ニ涉ル代表的ノ事實ノミヲ陳述致シテ、
御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、先ヅ阿蘇郡小峰村カラ申
シマス、此阿蘇郡小峰村ニ村長選舉ヲ行ヒ、倉岡友彦ナル
人ガ大正九年三月ニ村長ニ當選ヲ致シマシタノデ、認可ノ
申請ヲ致シマシタ、然ルニ認可可就職致シマスマデニ六十日
ヲ費シタ、此六十日ノ間ニ於テ、政友會員ト稱スル人ト駐
在所ノ巡查ト協力シテ、此村長ニ當選シマシタ倉岡氏ニ
對シテ、政友會ニ入黨シナケレバ、如何ニシテモ村長ノ認可
ハ出來ナイト云フコトヲ以テ盛ニ脅迫シマシテ、辛ウシテ政
友會ニ入ルト云フ内諾ヲ與ヘテ直チニ認可サレタ、六十日
掛テ認可サレタノデアリマス、次ニ飽託郡ニ於ケル川口
村ノ村會ハ、大正八年七月二十九日中島仙太郎氏ヲ助

役ニ推薦シ、其認可申請ヲ致シマシタルニ拘ラズ、中モ認可ヲ
得ラレナイ、其間ニ於テ政友會ニ屬シテ居ラマスル中村辰
彦氏及村田寧熊氏等ガ、頻リニ中島氏ヲ誘惑シタケレドモ、
中島氏ガ應ジナイノデ、五箇月餘リヲ經テモ認可ガ容易ニ
來ナカッタト云フ事實ガアルノデアリマス、更ニ上益城郡ニ於
キマシテ、中島村ノ選舉當日ニ於キマシテ、即チ此日ハ大正
九年十二月二十五日デアリマス、此選舉當日ニ當テ、土
地ノ警察署ハ憲政會ニ屬シマスル一名ノ村會議員ニ對シ
テ、午前九時ニ警察官ニ出頭スベキコトヲ命ジテ置キナガラ、
午後四時ニ至ルマデ一向ニ其取調ヲ致サナイ、之ガ爲メニ
遠ニ此一名ノ村會議員ハ、當日ノ選舉會ニ加ハルコトガ出
來ナカッタ、ソレガ爲メニ一名ノ多數ヲ得テ居ル憲政會議員
ハ敗北シテ、之ガ爲メニ政友會ノ人ガ當選セララル、コトニ相
成デ居ル、ソレノミナラズ其間ニ郡書記三名ヲ中島村ニ派
遣シ、此郡書記等ガ盛ニ選舉運動ナドヲシタ事實ガ明ニ
ナツテ居ルノデアリマス、又上益城郡ニ於キマシテハ、名連川
村會ガ大正八年十一月二十四日ニ、滿場一致ヲ以テ憲
政會ノ堀萬八氏ヲ村長ニ推薦致シマシタ、然ルニ五箇月ノ
間認可ヲ與ヘズニ置キマシテ、其間ニ於テ濱口町ノ町長ハ、
其筋即チ縣或ハ郡ノ官憲ノ、有力ナル人カラ、直話デア
ルト云テ、君ガ政友會ニ入會シナケレバ、決シテ村長ノ認
可ヲセラル、コトハナイト言ウテ誘惑シ脅迫シ、村長
ノ認可ヲシナカッタノデアリマス、菊池村原水村ノ助役
ガ辭職セラレマシタ、其後任選定ニ當テ、是モ大正九
年九月十一日デアリマス、三島弟雄ト云フ人ガ當
選セラレマシタ、然ルニ三島局ハ之ニ認可ヲ與ヘナイ、其
間ニ於テモ非常ナル惡辣手段ガ行ハレマシテ、遂ニ三
島氏ハ、熊本縣知事及政友會ニ所屬セララル、人々ノ行爲
ガ不快デアルトシテ、氏ハ自ラ其就職ヲ拒絕シテ居リマス、
更ニ大草郡ニ於キマシテハ、最モ驚クベキ事ガアリマス、此
天草郡津村ノ村會ハ、多數ヲ以テ山下龜造ナル人ヲ大
正八年十二月一日ニ村長ニ選舉致シマシタ、然ルニ其認可
ガゴザイマセウカ、遂ニ山下ナル人ハ斯様ナ當局者ノ下ニ、
假令認可アリト雖モ就職スルヲ欲セズトシテ辭退ヲシタ、是
ガ辭退ヲスルト、更ニ第一監督官廳ハ其村ニ郡書記ヲ派遣
シテ、盛ニ山下氏ヲ再選シテハナラスト云フコトヲ吹聴シテ、
ソレノミナラズ其後ノ選舉、即チ大正九年五月十五日ノ選
舉會ニ於テ、再ビ山下氏ガ選舉セラレマシタ、其當時派遣
セラレタ郡書記ハ村會議員ニ對シテ、其再選ノ不可ヲ説ク
ノミナラズ、更ニ政友會員ノ増田禎二ト云フ人ヲ選舉セヨ
ト言テ盛ニ誘惑シテ居ル、斯ノ如キ事ヲ致シマシテ、果シテ
完全ニ地方自治ヲ發達セシムルコトガ出來スカ、殊ニ八
代郡太田鄉村村會ハ、小田三郎八ト云フ人ヲ收入役ニ推

選シタ、然ルニ此人ハ矢張同様ナル事ニ依テ、當選シナガラ、認可ヲ得ラレナイ、認可ヲシナイ間ニ於テ、盛ニ政友會ニ入レバ許スト云フコトヲ言ハレマシテ、此人ハ名譽ノ爲メニ政友會ニ入ルコトヲ内約ヲシタ、併ナガラ其内諾ヲスルト、直ニ三日目ニ何十日間モ認可ニナラナカトモノ認可ヲサレタ、政友會ニ入ルト云フ内諾ヲ與ヘタ爲メニ、三日目ニ就職ノ認可ヲ得タノデアリマス、就職ノ認可ハ得タケレドモ、小田ナル人ハ一面ニ於テハ政友會ノ諸君ニ向テ入會ノ内諾ヲ與ヘ就職ノ認可ヲ得タ義理ガアリ、一面ニ於テハ從來憲政會員トシテ行動シ來タ義理ガアリ、其兩義理ニ絡マレテ、氣ノ毒ニモ小田ナル人ハ遂ニ精神上ニ異狀ヲ來シ精神病者トナテ、其職ヲ退カケレバナラヌヤウナ欄レナ立場ニ立至タノデアリマス、八代郡ノ八千把村ノ助役本田嘉市ト云フ人ノ認可申請ハ、大正九年十一月二十六日ニ提出サレテ居ル、而モ本田氏ハ前助役滿期ノ結果再選セラレマシタ者デ、何等缺點ナキニ拘ラズ、此人ガ憲政會員デアルト云フ爲メニ認可サレスト云フノハ、不可思議千萬ナ事デアリマス、斯様ナ事實ヲ一々數ヘ舉ゲマスレバ、數限リナイ事デアリマス、熊本縣下ノ各郡ニ涉ル代表的ノ一事實ノミヲ陳述シタト過ギマセケレドモ、斯様ナ事實ハ熊本縣下ノミナラズ、全國各府縣各町村ニ於テ行ハレテ居ルデアリマス、更ニ又熊本縣下ニ於テ驚クベキ事ハ、此行政監督權ノ濫用ニ就キマシテハ、以上村長助役及收入役等ノ認可不認可ノ問題ヨリモ、更ニ進シテ驚クベキ事ハ、教育ニ關シ、土木ニ關シ、勸業其他ノ方面ニ關シテ、所謂監督權其他ノ權力ヲ濫用シタ事實ガ幾多アリマス、之ニ就キマシテモ二三ノ事實ヲ舉ゲテ置カケレバナラヌ、殊ニ内務次官ハ熊本縣ノ出身デ、郷土ノ事ハ十分御承知ト思ヒマス、先年宇土中學校ヲ建設スルノ議ガ纏リマシテ、ソレヲ宇土ニ置クカ否ヤト云フコトニ就テ、宇土町民ガ全部舉テ政友會ニ入ラヌケレバ、他ノ地方ニ置クト云フヤウナ威迫ヲ試ミテ、何者ガ使嚇シタカ知リマセヌガ、斯様ナ威迫ヲ試ミテ、宇土町民ヲシテ心ニモナキ入會セシメテ居リマス、其後昨年縣會ニ於テ決定致シマシタ、新シキ縣立中學校設置ニ關シマシテモ、縣會ハ土地買收費ノミヲ認メテ、他ノ費用ヲ認メナカト云フコトニ就キマシテモ、縣當局者ハ總テ原案執行ヲ致シタ、而モ此原案執行ニ就テハ、宇土町民ニ對シテ脅迫シテ入會ヲ強イタ通り、上益城郡御船町民ニ對シ、政友會入會勸告ノ具ニ供シテ居ル、然ルニ其效果入會者ガ少カタカラ、御船町ニ中學校ヲ置クト言タケレドモ、其入會スル會員ノ少カリシ爲メニ、更ニ再ビ轉ジテ甲佐町民ヲ誘惑サレテ、併ナガラ甲佐町ニ於テモ十分ナル效果ガ現ハレナカト爲メニ、更ニ轉ジテ菊地郡ノ大津町民ヲ勸誘サレテ居ルデアリマス、一

中學校ノ設置モ、地方民ガ政府會ニ入ルカ入ラヌカニ依テ議ガ定マルト云フコトハ、實ニ由々シキ怪事デアルト信ズルデアリマス、又飽託郡ノ河内道路ハ、豫算二萬三千圓デ縣道ガアルニ拘ラズ、地方民ノ申ス所ニ依リマスレバ、是ハ政友會派ニ投票スルト云フコトニ依テ提案サレバ、即チ投票ヲスルナラバ道路ノ取擴ヲシテヤル、大正十年度ノ豫算ニ計上シヤウト云フ約束ノ下ニ出來タト云フコトデアリマス、縣會ガ多數ヲ以テ否決シタニモ拘ラズ、此原案ヲ執行セラレタノデアリマス、宇土郡ノ河合道路ノ豫算ノ八千圓ハ、矢張河合村民ノ政友會入會ヲ條件トシテ計上サレタト云フコトハ、地方民ノ公言シテ居ル所デアリマス、更ニ又葦北郡ノ吉尾村ニ村有林ヲ以テ學校ヲ建設シタ、其木材ガ紛失シタノデ、昨年九月一日ニ村民大會ヲ開イテ、相當ナ大紛擾ヲ來シマシタ結果、其材木ノ或者ノ家ニ隠レタデアタト云フコトガ發見サレマシタガ、五箇月モ經過シテ居ルニ拘ラズ、今日迄何等之ニ對スル處置モ無イト云フコトハ、土地ノ政友會ノ功勞者ニ累ヲ及ボス爲メニ、其儘地ヲ置カケル、ト云フコトヲ明カニ地方民ハ言テ居リマス、之ニ對シテ政府ハ如何ナル考ヲ有テ居ルハ言テ居リマス、殊ニ阿蘇郡朝陽村ニ於テ、村長以下一級公民ノ租稅ノ滞納ガ三年ヲ超ユルノガアル、公金消費ノ嫌疑ガアル、學校建築費ノ決算ヲ出スコトガ出來ナイト云フヤウナ不始末ガアルニ拘ラズ、依然トシテ何等ノ監督權ガ行使セラレザルハ、何故カ、即チ是ハ村長ガ政友會員デ、黨勢擴張ニ功勞ガアツタ爲メデアルト云フコトヲ地方民ハ一般ニ言テ居ル、斯クノ如クニシテ政友會ニ入テサヘ居レバ如何様ナ失錯事實モ等閑ニ付シテ置カルルト云フコトデアラナラバ、地方ノ民心ニ對シテ、自治破壞及惡化上由々シキ何物カヲ與ヘルコトナル、之ニ對シテ政府ハ何等ノ處置ヲ執ラレナイデアルカ、更ニ私ハ諸君ト共ニ最も憂フベキ悲シムベキ一事ヲ、爰ニ質問シナケレバナラヌデアリマス、即チ此事實ハ島根縣ニ於ケル黨勢擴張ニ關シテ行ハレタル事ノ一項デアリマス、其一項ハ實ニ言フニ堪ヘザル事デアリマス、彼ノ出雲大社ニ關係シマス國庫支出ノ費用ヲ利用シテ、黨勢擴張ノ具ニ供セラレタ一事デアリマス、政府ハ昨年十二月ニ於テ總理大臣ノ官邸ニ於テ、貴衆兩院議員ヲ御招ニナテ、初メテ大正十年度豫算ノ内示ヲサレタ、然ルニ拘ラズ内務省所官臨時部出雲大社境内擴張整理費五萬圓ガ計上サレタル、其備考欄ニ依レバ、總額三十一萬九千九百九圓ト云フ六箇年繼續費デアリマス、此費用ガ出雲大社ノ地計デアル材築町、並ニ其附近數箇村ノ重立ヲ有志ニハ、既ニ數箇月前ヨリ明示セラレテアツタ、貴衆兩院議員ニ内示セラレタノハ十二月デ、出雲大社ノ附近ノ者ニ對シテハ六箇月以前ニ之ヲ明示サレテ

居ル、而モ此地方ノ重立ヲ者ガ政友會ニ入會スルナラバ必ズ大正十年度ノ豫算ニ此費用ヲ繰入レルト云フコトノ條件ノ下ニ入會ヲ強ヒラレマシタ、遂ニ此地方ノ人間ハ土地ノ發展ノ事デモゴザイマスシ、神社ニ關スル事デアルカラト云フノデ、何等ノ政治的意圖ナクシテ、政友會ニ入會ヲ餘儀ナクサレテ居ルト云フ事實ガアルデアリマス、(ツンナ事ハ無イト呼フ者アリ)斯様ナ事ニ就キマシテハ、諸君ト共ニ非常ナル謹嚴ノ態度ヲ以テ考ヘナケレバナリマセヌ、斯様ナ事ハ普通ナル單ナル事實トハ事柄ヲ異ニ致シテ居リマス、殊ニ私ハ此點ニ於テ、内務大臣ノ明確ナル御答辯ヲ要求致スノデアリマス、更ニ私ハ最後ニ鐵道敷設ニ關シマスル事ニ就テ、即チ此鐵道敷設ヲ餌ト致シテ黨勢ノ擴張ヲシ、而シテ官吏ガ之ニ相伴テ、種々ナル不都合ナ行爲ヲ爲シテ居ルト云フ事ニ就テ質問セネバナラヌ、是モ全國ニ涉リマスルガ、時間ノ都合上僅ニ數箇ノ事實ヲ質問致スニシメタイデアリマス、最手縣ノ一ノ關町カラ、宮城縣ノ氣仙沼町ニ至リマス、鐵道、是ハ御承知ノ如ク寺内内閣ノ當時ニ於キマシタ、大正十年度ヨリ起工ニ著手スルコトニ決定致シテ居タノデアリマス、然ルニ其中間ニ在リマス所ノ千厩町ノ地方ハ、御承知ノ如ク由來政友會ニ反對スル人ガ多數ヲ占メテ居ル所デアリマス、ソレ故ニ此地方ノ非政友ノ氣勢ヲ破壞スル爲メニ、先ヅ此政友會所屬ノ代議士ノ或方ノ地方ヲ通ルヤウニ致ス、詰リ東磐井郡ノ北部ノ方ヲ通過スルヤウニ致スト云フ運動ガ起リ、一方ニ於キマシテハ此千厩町民ニ對シテ、若シ線路ヲ千厩町ヲ通ルヤウニシテ貫ハ、即チ此決定線變更ノ運動ヲ防ガントスルナラバ、政友會ニ入會シナケレバナラヌ、其政友會ニ地方民ガ入會スル條件トシテハ、先ヅ第一憲政會ノ會員デアテ、千厩町ノ町長ヲ致シテ居リマス、千葉君ヲ辭職セシムルニ非サレバ、到底其目的ヲ貫徹スルコトガ出來ナイ、ト言テ脅迫サレタコトデアル、爲ニ千葉君ハ多年此町ノ輿望ヲ擔タ、非常ナ名望家デゴザイマスニ拘ラズ、自分ガ憲政會員デアテ町長デアルガ爲メニ、地方ノ發展ヲ阻礙セラレテハ相成ラヌト云フノデ、千葉君ハ全ク地方ノ爲メニ永年ノ間輿望ヲ負ウテ、町村ニ盡シテ居ル功勞者デアルニ拘ラズ、其犧牲ト相成テ政友會希望通り辭職シタト云フ事實ガアルデアル、然ルニ今日ハ線路ハ東磐井郡ノ北部ヲ通ズルヤウニナルカ、千厩町ヲ通ルヤウニナルカ今ニ至ルマデ何方ニナルカ分リマセヌガ爲メニ、地方ノ民心ニ非常ナ不安ノ念ヲ與ヘテ居ルト云フ事實ガアルデアリマス、又青森縣ノ八戸カラ巖手縣ノ久慈町ニ至ル鐵道線路、此地方モ依然トシテ非政友ノ熱ノ熾シナ所デアリマス、之ニ對シテ矢張此線路ヲ利用シテ、地方民ガ政友會ニ入ラナケレバ、鐵道ハ著ケテ貫ヘナイ政友會ヘ

入リサヘスレバ、鐵道ノ敷設ガ出來ルト云フコトデ、眞先ニ憲政會ニ屬シテ居リマシタ縣會議員ノ村田矢太郎君ガ、其犧牲ニ供セラレタコト云フコトデアリマス、又熊本縣ノ宮地線ノ立野カラ岐レマシテ、高森町ニ達スル鐵道線路ノ敷設ヲ條件ト致シテ、十一箇町村民ガ大正八年縣會議員ノ選舉ノ際ニ、政友會ニ入黨セシメラレタコト云フハ、私ガ言フマデモナク何人モ是ハ承知シテ居ル事デアリマス、更ニ又熊本縣ノ玖摩郡人吉町カラ多良木町ニ至ル輕便鐵道ハ、私設ノ出願ガアリマシタニモ拘ラズ、之ヲ却下シテ官設ノ計畫ヲ公表セラレタ、是ハ洵ニ結構デゴザイマスガ、其公表セラレタ同時ニ、沿道ノ村民ニ對シテ交換條件トシテ、政友會ニ入ラナケレバナラヌト云フコトヲ勸誘シテ、若シ入ラヌケレバ此鐵道ハドウナルカ分ラヌト云フヤウナ脅威ヲ受ケツ、アルノデアリマス、更ニ又熊本縣カラ宮崎縣ノ延岡町ニ至リマスル鐵道及熊本縣ノ菊池郡カラ阿蘇縣ノ一部ヲ經テ大分縣ニ通ジマス所ノ鐵道線路ノ如キモノハ、數回測量技師ヲ派遣シテ地方ヲ徘徊セシメタ、其測量技師ガ旗ヲ持テ、西ニ東ニ驅ケテ歩リテ居リマス、其後トカラ政友會員ガ附隨シテ歩リテ、陰ニ黨勢ノ擴張ヲスル、斯ナ事ヲ綴返シテ入會ノ勸誘ヲシテ居ラレマス、此事ニ就テハ私ハ會テ委員會ニ於テ斯様ナ事實ノ質問ヲ致シタ、其當時今ノ内務大臣ハ鐵道院總裁ヲ兼ねテ居ラレマシタカラ、私ノ質問シタ事ハ御承知デアリマセウガ、當時ノ副總裁今ノ石丸次官ハ、委員會ニ於テ何ト答ヘラレタコト云ヘバ、斯様ナ事ヲシタコトハ、是マデノ内閣ノ時ニモ隨分アルノデアルト云フノデアル、而モ事實ハ否認シナカッタ、即チ如何ニモ是マデモアラカラ、今日モ以然トシテ之ヲ致シテモ差支ナイト云フヤウデアアル、此事實ハ明カニ承認セラレタヤウデゴザイマスガ、政府ハ如何ナル不都合ナ事デモ、前ノ内閣ニ其事例アリトスルナラベ之ニ倣フト云フヤウナ御決心デ、斯様ナ事ヲ獎勵シテ居ラレドアルカ、否ヤト云フコトガ聽キタイノデアリマス(愚問々々)ト呼フ者アリ)更ニ私ハ廣島縣ノ三原町カラ吳ニ至リマス、所謂海岸鐵道ニ就テモ、亦同様ナル御尋ヲシナケレバナラヌ、此事ニ就キマシテハ、政友會ノ望月君カラ既ニ請願ヲセラレテ、其速成ノ請願ガ採擇セラレタ、又井上角五郎君其他ノ方々カラ速成ノ建議案ガ提出セラレテ、今ヤ委員會付託トナルデアラウト云フヤウナ狀況ニナテ居ル、恐クハ今日ソレガ議セラレヤウト考ヘマス、此鐵道ノ如キニ就キマシテハ、既ニ只今ノ鐵道次官石丸君ハ、今カラ十四五年前ニ技師タリシ時代此地方ニ出張セラレテ、サウシテ實地ノ調査ヲセラレタノデアリマス、其當時ニモ盛ニ黨勢擴張ノ具ニ此鐵道ガ使ハレ、而モ其當時出張シタ今ノ石丸鐵道次官ヲ、招待スル爲メニ使ヒマシタカ何カ知リマセヌガ、免ニ角沿

道各町村ハ一万餘圓ノ負債ヲ惹起シタ、今カラ十四五年前ノ一万餘圓ノ金ト云フモノハ、今日ニ於テハ多額ノ金ニ上テ居リマス、最近ニ至リマスマデ、此鐵道速成ノ爲メニ、消費シタ金ニ就テハ、各町村ガ其借財ノ處分ニ非常ニ持餘シテ居タト云フヤウナ、洵ニ氣ノ毒ナ地方民ニ對シテハ迷惑ヲ掛ケタ所ノ事例ガアリマス、然ルニ此鐵道ガ長ク其儘ニサレ、漸ク今期議會ノ問題トナリ、殊ニ政府ノ鐵道豫定網ノ一ニ入ラデ居ル、ソレハ結構デアリ、當然デゴザイマスガ、此間ニ於テ私ハ洵ニ驚ハベキ黨略行爲ナルモノガアルヲ悲シムノデアリマス、私ハ之ニ對スル澤山ノ手紙ヲ其關係村民ヨリ得テ居リマス、其中ニ於テ二三ノモノヲ愛ニ申上ゲテ御參考ニ供シテ置カケレバナラヌ、此手紙ハ單ニ此鐵道ノミニ關係致サヌ事デアリマスカラ、私ハ申上ゲテ置キタイ、其一ハ斯フ書イテアル、「海岸鐵道」即チ此鐵道デアリマス「ノ運動ニ對シテ政友會ノ入黨強要ニモ恐入候斯ク申ス小生モ捺印強要セラレ無意味ノ調印致シ候之レテ鐵道敷數設サレハ萬々歳ニ御座候致ス者ハ致サル、ト或ル漢書ニテ少年時代ニ誦セラレタル事ヲ思ヒ出サレ候」更ニ他ノ一書面ニハ(舊臘十二月ヨリ今日ニ至ル政友會ヲ中心トスル黨略運動ハ實ニ言語ニ絶シタル大シタルモノニ御座候彼ノ三原吳間ニ於ケル沿岸鐵道問題ニ付テハ沿岸各町村ノ有志ノ大會合其交換條件トシテ鐵道敷數ト最低三千五百名ノ政友會入會者ヲ獲得シモ已ニ其敷數ヨリ以上ニ達シ此三四日前各町村ヨリ鐵道敷數設請願者上京セシ次第ニ御坐候其情報ハ先刻御承知ノ事ニ可有之候)ト書イタノガアリマス、又他ノ書面ノ中ニハ(賀茂郡ト豊田郡ニテハ三原吳間ノ沿岸鐵道敷設シ遺ルトテ政友會入黨ヲ勸誘シ多敷ノ入黨者有之候而シテ入黨者ノ多クハ政友會ノ政策ニ贊成セサルモ政友會ニ入黨セハ鐵道敷設シ貴ハレ、ハ入黨スト云フ者多ク小生ハ彼等ノ政治思想ノ薄弱ナルニ驚入候)斯ウ云フ事ガ書イテアリマスガ、是等ハ諸君ハ何ト思召ニナリマスカ、是ハ既ニ政友會ニ入デ居ル人ノ手紙デアアル、又此中ハ私ガ其人ヲ譽テ申上ゲレバ、其人ハ恐クハ何等ノ處分ヲ受ケル——復讐セラレドアル虞ガゴザイマスカラ、其人ノ爲メニ名前ハ申上ゲマセヌガ、決シテ憲政會員ノ書イタ手紙デアナイノデアリマス、是ハ地方ニ於テモ地位アリ、地方ノ公ノ職ヲ有テ居リマス人達ノ書イタ手紙デアリマス、爰ニ私ノ讀ミマシタノハ、僅ニ二三通デゴザイマスガ、實ニ夥シク斯様ナ手紙ニ接シテ居ルノデアリマス、斯様ナ最も必要ナ鐵道、架ケナケレバナラヌ急ヲ要スル鐵道、即チ此三原カラ吳ニ至リマス沿岸鐵道、此緊要ナ國家ノ爲メニ、地方ノ爲メニ、地方民ノ爲メニ必要ナル鐵道ガ、政友會ニ何千人以上入レバ敷設シヤルガ、入ランケレバ敷設シヤラヌト

云フヤウナ事ニ相成リマシタナラバ、天下ノ事何トナリマス、將來ノ國民ノ幸福思ヤルベキモノガアラウト考ヘルガ爲メニ此質問ヲ致スノデアリマス(拍手)更ニモウツツ附加ヘテ置キマス、是ハ實地ノ問題デゴザイマスカラ、モウ一ツ附加ヘテ置キマス、北海道ノ天鹽國ノ留萌カラ天鹽ニ至リマス沿岸鐵道ハ、地方民ノ最も此敷設ヲ希望致シテ居ル所デアリマス、然ルニ此所ニモ五千人以上ノ政友會入黨ガ天鹽一國デアラナラバ、此沿岸鐵道ハ著ケテヤル、ソレデナケレバ著ケテヤラヌト言ハレド、町村長ハソレガ爲メニ町村ノ公ノ費用ヲ以テ政友會ニ入黨者ヲ募集スル爲メニ、村民ノ調印ヲ求メテ歩イタト云フノ、或村デハ一昨年ノ九月デ遂ニ其村ヲ退出シタト云フ事實モアルノデアリマス、而モ其沿道ノ各町村ニ一万餘圓ノ金ヲ寄附サセテ、サウシテ其金ハドウシタコト云ヘバ、聞ク所ニ依レバ、是ハ私ノ間キマシタ所ガ事實デアナイコトヲ希望致シマスガ、何ダカ其一部分ハ委員ノ上京運動スル費用ニ使フコトヲ云フコトデアリマスガ、其大部分ノ金ハ何所カノ火災ニ罹ラセメニ寄附セラレタト云フコトヲ聞イテ居リマス、又更ニ此鐵道ニ就キマシテハ、憲政會ノ逸見氏——羽幌ニ居ル逸見某氏、是ハ憲政會支部ノ幹事ヲ致シテ居タ、主義ヲ一貫シテ來タ人デアリマスガ此鐵道問題デ一昨年ノ九月上京ヲ致シタ當時路ノ大官ニ會タ時ニ、其當路ノ大官ノ一人ハ、此逸見氏ガ役所ニ行クト、オ前ノヤウナ反對黨タル憲政會ノ會員ガ鐵道速成ノ運動ニ來テソレデ吾ガ其陳情ヲ聽クト思フコト云フ一言ニシテ、其室カラ追出サレシマッタ、ソコデ此人ハ宿ニ立歸テ、或他ノ大官ニ頼ンデ、再び先キノ大官ニ紹介シテ貰テ、私ハ憲政會ヲ脱會スルカラ、此鐵道ハ速成シテ貴ヒタイト云フコトヲ申述ベ、遂ニ其事ヲ二人ノ大官ノ前デ誓デ、サウシテ憲政會ヲ脱會シテ、此鐵道敷設速成ノ委員ニナテ居ルトキノコトヲ、昨年ノ九月私ガ羽幌ニ參タ時ニ、演說會場デ其交渉願末聞カサレ、地方人ノ苦衷ヲ訴ヘラレタノデアリマス、其人ガ憲政會ヲ脱會シタ理由ハ、其人ガ憲政會ニ居レバ大官ニ面會モ出來ナイ、又反對黨ノ者ガ行タノデハ、鐵道ノ速成ノ請願モ出來ナイカラ、涙ヲ吞ンデ反對黨タル憲政會ヲ退イタト云フコトヲ私ニ告白シタ、其事ハ他ニモ聽イテ居ル人ガアリマス、以上ノ如キ事トヲ舉ゲマスレバ數限リモナカアル、若シ文章ノ言葉ヲ以テ述ベマシタナラバ、是ハ事實ノ千萬分ノ一ニモ過ギナイ、數限リナイ中ノ一二ニ過ギマセヌト言ヒ得ルノデアリマス、斯ノ如キコトハ全ク政府ガ全然御否認ノ出來ナイ事實デアルト私ハ思フ、併ナガラ此事實ガ全部政府ノ説明ニ依テ、明カニ否認サレ得ルヤウナ的確ナル答辯ヲ得レバ、私ハ國家ノ爲メニ幸福デア

ルト存ジマス、斯ノ如キ權力ノ濫用、官紀ノ紊亂、民心ノ攪亂、自治ノ破壞、之ニ對シテ政府ハ如何ナル考ヲ持テ居ルカ、以上ノ事ニ就テ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 床次内務大臣

○國務大臣(床次竹二郎君) 只今種々ノ事項ヲ舉ゲテ御尋デアリマシタガ、要スル所行政監督權ガ黨派ノ事情ノ爲メニ濫用セラレ、若クハ緩慢放任ニ流レテ居ルデハナキカ、斯ウ云フ事ニ歸著スルノデアリマス、(其通り)ト呼フ者アリ、(一々事實ニ就テ調査ヲ致シマシタガ、左様ナ事ハアリマセヌ、(ヒヤ)) 地方ニ於テハ地方ノ人々ガ其立場ニ依テ色々申スコトガアリマセヌ、サリナガラ今私ノ調査シタ所デハ左様ナ事ハゴザイマセヌ、是ハ爰ニ一々申上ゲルコトヲ省イテ、書面ニ致シテ御答スルコトニ致シマスガ、要ハ左様デゴザイマス、殊ニ末段ニ至テ出雲大社境内整理ノ費用ヲ此年度ノ豫算ニ要求シテゴザイマス、之ガ恰モ黨派ノ爲メニ、若クハ一地方ノ人々ノ利益ノ爲メニ要求サレテアルガ如クニ御尋デアリマシタガ、私ハ神社ノ尊嚴ヲ維持セシムルガ爲メニ必要ナリト考ヘテ、其豫算ヲ要求シテ次第デアリマス、(ノウウ) 拍手) 決シテ一部ノ人ノ利害ノ爲メニ、此豫算ヲ提出シテアル次第デハゴザイマセヌ、(詭辯々々)ト呼フ者アリ、(ソレ故ニ) 若シ詭辯ト云フ仰セガアリ、又一黨一派ノ爲メデアリ、若クハ一地方ノ人々ノ利益ノ爲メニ、事カラ要求シテアルモノナラバ、相當ノ御審議權ニ依テ御處置アルコトヲ希望スルノデス、(拍手) 地方ノ人々ハ色々申シマセヌ、考ヘモ致シマセヌ、併ナガラ私ト致シテハ、神社ノ尊嚴ヲ維持スルニ必要ナル事柄トシテ要求シテアル次第デアリマス、拍手)

○議長(奥繁三郎君) 元田鐵道大臣

○國務大臣(元田肇君) 鐵道關係ノ點ヲ私ヨリ御答致シマス、只今ノ御質問ノ趣意書ニ書イテアリマス第五項「イヨリ」ホニ至ル點デゴザイマス、此數線路ノ中ニ於キマシテハ、既ニ御協賛ヲ得テ工事ニ著手シテ居ルモノモゴザイマス、又工事ニ著手セントシツ、アルモノモアリマス、又マダ御協賛ヲ得テ居ラナイモノニ就キマシテハ、鐵道網ニ入レテ將來完成スベキ必要ノ線路ナリト認メテ、敷設法ニ提案致シテ居ル部分モアリマス、一部分ハ既ニ協賛ヲ經タモノモアリマス、或線路ニ於キマシテハ事實工事ニ著手スル前ニ、實測ニ於キマシテ水害其他ノ事ニ考慮致シマシテ、多少ノ比較線等ヲ調査致シテ居ルモノモアリマス、要スルニ既ニ協賛ヲ經テ確定致シテ居ル、若クハ鐵道網ニ之ヲ列舉スベキモノニシテ、既ニ御承認ヲ得テ居ル線路デアアルノデアル、之ニ就キマシテ政府ガ提案シタル所以ハ、決シテ一黨一派ノ爲メニ

提案致シタルデアアリマセヌ、而シテ帝國議會上下兩院ガ之ヲ可決サレタモノモ、一黨一派ノ爲メニ可決サレタモノトハ存ジマセヌ、即チ政府提案ノ趣旨ノ如ク、國家交通機關ノ必要ナルヲ認メラレテ、採用セラレタコト、信ジテ居ルノデアリマス、隨テ是等ノ線路ニ就キマシテハ、或政黨ノ爲メニ提案シタコトカ、或政黨ノ爲メニドウシタコトカ云フヤウナコトハ、全ク眞相ニ違フコトデアルト存ジマス、又此數線路「イ」カラ「ホ」ニ至ルマデノモノニ就キマシテ、地方ノ人民地方ノ政黨ノ黨員ガドウデアアル斯ウデアルト云フヤウナコトガ澤山記載シテアリマスガ、是ハ政府ト致シマシテハ、全然關係ガアリマセヌカラ、ソレダケハ御承知ヲ願、設置キマス、地方ノ人民ガドウスル斯ウスルト云フコトハ、一々鐵道省デ監督ノ出來ルモノデアアリマセヌ、政府ニ於キマシテハ、公明正大ニ最善ノ線路ヲ成ベク至急ニ完成致シタコト云フ決心ヲ持テ居リマス、尙ホ只今大官ニ會フ所ガ云々ト云フ御話デアリマシタ、何人デアアルカ存ジマセヌガ、私ガ當局トナリマシタカラ政黨ノ反對ノ人デアアルト何ト云フコトデ、面會ナドヲ謝絶シタ覺ハゴザイマセヌ、寧ろ吾々ノ同志トシテ政黨ニ立テ居ル人ヨリハ、反對ノ地位ニ居ル御方ガ御訪問下サレバ、出來ルダケ丁寧深切ニ御意見ヲ承ルコトニ努メテ居ル積リデゴザイマス、又鐵道ノ線路ニ就キマシテ、或場合ニ於テハ一方ノ政黨ト他ノ政黨ノ爭ト云フコトニ就キマシテ、吾々ノ立場カラ見レバ反對ノ政黨ニ政黨關係ヲ申シマシテモ、正當ナル線路ト認メタモノハ、其方ニ許可スルコトニ決シタ例モ澤山ゴザイマス、デドウカ今後ニ於キマシテ、鐵道省ニ訪ネテ行テ見テモ、憲政會デアアルカラ、國民黨デアアルカラ、定メテ嫌ナ顔ヲシテ會ハヌデアラウト云フヤウナ御考ガアリマシタナラバ、不肖ニ於テハ斷ジテサウ云フコトハアリマセヌカラ、ドウゾ御用ガゴザイマシタラバ、何時ナリトモ御出下サルヤウ、適當ノ御要求デアリマスレバ、下ナクノデモ容レマスカラ御出ヲ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 次ニ田中武雄君提出第三質問、吉野小一郎君提出ノ第五ノ質問ハ、何レモ政府ヨリ答辯ガアリマシタカラ、之ニ對シテ意見ノ御陳述ガゴザイマスナラバ、次ノ本會ニ於テ之ヲ許ス考デゴザイマス、第四ノ霞ヶ浦沿岸江戸崎入干拓ニ關スル質問、田中萬逸君——田中君ハ御出席ハアリマセヌカ——ソレデハ是ハ延期ニ決メマシタ、第六東京市及其附近ニ於ケル颶風及海嘯ニ依ル水害防備ニ關スル質問、太田信治郎君

六 東京市及其附近ニ於ケル颶風及海嘯ニ依ル水害防備ニ關スル質問(太田信治郎君外一名提出)

東京市及其附近ニ於ケル颶風及海嘯ニ依ル水害防備ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正十年三月七日

提出者 太田信治郎 高木 正年
賛成者 横山勝太郎

外三十人

東京市及其附近ニ於ケル颶風及海嘯ニ依ル水害防備ニ關スル質問主意書

東京市及附近ニ於ケル颶風及海嘯ニ依ル水害及海嘯ノ爲水害ヲ蒙ルコト連リナリ殊ニ最近都市ノ膨脹ニ依リ本所區深川區南葛飾郡荏原郡ノ如キハ人家稠密シテ人口彌々増加ス今ニ於テ其ノ防備ノ法ヲ講セサレハ其ノ災害ノ激甚ナルコトハ想像スルニ難カラス幸ニシテ昨年ハ其ノ被害少キモ若大正六七年ノ如キ高浪怒濤ノ颶風ニ乘シテ現在ノ堤防ヲ打越シ水害ノ來ルアラハ物質ノ損害ハ勿論人畜ノ死傷ヲ生シ其ノ被害慘狀到底昔日ノ比ニ非サルハ現ニ是カ根本ノ救済策ヲ講セラレムコトノ請願書ハ大正八年二月本院ニ於テ採擇セラレタリ當時政府當局ニ於テモ是カ救済策ヲ講究中ト聞キシカ其ノ後未タ以テ是カ豫防方法ノ實現ヲ見ス政府ノ所見如何
右及質問候也

(太田信治郎君登壇、拍手起ル)

○太田信治郎君 本員ハ本日ハ極メテ重要ナル議案ノ輻輳シテ居リマス折柄デアリマスカラ、簡單ニ質問ノ趣旨ヲ一言申述ベタリト存ジマス、此問題ハ一地方ノ問題ノ如クニ御覽ニナルカモ知レマセヌガ、決シテサウデハアリマセヌデシテ、此關係スル所ハ東京府三百六十九万人ノ人ト又此東京府近縣ノ千葉縣若クハ神奈川縣ニ涉リマシテ、其關係スル所頗ル大デアリマシテ、而モ此災害地ニ於テ生活ヲスル者ガ約六十五万人アリマス、此六十五万人ノ生活ノ安定ヲ如何ニスルカト云フ大問題デアリマスノデ、此點ハ餘程御留意ヲ先ゾ願ヒタイト思フノデアリマス、デ政府ニ於キマシテモ、此水害ノ治水事業ハ最モ國家の事業トシテ必要ナルコトヲ認メラレマシテ、屢、此問題ニ就テハ、當院ニ於テモ協議セラレマシタコトモゴザイマスガ、申サマデモナク本年即チ大正十年度ノ豫算ニ依リマシテモ、内務省ノ所管ノ歳出臨時費ノ七千六百四十二萬圓ノ中デ約三千五百萬圓ハ、全ク此治水事業河川改修費其他ノ水害ニ對スルモノニ支出セラレテ居ルモノデアリマス、又大正十年以後ノ一般會計所屬繼續費中ノ内務省ノ所管ニ屬スルモノガ二億一千五百萬圓、此中一億六千六百萬圓、二億一千五百萬

居ルノデアリマス、居住ノ安定ヲ得ナイノデアリマス、此問題ガ政府ノ答辯如何ニ依テ、大ニ此居住人民ノ精神狀態ニ不安ヲ與ヘルカ、慰安ヲ與ヘルカト云フ大問題デアリマスカラ、爰ニ本員ハ此事情ヲ述ベマシテ、政府ノ所見ヲ伺フ次第デアリマス

〔政府委員小橋一太君登壇〕

○政府委員(小橋一太君) 只今御尋ノ問題デアリマスガ、颯風或ハ海嘯ニ對シテ相當ノ防禦ヲ致スコトハ、政府ニ於テモ固ヨリ必要ト認メテ居リマスガ、東京灣ノ問題ハ、東京灣ノ築港問題、又都市計畫ノ問題等ト關聯ヲ持シテ居ル重大問題デアリマス、而シテ今太田君ノ質問サレバウナ非常ナル大キナ海嘯ガ、百年ニ一過カ、八十年ニ一過來ルヤウナ大キナモノヲ防ク設備ヲスルヤ否ヤト云フコトハ、慎重ナル調査ヲ待タナクハナラヌシ、又巨額ノ費用ヲ要スル事デアリマス、各種ノ關係、並ニ技術上カラシテ、容易ニ決定セラルベキモノデアリマセヌ、政府ニ於テハ慎重ニ此點ニ於テ調査ハ致シテ居リマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 日程ニ入リマス、第一乃至第五ハ關聯シテ居ル議案デアリマス、一括シテ議題ニ致シマス——日程第一、府縣制中改正法律案、第二、北海道會法中改正法律案、第三、北海道地方費法中改正法律案、第四、郡制廢止ニ關スル法律案、第五、衆議院議員選舉區ニ關スル法律案ヲ一括シテ議題ニ致シ、其第一讀會ヲ開キマス——床次內務大臣

第一 府縣制中改正法律案(政府提出)

第一讀會

府縣制中改正法律案

府縣制中左ノ通改正ス

第四條ニ左ノ一項ヲ加フ

府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ル選舉區ヲ分ナテ數選舉區ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分ツ場合ニ付テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條第一項乃至第三項ヲ左ノ如ク改ム

府縣内ノ市町村公民ニシテ一年以來其ノ府縣内ニ於テ直接國稅ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス

家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ爲シタル納稅ト看做ス

確定名簿ニ登錄セラレタル者ハ其ノ名簿調製期日後

選舉權ノ納稅要件ヲ關クニ至リタル場合ト雖其ノ確定名簿據置ノ期間内仍選舉權ヲ有ス

同條第五項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者及戰時又ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セス

市町村公民權停止中ノ者ハ府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セス

同條第九項ヲ左ノ如ク改ム

府縣ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員役員及支配人ハ其ノ府縣ニ於テ被選舉權ヲ有セス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

第八條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

議員關員ト爲リタルトキ其ノ議員力第二十九條第二項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合又ハ本條本項、第三十二條第一項但書若ハ第三十六條第一項但書ノ規定ニ依ル第二十九條第二項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ選舉長ハ直ニ第二十九條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ヲ受ケタル他ノ得票者ニ就キ當選者ヲ定ム

ヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十九條第二項及第三十一條ノ規定ヲ準用ス

第十一條中「九月十五日」ヲ「九月二十日」ニ改ム

第十二條中「郡市長ハ十月二十日ヨリ十五日間其ノ郡市役所ニ於テ」ヲ「郡市町村長ハ十月二十日ヨリ十五日間其ノ郡市役所町村役場ニ於テ」ニ改ム

第二十條中「町村長ハ名簿ヲ修正シ之ヲ告示スヘシ」ニ改ム

第二十三條第二項中「場所」ノ下ニ「及日時」ヲ加フ

第二十四條第一項及第二項ヲ左ノ如ク改ム

郡市長ハ選舉人中ヨリ選舉立會人二名乃至六名ヲ選任スヘシ

第二十五條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ同條中「前項」ヲ「第一項」ニ改ム

天災事變等ノ爲所定ノ期日ニ選舉會ヲ開クコトヲ得サルトキハ郡市長ハ前項ノ規定ニ拘ラス更ニ其ノ期日ヲ定ムヘシ

第二十七條第六號ヲ第七號トシ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

六 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項第七號ノ規定ハ總選舉ノ場合ニ於テ第二十二

條ノ規定ニ依リ投票期日ヲ定メタルトキハ之ヲ適用セス

第三十一條中「第六條第七項」ヲ「第六條第九項」ニ改ム

第三十二條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、數選舉區ノ選舉ニ當リ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ選舉區ノ選舉ニ應シタル爲他ノ選舉區ニ於テ當選者ヲラサルニ至リタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効トナリタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ其ノ當選者第二十九條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ第八條第二項ノ例ニ依ル

當選者選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効トナリタルトキ其ノ前ニ其ノ者ニ關スル補選選舉若ハ前項ノ選舉ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

第三十四條ニ左ノ二項ヲ加フ

第八條、第三十二條又ハ第三十六條ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得

府縣會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル決定確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十六條第一項但書ヲ左ノ如ク定ム

但シ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ヘキ場合ニ於テハ第二十九條第二項及第三十一條ノ規定ヲ準用ス

第三十七條第一項ヲ左ノ如ク改メ同條中「會議ニ列席シ及發言スルノ權」ヲ「會議ニ參與スルノ權」ニ改ム

府縣會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無ニ關シテハ府縣會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除ク外府縣參事會其ノ異議ヲ決定ス

一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二 家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ宣告確定シタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

第七十七條中「內務大臣ノ許可ヲ得」ヲ削ル

第七十九條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ニ依リ府縣參事會ノ審査ニ付シタル場合

ニ付

ニ付

ニ付

ニ於テ府縣參事會意見ヲ述ヘサルトキハ府縣知事ハ其ノ意見ヲ俟タシテ議案ヲ府縣會ニ提出スルコトヲ得
第八十條第二項中「事務ノ一部ヲ」ノ下ニ「府縣ノ官吏吏員ニ委任シ又ハ」ヲ加フ
第八十二條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ同條中「前項」ヲ「第一項」ニ改ム

前項ノ取消處分ハ府縣會又ハ府縣參事會開會中ニ非サルトキハ之ヲ告示スヘシ
第三百三條ニ左ノ一項ヲ加フ
勅令ニ別段ノ規定アル場合ニ於テハ府縣ハ其ノ費用ヲ市ニ分賦スヘシ

第六十六條 府縣稅ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該行政廳ハ日出ヨリ日没マテノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間家宅ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得
府縣稅ノ使用料、手数料、夫役又ハ現品ニ代フル金錢、過料其ノ他ノ府縣ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ
急迫ノ場合ニ於テ夫役又ハ現品ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ履行ヲ爲ササルトキハ更ニ之ヲ金額ニ換算シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

第二項ノ規定ニ依ル督促又ハ前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限マテニ完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スヘシ
第二項及第三項ニ規定スル府縣ノ徵收金ノ先取特權ノ順位ハ國ノ徵收金ニ次クモノトス
府縣ノ收入金及支拂金ニ關スル時効ニ付テハ國ノ收入金及支拂金ノ例ニ依ル

府縣知事ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ノ第四項ノ規定ニ依リ爲シタル處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第四項ノ規定ニ依ル處分ニ係ル差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

第二百一十一條ニ左ノ一項ヲ加フ
特別會計ニハ豫備費ヲ設ケサルコトヲ得
第二百二十八條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第八十二條第二項ノ規定ニ依リ告示ヲ爲シタル場合ニ於テハ告示ノ日ヲ以テ處分ヲ受ケタル日ト看做ス

第三百三十三條中「手数料」ヲ削ル
第三百三十八條第三項ヲ左ノ如ク改ム

沖繩縣ニ於テハ第十三條中「二十日トアルハ三十日、七日トアルハ十日、第十五條中五日トアルハ十日、第三十一條中十日トアルハ二十日、二十日トアルハ三十日、第三十四條及第五十一條中十四日トアルハ二十五日トス

第三百三十九條 島司ヲ置ク地ニ於テハ本法中郡ニ關スル規定ハ島嶼ニ、郡長ニ關スル規定ハ島司ニ、郡役所ニ關スル規定ハ島廳ニ之ヲ適用ス
町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキモノニ、町村吏員ニ關スル規定ハ町村吏員ニ準スヘキモノニ、町村役場ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

附則
本法中選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第九條乃至第十二條ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

第二 北海道會法中改正法律案 (政府提出)
第一讀會
北海道會法中改正法律案
北海道會法中左ノ通改正ス
第一條第二項ヲ左ノ如ク改ム
選舉ハ區ハ北海道廳支廳長管轄區域及市ノ區域ニ依ル
北海道廳長官ハ北海道會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ル選舉區ヲ分テテ數選舉區ト爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分ツ場合ニ付テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 帝國臣民ニシテ獨立ノ生計ヲ營ム年齡二十五年以上ノ男子二年以來北海道内ノ同一市町村内ニ住所ヲ有シ二年以來其ノ市町村ノ費用ヲ負擔シ且

北海道内ニ於テ一年以來直接國稅ヲ納ムルトキ又ハ北海道内ニ於テ一年以來土地ヲ所有スルトキハ北海道會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス
家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ爲シタル納稅ト看做ス
家督相續ニ依リ土地ヲ取得シタル者ニ付テハ被相續人ノ所有シタル期間ヲ以テ其ノ者ノ所有シタル期間ト看做ス

土地所有ノ期間ハ所有權ノ登記ヲ爲シタル日ヨリ之ヲ起算ス
確定名簿ニ登錄シタル者ハ其ノ名簿調製期日後選舉權ノ納稅要件又ハ土地所有要件ヲ關クニ至リタル場合ト雖モ其ノ確定名簿據置ノ期間内仍選舉權ヲ有ス
本條ニ於テ土地ト稱スルハ耕地、宅地及海產干場ヲ謂フ

第四條 本法ノ適用ニ付テハ町村ノ役場事務ヲ共同處理スル共同處理スル町村組合又ハ一戶長役場ノ所轄ニ屬スル數町村ハ之ヲ一町村、其ノ町村組合役場又ハ一戶長役場ハ之ヲ町村役場、其ノ町村組合管理又ハ一戶長ハ之ヲ町村長ト看做ス

第五條中「三年」ヲ「二年」ニ改ム
第六條 削除
第七條中「重役」ヲ「役員」ニ改メ同條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ役員ハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

第八條 北海道會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ノ外北海道地方費ニ關シ左ノ事項ヲ議決ス
一 歲入出豫算ヲ定ムル事
二 決算報告ニ關スル事
三 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、北海道地方稅及夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事
四 不動產ノ處分並買受及讓受ニ關スル事
五 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
六 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
七 財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條 北海道參事會ハ北海道廳長官、北海道廳高等官二人及名譽參事會會員七人ヲ以テ之ヲ組織ス

北海道廳高等官ニシテ北海道參事會員タルヘキ者ハ
內務大臣之ヲ命ス

第十條 北海道參事會ノ職務權限左ノ如シ
一 北海道會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ
受ケタルモノヲ議決スル事

二 北海道會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ
要シ北海道廳長官ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト
認ムルトキ北海道會ニ代リテ議決スル事

三 北海道廳長官ヨリ北海道會ニ提出スル議案ニ
付北海道廳長官ニ對シ意見ヲ述ブル事

四 北海道會ノ議決シタル範圍内ニ於テ財産及營
造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 北海道地方費支辨工事ノ執行ニ關スル規定ヲ
議決スル事但シ法令中ノ別段ノ規定アルモノハ此ノ
限ニ在ラス

六 北海道地方費ニ係ル訴訟訟及和解ニ關スル
事項ヲ議決スル事

七 其ノ他法令ニ依リ北海道參事會ノ權限ニ屬スル
事項

第十一條中「北海道會」ノ下ニ「及北海道參事會」ヲ加
フ

第十二條及第十三條中「北海道會」ヲ「北海道參事會」
ニ改ム

第十四條 府縣制第五條、第六條第五項第六項、第
八條乃至第三十八條、第四十條、第四十二條乃至
第六十四條、第六十六條、第六十七條、第六十九條
乃至第七十四條、第七十九條、第八十二條乃至第
八十五條、第二百二十七條乃至第二百二十九條、第
三百一十一條、第三百三十五條及第三百三十六條ノ規定ハ
之ヲ但シ其ノ規定中郡トアルハ北海道廳支廳長官
轄區域トシ、郡長トアルハ北海道廳支廳長トシ、準用
郡役所トアルハ北海道廳支廳トシ、町村長、町村役場
トアルハ北海道一級町村制及北海道二級町村制ヲ施
行セサル地ニ在リテハ戶長、戶長役場トシ、其ノ第三十
一條中第六條第九項トアルハ本法第七條第二項ト
シ、其ノ第七十三條中第六十八條第二トアルハ本法
第十條第二號トス

第十八條 本法ハ北海道廳根室支廳管内占守郡、新
知郡、得撫郡及色丹郡ニハ勅令ヲ以テ之ヲ施行スル
迄之ヲ施行セス

第十九條ヲ削ル

附則
本法中選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ

其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第十四條ノ規定ニ依リ準用スル選舉ニ關スル府縣制ノ
規定ハ次ノ府縣會議員ノ總選舉ニ付適用セラルル規定
ヲ謂フ

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿
ニ關スル期日又ハ公期日又ハ期間ニシテ本法ニ依リ難キ
モノハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ
次ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

北海道參事會ノ權限ニ屬スル事項ニシテ本法施行ノ際
急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間北海道廳長
官之ヲ行フ

北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ要スル事項ニシテ
從前ノ規定ニ依リ北海道廳長官ノ爲シタルモノハ本法
ニ依リ北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ經タルモノ
ト看做ス

本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル異議、訴訟又ハ訴
訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第三 北海道地方費法中改正法律案 (政 府提出)

第一讀會

北海道地方費法中改正法律案
第二條 北海道地方稅ニ關シテハ法律勅令ニ別段ノ
規定アル場合ヲ除クノ外府縣稅ニ關スル規定ヲ準用
ス

第三條 段別割ハ地租ヲ賦課セサル土地ノ所有者ニ對
シテハ其ノ土地ノ民有ニ歸シタル年ノ翌年ヨリ二年
間之ヲ賦課スルコトヲ得ス

第四條 削除
第五條 削除
第七條 削除

第八條ノ二 北海道廳長官ハ北海道地方費ノ行政ヲ
擔任ス

第八條ノ三 府縣制第七十五條乃至第七十七條、第
八十條、第八十一條、第八十八條乃至第一百一條、第
百三十三條第二項第三項、第一百二十二條、第一百二十五條第
二項乃至第五項、第一百二十六條、第一百二十七條乃至
第一百三十條及第三百三十二條乃至第三百三十六條ノ
規定ハ之ヲ準用ス

第八條ノ四 第二條及前條ノ規定ニ依リ準用スル府
縣制ノ規定及府縣稅ニ關スル規定中郡島ノ官吏吏
員トアルハ北海道廳支廳ノ官吏吏員トシ、町村、町村

會、町村長、町村吏員トアルハ北海道一級町村制及
北海道二級町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ戶長役
場ノ所轄區域、總代人會、戶長、戶長役場吏員トス
第十條及附則ヲ削ル

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

從前ノ規定ニ依リ定メタル段別割ハ本法ニ依リ之ヲ定
メタルモノト看做ス

北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ要スル事項ニシテ
從前ノ規定ニ依リ北海道廳長官ノ爲シタルモノハ本法
ニ依リ北海道會又ハ北海道參事會ノ議決ヲ經タルモノ
ト看做ス

本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル異議、訴訟又ハ訴
訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第四 郡制廢止ニ關スル法律案 (政府提 出)

第一讀會

郡制廢止ニ關スル法律案
第一條 郡制ハ之ヲ廢止ス

第二條 郡制廢止ノ爲郡又ハ郡組合ニ屬スル營造物
及事業ノ處分並權利義務ノ歸屬ニ付必要ナル事項
ハ關係府縣、郡、郡組合、町村、市町村組合及町村組
合ノ府縣會、郡會、郡組合、町村會、市町村組合會
及町村組合會ノ意見ヲ徵シ主務大臣之ヲ定ム

本法ニ依リ郡又ハ郡組合消滅スル場合ニ於テハ郡又
ハ郡組合ヲ當事者トスル訴訟ノ手續ハ訴訟ノ目的タ
ル權利義務ノ歸屬者又ハ相手方カ之ヲ受繼ク迄中
斷ス

前二項ノ外郡制廢止ニ付必要ナル事項ハ勅令ヲ以
テ之ヲ定ム

附則
第一條施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第二條ノ
處分及歸屬ニ關スル手續終了シタル府縣ニ付テハ內務
大臣ハ其ノ施行ノ期日前別ニ施行ノ期日ヲ定ムルコト
ヲ得

第五 衆議院議員選舉區ニ關スル法律案
(政府提出)

衆議院議員選舉區ニ關スル法律案
第一讀會

郡ノ區域ニ變更アルモ衆議院議員ノ選舉ニ關シテハ仍
從前ノ區域ニ依ル但シ一選舉區内ニ於ケル郡ノ區域ニ
變更アリタルトキ又ハ市町村ノ境界ノ變更アリタル爲郡
ノ區域ニ變更アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ島司又ハ北海道廳支廳長ノ管轄區域ニ付テ準用ス
前二項ノ規定ノ適用ニ付テハ町村ニ準スヘキモノハ之ヲ町村ト看做ス
前三項ノ規定ニ依リ從前ノ區域ニ依リ選舉ニ關シ衆議院議員選舉法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附則

本法ハ郡制廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣床次竹二郎君登壇拍手起ル)

○國務大臣(床次竹二郎君) 府縣制中改正法律案ニ就キマシテ、大體ノ説明ヲ申上ゲマス、今度ノ改正ノ主ナル點ハ、選舉權被選舉權ノ擴張デゴザイマス、ソレト同時ニ選舉手續其他ニ多少ノ改正ヲ加ヘタノデアリマス、選舉權ノ擴張ニ就テ申上ゲマスレバ、現在選舉有權者ハ其數二百四十三萬デゴザイマス、此選舉有權者ノ數ヲ我國ノ人口ニ比例致シマスルト云フト、人口百人ニ付キ四人四分ニ當テ居リマス、現行府縣制ノ施行セラレマシタ當初、即チ明治三十二年ニ於キマシテハ、丁度此人口百人ニ對スル割合ハ四人五分ニ當テ居ルノデアリマス、乃チ今日ハ實際ニ於テ其當時ヨリ比例ガ減少致シテ居リマス、之ヲ衆議院議員選舉有權者ニ比較致シマスルト云フト、即チ衆議院議員選舉有權者ハ其數三百萬以上デゴザイマス、府縣會議員ノ選舉有權者ハ、尙ホソレニモ及バヌト云フ今日デゴザイマス、惟フニ現制度施行以來茲ニ三十有餘年ニ相成テ居リマス、其間ニ於ケル教育ノ普及、民度ノ向上、並ニ自治團體行政ニ關スル府縣民ノ經驗訓練ノ情勢モ、大ニ進ンデ參タクデゴザイマス、相當ニ選舉權ノ擴張ヲ圖リマスルコト云フコトハ、申サマデモナク必要ナ事ト考ヘマス、仍テ其擴張ヲ圖ランガ爲メニ、此度ハ直接國稅ノ三圖ヲ納付スル今日ノ制度ヲ改メマシテ、單ニ直接國稅ヲ納付スル、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、左様致シマスルト茲ニ選舉有權者ノ數ハ五百一萬ニ増加致シマス、デゴザイマス、是ハ衆議院議員ノ方カラ申シ、又此度改正ニ相成リマス、市町村制ノ方ト比較致シマシテ、旁此邊テ相當デアラウト考ヘタ次第デゴザイマス、尙ホ從來ハ選舉權被選舉ノ要件ト致シマシテ、直接國稅納額ニ等差ガゴザイマス、即チ選舉權ハ三圖以上、被選舉權ハ十圖以上ニ相成テ居ルコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、今日ニ於キマシテハ、選舉權被選舉權ノ間ニ、其等差ヲ設ケル必要ハ無イト考ヘマシタノデ、區別ヲ設ケヌコトニ致シマシタ、即チ選舉權者ハ同時ニ被選舉權者タルコトニ改メタノデゴザイマス、次ニ選舉手續其他多少改正ヲ致シマシタ、是ハ衆議院議員選舉法ニ倣

ヒマシテ、改正ヲ致スガ宜シカラウト云フノガ一點デアリマス、他ノ點ハ既往ノ實績ニ倣シマシテ、委員ノ設置、手数料ノ設定ノ手續、並ニ府縣行政ノ委任、府縣費ノ分賦等ニ關シマシテ、相當ノ改正ヲ致シタノデゴザイマス、何レ詳細ノ事ハ尙ホ委員會ニ於テ御答ヲスルテ致シマシテ、説明ハ之ニ止メマス、何卒御協賛下サルコトヲ望ミマス(拍手起ル)尙ホ北海道會法、並ニ北海道地方費法中ニ改正ヲ加ヘマシタ、現行北海道法並ニ北海道地方費法ハ、孰レモ明治三十四年ニ制定セラレマシテ、始めテ道會並ニ地方費ニ關スル制度ガ北海道ニ開ケタノデアリマス、其當時ハ人口僅ニ百萬足ラズデアリ、地方費ノ經濟モ僅ニ四百四十萬圓デゴザイマシタノガ、爾來拓殖ノ進捗ト共ニ北海道ノ開發ハ洵ニ著シク、戶口ノ増殖ト云ヒ、生産ノ増加ト云ヒ、其他各般事業ノ勃興致シマシタコト、申シ現時ノ北海道ハ現在ノ制度ガ立テラレマシタ當時ニ比シテ、殆ド其面目ヲ一新致シテ居ル感ガアルノデアリマス、其人口カラ申シマシテモ、今日デハ二百七十四萬一萬圓以上デゴザイマス、左様ナ次第デゴザイマス、現制度ノ儘推行クト云フコトハ、今日ノ事情ニ適セナイト考ヘマス、ソノデ相當ナル改正ヲ致スコトガ最も必要デアラウト思ヒマス、ソノデ此度改正ヲ企テマシタ主ナル點ヲ申シマスレバ、道會法ニ在リマシテハ、選舉權、被選舉權ヲ擴張スルコトニ致シマシタ、又新タニ道參事會ヲ設置スルコトニ致シマシタ、尙ホ議員ノ選舉ニ關スル事項ハ、從來勅令ノ規定ニ據テゴザイマシタガ、是等ハ道會法中ニ統一スルノ適當ト認メマシタノデ、改正案ニ於テハ大體府縣制ニ準據スルコトニ致シマシタ、而シテ選舉權ノ擴張ハ大體府縣會議員ノ選舉權ト同様ナル立場ヨリ改正致シマシタ所、現行法ニ比シテ約二倍一分餘ノ増加ニ相成リマス、北海道地方費法ニ於テハ、從來地方稅ノ賦課徵收、並ニ地方費ノ支出費用ニ關シ、大綱ヲ規定シテアリマシタデゴザイマシテ、此他地方費ノ行政ニ關スル幾多重要ノ事項ハ、地方費令及單行勅令今日ハ定メテゴザイマス、此等ハ地方費中ニ統一一致シマスルガ適當ナリト考ヘマシテ、大體府縣制ノ規定ニ準ジデ、ソレト相當ノ改正ヲ致シタ次第デアリマス、是以テ時勢ノ進運ニ伴レ適當ナル事ト考ヘマス、ノデアリマス、宜シク御審議ヲ願ヒタウデゴザイマス、尙ホ郡制廢止法案ニ就テ大體ノ説明ヲ申上ゲマス、郡制廢止ノ事ハ、既ニ數回本院ニ於テハ可決通過致シテ居ル事柄デゴザイマス、未ダ今日マデ其目的ヲ達セズニ居ルコトデアリマス、然ルニ更ニ慎重ニ攻究致シテ見

マシタ結果、今日ニ於テモ尙ホ此郡制ハ之ヲ存置スルノ必要ナク、廢止スルコトヲ以テ適當ナリト考ヘマシタノデ、爰ニ重ネテ廢止案ヲ提出致シタ次第デアリマス、郡制ハ施行以來二十有餘年ヲ經テ居リマス、郡自治體ノ施設ヲ致シテ居リマス、事業ノ實況ヲ調ベマスルニ、其成績ノ見ルベキモノハ甚ダ少ナイノデアリマス、試ニ經費ノ點カラ申シマスルト、大正九年度ノ郡費歲出豫算總額ハ三千三百餘萬圓デアリマシテ、之ヲ道府縣ノ歲出豫算中、北海道並ニ沖繩縣ヲ除キマシタ府縣ノ歲出豫算ヲ申シマスレバ、二億六百餘萬圓ニ相成テ居ル、其一分五強デゴザイマス、同ジク市區町村歲出豫算ハ之ニ對シテ、僅ニ其五分強ニ過ギナイ有様デアリマス、郡ノ事業ガ遠ク府縣市區町村ノ事業ニ及バザルコトハ、ソレデモ明カデゴザイマス、殊ニ郡費ノ中事務費補助費等ノ類ヲ除イテ、眞ニ郡ノ事業費ト見ルベキモノヲ舉ゲマスレバ、其額僅ニ千八百餘萬圓デアリマシテ、之ヲ一郡ニ平均致シマスレバ約三萬五千圓ニ過ギマセヌ、今日町村ニ於テモ其事業費ハ四萬五千圓ニ上テ居リマス、モ少クナイノデアリマス、即チ一郡ノ事業ハ一町村ノ事業ニモ及バナイモノガ少クナイノデゴザイマス、加フルニ今日全國ノ郡ニ於テ經營致シマスル所ノ事業ハ、土木ガモ、教育ガモ、勸業衛生、各種ノ方面ニ涉テ居リマス、之ヲ各郡ニ就テ見マスルニ、事務費補助費ノ外事業費トシテハ、經常費支出豫算額僅ニ五千圓ニ達セザルモノ、即チ殆ド事業トシテ見ルベキモノ、アリマセヌ、全國五百三十七郡ノ中、百二十七郡モゴザイマス、斯ノ如ク郡ノ事業ハ其量カラ申シテ少イノミナラス、又此事業ノ内容ニ於テモ、満足スベカラザル狀態ニ在ルモノモ少クナイノデアリマス、是等ハ地方ノ事情ニ通ズル人モ齊シク承知シテ居ル所デアリマス、府縣又ハ大ナル市町村ガ教育、勸業、土木、其他、各般ノ事業ノ並ビ行テ其ノ費用各數萬圓乃至數十萬圓ノ多キニ上テ、自治體トシテノ實績ヲ舉ゲツ、アルノニ比較致シマスレバ、郡ノ狀態ハ日ヲ同ジウシテ語ルコトノ出來ナイ有様デアリマス、斯ノ如ク郡ノ事業ノ成績ノ舉ラナイノハ、何ニ依テス、如クデアアルカト申シマスレバ、一ハ郡ノ自治體ハ、府縣及市町村ニ選レテ發達致シタノデゴザイマス、隨テ住民ノ郡ニ對スル自治觀念薄ク致シテ、自治體トシテノ基礎ノ鞏固デナイト云フノガ其一ツデアリマス、又或ハ郡ハ府縣下町村トノ間ニ介在致スル中間團體デアッテ、而モ府縣町村ハ郡ヨリモ先キニ發達致シテ、組織モ隨テ鞏固デアアルガ爲メニ、地方事業ノ主ナルモノガ、多クハ府縣市區町村ニ於テ經營セラレル結果トシテ、郡ノ經營スベキ事業ガ、自ラ少カラザルヲ得ナイノデアアラウト考ヘマス、加之我國ノ町村ハ其面積頗廣

ク、戸口も又随分多イノデアリマス、而モ府縣ハ其郡ノ上ニ在テ面積割合ニ缺ク、戸口モ割合ニ少ナイノデアリマス、是ニ於テ其中間ニ在ル所ノ郡ノ自治體ト云フモノハ、實際ニ於テ其必要ヲ見ザルノデアルト考ヘマス、我國ノ町村ハ町村制施行ノ際其數七万七千七百餘ニシテ、之ヲ合併シテ一萬三千七百餘ニシテアリマスニ依テ、一町村ノ廣袤、人口、戸數ハ、之ヲ英吉利ナリ獨逸等ニ比較致シマスレバ、彼ノ數町村ニ匹敵致シテ居リマス、隨テ現ニ彼ノ國々ニ於テ郡ノ經營スル事業モ、我國デハ町村ガ多ク之ヲ經營致シテ居ルト謂フニ宜シカラト思フノデス、即チ我國ノ郡ハ彼ノ國々ノ郡ニ比較致シマスニ、其活動ノ範圍ハ狹小デアリマスノハ、洵ニ當然ナ事デアルト申シテ宜シカラウト考ヘル、畢竟シマスニ郡事業ハ成績ノ舉ラナイノハ、我國自治制度ノ沿革ト郡ノ地位トガ其原因ヲ成スモノデアルトスル以上、今日並ニ將來ニ於テモ、大ニ其發達ヲ期待スルコトハ出來ナイト考ヘマス、果シテ左様デゴザイマスレバ、今日五百有餘ノ郡ノ自治體ヲ、全國ニ普遍的ニ存置セシムル必要ハ無イト考ヘマス之ヲ廢止致シマシテ、其經營ノ事業ヲ府縣ニ或ハ町村ニ移シマシテ、各、是等ヲシテ活動セシムル方ガ、地方行政ノ效果ヲ舉ゲルニ、一層適切ナル道リデアルト認メルノデアリマス、即チ資力豐富ナル機關ノ整備シテ居ル所ノ府縣、或ハ利害關係ノ一層切實ナル町村ヲシテ、ソレト有テニ經營致シムル方ガ宜シカラウト考ヘマス、之ヲ要シマスルニ無クモガナノ郡ヲ存シテ、地方ノ三級制度ヲ維持致スヨリハ、寧ロ之ヲ廢シテ簡明ナル制度ニ致スコトガ、大體ニ於テ其宜シキヲ得タルモノト考ヘルノデアリマス、乃チ由テ以テ事務ノ簡捷ヲ期シ、町村自治ノ活動ヲ促シ、又町村ノ自治行政ヲ指導スル上ニ於テ、大ニ力ヲ伸ベルコトモ出來得ルコトデアラウト考ヘルノデアリマス、右ノ理由ニ依リマシテ今日之ヲ廢止致シマスルコトハ、最も適當ナリト信ジマスルコトデアリマス、何卒御協賛ヲ願ヒタイノデゴザイマス（拍手起ル）次ニ衆議院議員選舉區ニ關スル法律案郡制廢止ノ結果ト致シマシテ、自然郡ノ配置分令、若クハ區域ノ變更ガアリマス際ニ、衆議院議員選舉法別表ノ選舉區ニ影響ヲ及ボスコトデアリマスノデ、爰ニ衆議院議員選舉法別表ノ選舉區ハ特ニ此法律ニ依テ致スニ非ズンバ、濫リニ變更セザルモノデアルト云フコトヲ、明カニ致シテ置ク方ガ必要ナリト考ヘマシテ、是ハ郡制廢止ニ伴フテ提出致シマシタ次第デ是亦然ルベク御審議ヲ願ヒマス（拍手起ル）

○議長（奥繁三郎君） 府縣制中改正法律案、郡制廢止ニ關スル法律案ニ就テハ、質議ノ通告ガ數人ヨリアリマス、順次之ヲ許シマス、荒川五郎君

（荒川五郎君登壇、拍手起ル）

○荒川五郎君 現政府ハ主トシテ已レノ黨利黨益ノ爲メニ沒頭セラレテ、國家ノ大事ヲ殆ド閑却セラレテ居ルト傳ヘラレテ居ルノデアリマス、（ノウ）併シ政友會ノ諸君ガノウ（ト）言ハル、通り、私ハ爾ク信ジナイノデアリマス、ソレデアリマス、然ルニ今茲ニ一言セナケレバナラヌ必要ガ生ジタルデアリマス、何故デアアルカト云ヘバ、議會ノ會期ハ三月月デアルト云フコトハ、政府ハ御承知デラウト思ヒマス、然ルニ今三月ノ切迫ニ拘ラズ、種々重要ナル大議案ハ、殆ド雨ノ如ク議會ニ降リ注ガサレテ來リツ、アルノデアリマス、中ニモ重要ナル議案ガ緊急動議ヲ提出セラレ、次ノ會日ニ直チニ緊急動議トシテ可決セラル、ガ如キ、殆ド只ダ其紙ヲ議會ニ通シサヘスレバ、以テ事足レリト云フガ如キ有様ハ、大事ノ國務ニ對シテ、甚ダ不深切亂暴ノ至リデアルト私共ハ是マデ感ジテ居タノデアリマス、（拍手起ル）早クヤル早ク止メ給ヘ、早クヤレト呼フ者アリ、早クヤル早ク希望スルナラバ靜ニ御聽ナサイ、邪魔ヲスルカラ長クナルノデアリマス、（簡單ニヤリ給ヘト）呼フ者アリ、農工銀行ニ關スル事、或ハ勸業銀行貯蓄銀行ノ改正案ノ如キニ於テモ、多クノ議案ガ、多クノ人ハ無イト呼フ者アリ、併シ問題ニ依ッテハ、其時ニヲ以テ生ズル問題モアリマス、必ズシモ緊急動議ヲ私共ハ悉ク反對スル者デアリマス、然ルニ過日市制町村制ノ改正案ガ出サレマス所、國家ノ基礎、地方ノ地盤ヲ成ス自治體之ニ關スル此重大ナル市町村制ノ案ガ出タ當時スラ、ソレヲ吾等ハ其提出ノ遲イノ驚イタノデアリマス、併シ是ニハ床次內務大臣ガ先々ノ議會以來、此改正案ヲ出スト云フコトハ議會ニ言明セラレテ、既ニ其成案ハ夙ニ出來テ居タト承テ居ルノデアリマス、議會ガ斯ク亂暴ナ解散ナクシテ濟ンダナラバ、疾クニモ議會ニ出サレタ筈ノモノデアアル、然ルニソレガ黨派ノ情實ノ爲メニ、階級ヲ撤廢スベシ、撤廢スベカラズト云フヤウナ各自ノ自利自益ノ上ニ、實ニ陋劣千萬ナル卑ムキ澤山ナルガヤトノ議論ガ出タガ爲メニ、此大事ノ地方制度ガ換骨脱體セラレテ議案トナツテ、議會ニ現ハル、ニ至ツタカラ、ソレガ爲メニ該改正案ガ遲ラレタト云フコトハ、床次內務大臣ノ苦衷ニ對シテ、私共ハ聊カ同情ヲ表シテ此案ガ看過致シタノデアリマス、然ルニ今ヤ會期ヲ餘スコト僅々十日ト云フ此切迫ノ場合ニ當テ、國家ノ重大ナル此府縣制或ハ郡制ノ廢止案ノ如キヲ、突如トシテ此ニ出サル、ニ至テハ、吾等ハ內務大臣ノ政治上ノ責任觀念ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、（拍手起ル）何タル無責任ノ事デアリマセウカ、果シテ誠心誠意ニ地方ノ改良ヲ圖リ、國家ノ進運ヲ期スルモノデアルヤ否ヤ、口ニハ國ヲ念ヒ、又政治ニ力ヲ盡スト云フ人モ、此事實ヲ奈何セン今茲ニ顯シツ、アル此

事實ガ、誠意ニ政治ヲスルモノト云フコトガ言ハレマセウカ、（拍手）現政府ハ黨利黨略ニ耽ツテ、國家ノ大事ヲ忘レテ居ルト世間カラ言ハレテ居ル批難ヲ私ハ信ゼスデ居タノデアリマス、（レドモ）今日此席ニ斯ノ無責任ノ事實ヲ見ルニ至テハ、私ハ實ニサウ諸君ニ嫌味ヲ言フノハ嫌ヒデ、平素言ツコトモ無イノデアリマス、甚ダソレヲ嫌フノデアアル、然ルニ今日ニ至テハ、遂ニ茲ニ內務大臣ニ向テ、責任ノ觀念ノ上ニ攻撃的質問ヲセザルヲ得ヌコトニナタノデアリマス、內務大臣ノ如キ、此地方自治問題ハ年々歳々常ニ研究サレタルベキモノデ、今日突如トシテ湧イタ問題デナイ、ソレヲ斯ル會期切迫ノ今日ニ出シタト云フコトハ、政治家ノ良心ニ顯ミテ、之ヲ至當ト考ヘラル、ヤ否ヤ、私ハ實ニ是レ立法ノ府ヲ弄ブモノト思フノデアリマス、（拍手）而シテ今提出セラレタル諸案ノ内容ハ如何デアアルカト云フニ、內務大臣ノ説明セラレタル如ク、選舉權三圓ヲ只ダ直接國稅ニ變ヘタト云フノガ、府縣制改正案ノ骨子デアアルノデアリマス、今會期切迫ノ場合ニ、何故ニ斯ル事ヲ出サナケレバナラヌカ、縣會ノ選舉ハ何年ノ後デアアルカ、之ヲ運用シ働カスノハ何時デアルカ、必ズシモ此切迫ノ場合ノ今日之ヲ出ス必要ハ無イ、出シタ所ガ、是ハ一二年ノ間ハ高閣ニ束ネテ置カネバナラヌモノデアアル、若シ提出スルナラバ、此大事ナ案ハ早クヨリ議會ニ出シテ十分ニ審議討論ヲ盡シテ完壁ヲ求メ、サウシテ地方ノ政治ノ改良進歩ヲ資スルコソ、是レ大臣當然ノ責任デアリマセウカ、是ガ第一點ノ質問デアリマス、（時間ヲ費スナト）呼フ者アリ、府縣制案ノ内部ノ各箇條ニ就テ、種々質疑ヲ致シタイ事ガアリマス、（レドモ）氣短カナ先生ガ隨分少ナクナイカラ、是ハ其方ニ免ジテ省キマス、笑聲起ル、（皆シナ省ケト）呼フ者アリ、次ニ郡制廢止ノ問題デアリマス、郡制廢止ノ問題ハ、市町村ノ階級撤廢、若クハ府縣制ノ三圓納稅ヲ低下シタ如キトハ、決シテ同日ニ觀ルコトノ出來ナイ、全國幾百ノ郡自治ノソレガ關聯シテ一般ニ關スル重要ナル問題デアリマス、然ルニ此問題ガ更ニ爰ニ初メテ出ルト云フコトニハ、實ニ驚カザルヲ得ヌノデアリマス、今ノ政府ノ首班デアアル原總理大臣ハ、明治四十年ト覺エマス、郡制廢止ノ議案ヲ議會ニ出サレテ、爾來今日迄ノ問題懸案トナテ居リマス、（レドモ）原總理大臣、床次內務大臣ハ、爾來郡制ハ廢止スルコトニ腹ハ決メテ居ラレタノデアリマセウカ、（ソレカラドウシタト）呼フ者アリ、何故ニ此會期切迫ノ今日ニソレヲ出シタノデアアルカ、（笑聲起ル）是ガ分ラヌノデス、（君モ分ラヌデヤナイカト）呼フ者アリ、而カモ既往ノ政府ノ遣リ方ヲ顧ミレバ、未ダ是ニハ定見ガ無イト思ハレル所ガアル、何故ナラバ道路法案ヲ議會ニ出サレテ、ソレガ成立タノハ何時デアリマスカ、僅カ昨年ノ事デセウ、其道路法ハ今ヤ漸

ク實施ニ掛タ位ノ法律アリマス、其通路法ニハ郡道ナルモノヲ認メテ、郡自治ト云フ精神ヲ認メテ、其上ニ打立テラレタ此法律アリマセウ、明治四十年カラ以來、郡制ハ廢止スベシト云フ意見ヲ支持シテ居ラセウナラバ、何故ニ此道路法制定ノ當時ニ、郡道ナルモノヲ認メラレタノデアルカ、朝令暮改ト云ヒマセウカ、豹變無定見ト云ヒマセウカ、驚クベキノ至リデハアリマセウカ、(拍手)郡制廢止ニ反對カ、何ダカ分ラヌト呼フ者アリ、殊ニ只今内務大臣ノ説明ヲ承レバ、郡費ガ少ナイ郡ノ事業ガ少ナイ、ソコデ郡ナルモノハ、之ヲ特別ニ存置スル必要ヲ認メヌ、斯ウ云フノデアリマス、ケレドモ、内務大臣ハ確カ郡制ト云フ此大事ヲ法律ノ中ノ、大事ナ箇條ヲ御承知ナインデハナカト思フ、苟モ郡制ノ本文ヲ承知シタル者ナラバ、只今ノヤウナ議論ガ出ル譯ガナイト思ヒマス、何故ナラバ……(君ヨリカ餘計知テ居リマス)ト呼フ者アリ、マア御聽ナサイ、ト何故ナラバ郡ノ經費ガ少ナイ、郡ノ事業ガ少ナイト云フノハ、郡制ノ箇條ガサウナデ居ルノデアリマス、郡ニハ經費ノ徵收權ヲ許シテ居リマセヌ、此大事ナ箇條ベキ……何ヲ働クニモ金ガ無クテハナラヌ、其金ヲ自由ニ徵收スル權利ヲ與ヘナシ、此變則ノ郡制ヲ置イテ、サウシテ郡ニ金ガ無ク、郡ノ事業ガ少ナイトハ何事デアリマスカ、恰モ咽喉ヲ抑ヘテ脊中ヲ叩クヤウナモノデハアリマセウカ、(拍手)サウシテ其制度ガ斯ル變則ナル制度デ、郡ノ活動ガ出來ナイヤウナ制度ヲ置イテ、サウ云フ其制度ノ上ニ成來タル今日ノ費用ヲ計算シテ、ソレガ三千百餘萬圓、府縣ノ二億何千萬圓ニ較ベテ、少ナイナラ、云フヤウナ事ヲ論ゼラレト云フノハ、全ク制度ヲ顧ミナイ議論デアリマス、若シ郡ノ事業ヲ興サウ、郡ニ經費ヲ餘計入レヤウト思ヘバ、郡ニ費用ノ徵收權ヲ許シ、郡ニ完全ナル自由ノ活動ヲ許シタナラバ、出來得ルノデアリマス、法制ノ上ニ堅ク縛リヲ置イテ、サウシテ郡ノ仕事ガ無イト言ハレバ、如キハ、本末ヲ顛倒シタル驚クベキ議論ト謂ハナケレバナラス、(拍手)此點ニ顧ミテ内務大臣ハ、郡制ヲ御承知ナイト私ハ考ヘルノデアリマス、(笑聲起ル)君モ御承知アルマイト呼フ者アリ、其邊ニ批評ヲスル人モ、郡制ヲ御承知ナインカラデアル(笑聲起ル)且又郡ニ費用ヲ要スル事ガ少ナイ、事業ガ少ナイト云フコトハ、是ハ却テ今日ノ幸福ヲ致シテ居ルノカモ知レヌノデアリマス、若シ郡ニ自由ノ活動ヲ許シテ事業ヲサレタナラバ、或ハ今日ノ町村ハ財政枯渴シテ、町村ノ維持ガ出來ナイヤウニ至、タカモ知ラナイ、財政ハドレダケノ難義ニ陥レテ居ルカモ知ランノデアリマス、府縣政ナル自治制アリ、其下ニ市町村アリ、其間ハ相當ノ調節ヲ保シ、格別甚大ニ働ノ出來ヌヤウナ相當ナ階段ヲ置イテアルノデアル、其制度ノ可否ハ、別問題ト致シテ、今日右様精神ヲ出

來タ郡制制定ノ方針ニ顧ミテ、今床次内務大臣ガ之ヲ存スベカラス、廢スルガ宜シト云フ理由トセラル、ノハ、實ニ一文ノ値ハ無い論デアリマス、(拍手起ル)廢止ニ反對カ賛成カ、ソレガ質問デスカト呼フ者アリ、諸君、凡ソ居ハ氣ヲ移シ、養ハ體ヲ變ヘルノデアリマス、郡制ハ明治二十四年ニ布カレテ、全國一般ニ行ハレタル三十三年、最後ノ三十三年ヨリモ二十箇年ヲ經過致シテ居リマス、凡ソ諸種ノ制度ノ如キニシテモ、制度其物ニ伴フテ自然ノ發達ガアルノデアリマス、進歩ハ遲タトシテ居リマス、併シ郡ノ事業ハ漸次ニ進シテ居ル、其大ニ進マザルハ、制度ガ進マセナインデ、郡ガ進マナインデハナインデアリマス、然ルニ今日ハ全國各郡トモ多ク種々ノ事業ガ出來マシタ、或ハ郡デ女學校、農學校、中學校ト云フヤウナ學校ヲ經營シテ居ル所モアル、或ハ蠶業講習所其他ノ事業ヲ經營シ、又財產ヲ所有致シテ居ル所モアルノデアリマス、若シ郡ヲ發達セシメヤウト思ヘバ、相當ノ働ヲ得ルヤウニ致シタナラバ、郡ハ次第々々ニ發達シ得ルコトハ、郡ノ歴史ニ顧ミテ決シテ疑フ餘地ハナインデアリマス、(ソノナ事ガ、質問デスカ)要點ヲ早ク言ヘト呼フ者アリ、斯ウ云フ譯デアリマス、内務大臣ノ述ベラル理由ハ、更ハ其理由ヲ成サナシ、此地方自治ノ階級ニ關シテ、地方自治ノ三階級——一階級ニスルト云フノハ、市ノ三階級ヲ二階級ニスルト云フノハ、似タヤウナモノデアリマス、ケレドモ、此三階級ヲ二階級ニスルガ良イカト云フコトハ、殊ニ地方政治上ノ大問題デアリマス、只今内務大臣ガ述ベラレタ御説明ノ如キハ、實ニ一文半錢ノ値ガ無いト思ヒマス、無價値ナル斯ル理由ヲ以テ論ジ去ルベキモノデハアリマス、敢テ問フ内務大臣ハ、此郡制廢止ニ對シ、之ヲ廢スベキ根據ニ就テ如何ナル理由ヲ持テ居ラレバ、又世間ニハ郡役所ヲ廢スル其前提トシテ郡ノ自治ヲ廢シヤウト云フ議論ガアルノデアリマス、是ハ其議論ノ價值ハ別トシテ議論トシテハ、一ツノ議論ヲ成スノデアリマス、然ルニ今我政府ハ郡役所ハ廢シナインデアリマス、廢シナインコトハ別ニサウ云フ御説明ハ無いケレドモ、府縣制改正案ヲ見レバ、確ニ其箇條ガアルノデアリマス、郡役所ハ廢シナイン、郡役所ヲ廢セシテ郡ノ自治ヲ廢スルノミト云フコトハ、只ダ表面ニ自治ヲ廢スルト云フコトデ、内部ニ於テハ必ズ之ニ相當スル、自治ニ代ル必要ノ方法ヲ生ズルト云フコトハ明カデアル、何ガ故カト云ヘバ、若シ郡ニ財產ヲ持テ居レバ、其郡有財產ヲ管理スル方法ヲ決メナケレバナラス、又郡ノ各町村ガ組合ヲシテ學校若クハ試驗場其他ヲ維持スルト見レバ、郡全部ノ町村組合ヲ設ケテ、組合議員デンレヤラセナケレバナラス、郡制ナラバ一ツノ郡會デ出來ルモノデ、若シ二ツカ三ツノ事業ガアレバ、其事業毎ニ組合會議員ヲ置イテ——組合會ニ役員

ヲ置イテヤラナケレバナラスカラシテ、此郡制ヲ廢スルガ爲メニ費用ガドレダケ増加シテ來ルカ分ラヌト思フノデアリマス、果シテ今日ノ場合ニ殊ニ二十年——初メヨリ三十年モ銅致シテ來タル所ノ郡制ヲ廢止シテ、サウシテ改惡ヲ致シテ、費用ヲ増シ、而シテ人民ノ不便利ヲ致スヤウナ事ヲ致シテ顧ミナイト云フコトニナルノデアリマス、内務大臣ハ以テ如何トセラル、カ、殊ニ内務大臣最後ノ説明ハ、マルデ机上ノ空論デアル、簡單デアルガ最後ノ説明ハ、内務大臣自ラドウスル積リデアルカ、全ク空アルソレハドウデアルカト云ヘバ、郡ニ事業ガアレバ、ソレヲ或ハ府縣ニ移シ、或ハ町村ニ移スト云フノデアリマス、ドウシテ移シマス、府縣ノ府縣會ニ於テ、郡ノ學校ハ要リマセヌト言テラドウスル、町村ニ持ッテ行シテモ、町村ガ受ケ付ケネバドウスルカ、斯ル大事ナ事業ヲ之ヲ府縣ニ移シ、又ハ町村ニ移ス、恰モ机ノ上ノ紙ヲ右ノ抽斗カラ左ノ抽斗ニ移スガ如クニ、此國家ハ活キタ仕事ヲ自由ニ分配シ得ルコト思ハル、ハ、内務大臣ハ空疎ナル(ノウ)ト呼フ者アリ、全ク空疎ナル、事實ニ接觸シ得ナイ政治家ト謂ハナケレバナラス、實際ニ於テ斯ノ如キモノハ斷ジテ出來得ルモノデハアリマセヌ、若シ幸ニ中ニ此事業ヲ府縣ニ取リマセウケレドモ、ソレヲ皆ナ此机ノ抽斗カラ出スガ如ク出來ルヤウニ考ヘルト云フノハ、全ク政治ノ實際ヲ知ラナイ空論政治家ノ爲ス所デアル、(君ガ知ラナイ)ト呼フ者アリ、内務大臣、果シテ以テ如何トスル(笑聲拍手起ル)

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答致シマス、第一提出ノ期日ノ大ニ遅レタコト、種々ナル手續ヲ途中ニ要シタ爲メニ斯ノ如ク遅レタコトハ、是ハ洵ニ遺憾デアリマス、モウ少シ早ク提出スベキデアッタ、是ハ洵ニ遺憾デアリマス、去リナガラ郡制廢止ニ致シマス、又府縣制等ノ事ニ致シマス、決シテ今日俄ニ起リ議論デナク、郡制廢止ノ如キハ、前モ申シタ如ク既ニ確カ二回デアッタコト思ヒマス、本院ヲ通過致シ居ル問題デアリマス、府縣制ノ選舉權ノ擴張ノ如キモ、蓋シ今日ハ苟モ政治ニ關スル人トシテハ、其必要ナルコトハ、申スマデモナク必要ト見テ居ラレデアラウト思フ、提出ノ期限ハ遅レマシタ、事ハ甚ダ世ノ中ニ知レテ居ル問題ノコトデアリマス、定メテ諸君ニ於テモ御審議下サレルトコト、私ハ信ジテ居ル、又左様ニ御願致シタウゴザイマス、郡制ト道路法トノ事ニ就テ御話デアリマス、郡制廢止ノ事ハ、終始變リナク考ヘテ居ル所デアリマス、併ナガラ此廢止案ヲ提出スルト致シマス、私ノ考トシテハ、他ノ地方制度改正ノ時期ニ同時ニ致スガ宜カラウト云フノデ、今日マデ差控ヘテ居、タ次第デアリマス、昨年通路法制定ノ

際ニ御質問モアリマシタガ、郡制廢止ノ意見ハ今日尙ホ持テ居ルノデアル、但シ提出ノ時期ハ御話ハ申上ゲラレヌト斯ウ言フテ御答シテアルノデアリマスカラ、其邊ニ於テハ何等變リハナシ積リデアリマス、ソレカラ郡ニハ財源ガ無イ、隨テ事業ガ無イノデアアル、今日郡ハ餘リ働イテ居ラスノハ制度ノ罪デアル、斯様ナ仰セデアリマス、或ハ左様デアルカモ知レヌト私モ考ヘル、即チ左様ナル話ナイ制度ハ廢メテ宜カラウト云フノガ、矢張私ハ其廢止ノ一ツデアリマス、(拍手起ル)本日ノヤウナ事ヲシテ、何方ニモ付カヌヤウナ自治制ハ、畢竟スルニ地方ノ眞ノ自治ヲ進メル所以デナイト考ヘルノデス、(拍手起ル)郡ノ事業ヲ如何ニスルカ、縣デハ受取ラヌシ、町村デハ受取ラヌシ、誰モ受取ル人ガ無イトキニハ如何ニスルカト云フ御話デアルガ、眞ニ地方ノ福利ノ爲メニ必要ナル事業デアアルナラバ、受取人ノ無イコトハナイト考ヘマス、何人モ受取ルコトヲ嫌フヤウナ事業ナラ、態ト拵ヘタマ事デアリマスカラ、廢スルガ最モ可ナリト考ヘルノデアリマス、(拍手「ヒヤ」)其他ハ私個人ニ對シテ多ク御忠告ノヤウニモ承リマシタ、是ハ謹シテ承テ置キマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 大口喜六君

○大口喜六君登壇、拍手起ル

○大口喜六君 私モ此際内務大臣ニ質問ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、勿論詳細ナル事ハ委員會デ承リマシタル考デアリマスガ故ニ、極メテ重要ナル點、僅ニ三四點ヲ伺テ置キタイト思フノデアリマス、先ヅ此府縣制ノ方ニ就キマシテ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、今回此府縣制ノ改正ニ當リマシテハ、選舉權被選舉權ノ擴張ヲ行ハレマスノヲ眼目ト致サレマシテ、殊ニ是マデ選舉權ト被選舉權トノ間ニ納稅額ノ等差ガアリマシタノヲ、之ヲ撤廢致サレテ只ダ單純ニ直接國稅ヲ納メテ居レバ宜イニ斯ウ云フコトニ致サレマシタル御趣意ハ、先刻内務大臣ノ御説明ニ依テ大體ハ諒承致シタノデアリマス、是ニ於テ一ツノ疑問ガ起リマスノハ、ソレダケニ爲サルナラバ、何ガ故ニ此直接國稅ヲ納メル者ト云フコトヲ存置セラレタノデアアルカ、斯ウ云フ事ガ私共ニハ諒解ニ苦ムノデアリマス、即チ現行ノ市町村制カラ申シマスレバ、公民權ヲ得マスルニハ、言フマデモナク直接國稅ハ納メテ居ラナケレバナラヌ者デアリマス、而シテ此府縣制ニ於キマシテ、府縣會議員ノ選舉權被選舉權ヲ得マスルノニハ、直接國稅ノ資格モアリマスガ、一面ニ市町村ノ公民タルコトヲ要スルコトニナテ居リマスガ故ニ、現行ノ市町村制カラ云ヘバ、既ニ公民權ヲ得テ居ル以上ハ、多少共直接國稅ヲ納メテ居ルノデアリマスガ故ニ、此箇條ハ要ラナイ譯ニナル、併ナガラ政府ハ只今市町村制ノ改正案ヲ本會ニ提出致シテ居ラレマス故ニ、之ガ通過スレバ果シテドウナルモノデア

カ、是ガ一ツノ問題ニナルノデアアル、即チ今回政府ガ提案シテ居ラレル所ノ市町村制ニ於キマシテ、公民權ハ如何ナル者ニ得セシムルノデアアルカト申シマスレバ、言フマデモナク種々ナル條件ガアリマスガ、其條件ノ一トシテ、直接市町村稅ヲ納メル者デナクテハナラナイト云フコトヲ、政府ハ提案致シテ居ルノデアアル、而シテ此直接市町村稅トハ如何ナルモノデアアルカト云ヘバ、内務大臣兩大臣ガ市町村制ヲ定ムル所ニ依テ指定ヲ致シテ居リマシテ、只今市町村ニ相成テ居ル其告示ニ依テ見マス、直接國稅ガ直接府縣稅ニ對シテ市町村ガ附加稅ヲスル、其附加稅ハ即チ直接市町村稅デアル、斯ウ云フコトニ相成テ居ルノデアアル、其外ニ直接市町村稅ト云フモノハ別ラケアルカト云ヘバ、極メテ僅カデアマシテ、一般のニハ反別割ガ一ツ、其外ニハ市町村ニ於テ特別稅ヲ設ケテ、其特別稅ニ對シテ、府縣知事ガ必要ト認メテ稟申ヲ致シテ告示ヲ致シタモノダケガ、其市町村ニ限ラズ、直接市町村稅ト相成テ居ルノデアリマスガ故ニ、只今申シマシタ直接國稅ニ對スル市町村ノ附加稅、直接府縣稅ニ對スル所ノ市町村ノ附加稅、是レ以外ノ市稅ト云フモノハ、極メテ僅カモノデナクテハナラヌノデアリマス、シテ見ルト今回政府ガ提案サレタル所ノ市制町村制ヲ議會ヲ通過致シマシテ、之ガ行ハル、場合ニナレバ、苟モ市町村ノ公民トシテ公民權ヲ得ル者ハ、必ズ其半數ハ既ニ直接國稅ト云フモノヲ、二年以來納メテ居ル者デナクテハナラナイト云フコトガ、理論ノ上カラモ實際ノ上カラモ明カニナルノデアリマス、然ラバ半數ハ如何ナル者デアアルカト云ヘバ、直接府縣稅ヲ納メテ、ソレニ對シテ市稅ヲ附加サレテ居ル所ノ者デアアルノデアリマス、斯ノ如ク實際ニ相成ル場合ニ當テ、更ニ又此府縣稅ヲ提案サレタル、今回提案サレタル府縣制ノ條文デ見ルト、市町村ノ公民即チ公民權ガアルコトガ第一必要デアアルカラ、此中ニハ半分ハ直接國稅ニ依テ公民權ヲ得タル者、半分ハ直接府縣稅ニ依テ公民權ヲ得タル者ト解釋シナケレバナラヌ、然ルニ其上一一年以來直接國稅ヲ納メナケレバナラヌト云フ條件ヲ付ケラレルト云フト、直接國稅ヲ納メテ、其附加稅ニ依テ公民權ヲ得テ居ル所ノ者ニハ、此箇條ハ適用スル必要ハ無イコトニナルノデアリマス、當然直接國稅ハ納メテ居ル、納メナケレバ公民權ハ得ラヌノデアリマスカラ、直接國稅ニ對スル市町村附加稅ニ依テ公民權ヲ得テ居ル者ニ對シテハ、此一箇年以内直接國稅ヲ納メルト云フコトハ、適用スル必要ガ無イコトニナルノデアアル、即チ此箇條ヲ適用サル、ハ何所デアアルカト云ヘバ、直接府縣稅ヲ納メテ、此附加稅ニ依テ公民權ヲ得テ居ル者ノミニ對シテ、之ガ適用サレルコトニナルノデアアル、即チ同ジ納稅者デアッテ、直接國稅ニ依テ公民權ヲ得テ居ル者ハ、洵ニ關係スル所

ハ無イガ、直接府縣稅ヲ納メテ居ル所ノ者デアアルナラバ、二重ニ更ニ其上ニ國稅ヲ納メテ居ルコトヲ要求サレルコトニ相成ルノデアアルト思フ、實際ノ上ニサウナル、蓋シハ同ジ府縣會議員ノ選舉權被選舉權ヲ與ヘルニ於テハ、蓋シ論理ニ合ハナイ、頗ル不公平ナル組立デアアルト私共ハ信ズルノデアリマスガ、是ニハ如何カ特殊ノ理由ガアルノデアアルカ、之ヲ第一私ハ承リテ見タイノデアリマス、殊ニ之ニ附加ヘテ申サレテ見タイノハ、市制町村制ニ於テハ、今回政府ガ提案サレ、是マデハ直接國稅ニ依テ公民權ヲ定メラレテアッタモノガ、ソレヲ廢シテ、直接市町村稅ニ依テ公民權ヲ得ラレルコトニ今回改正サレタルデアリマス、シテ見レバ府縣會議員ノ選舉權被選舉權ヲ得ル上ニ於テハ、其市町村制ノ提案カラ行ケバ、直接府縣稅ヲ納メル者ニ對シテ、此選舉權被選舉權ヲ與ヘテ宜サ、ウナモノデアアルノニ、特ニ直接國稅ト決メラレタ理由ガ、吾々ニハ分ラナイノデアリマス、サウ云フ事ニナレバ、益、此直接府縣稅ト云フモノヲ納メテ、其附加稅ニ依テ公民權ヲ得テ居ル者ニ對シテハ、極メテ辛キ取扱ヲ致スト云フ結果ニ相成ルノデアアルガ、此點ニ對シテ、政府ハ如何ナル論據ヲテ斯ノ如キ提案サレタルデアアルカ、第一此理由ヲ承リタイノデアリマス、次ニ承リタイノハ郡制ニ關スルコトデアリマス、郡制廢スベシト云フノ御主意モ、先刻御説明ニ依テ承リ、又只今荒川君ニ對スル御説明ニ依リマシテ、御主意ダケハ略、私共了解致シマシタガ、併ナガラ爰ニ一ツ承テ置カケレバナラヌハ、是マデ郡ノ廢置分合ヲ致ス場合ニハ、現行法ノ郡制ノ第三條ニ依テ致スノデアリマシテ、法律ヲ以テ之ヲ定ムルコトニ相成リマスレバ、將來郡ノ廢置分合ハ何ニ依テ爲サレル御考デアアルカ、法律ニ依ルト云フコトハ消エテシマウノデアアルカラ、ドウ云フ事ニ依テ此廢置分合ヲ爲サル御考デアアルカ、是ハ極メテ大切ノ事デアリマスガ故ニ、此點ニ對シテ政府ノ見ル所ヲ承テ置キタイ、而シテ郡制ヲ廢シタル結果ハ、政府ハ行政整理ノ一端トシテモ、或ハ郡役所ノ併合ヲ行ヒ、又ハ郡役所ヲ全廢シテ縣廳ノ出張所ヲ御置キニナリ、然ルベキ方法ヲ執ラレテ、獨リ郡制ヲ廢シテ自治體ヲ止メルバカリデナク、一面ニ於テハ行政上ノ整理ノ實ヲ舉ゲラレデアラウト思フノデアアルガ、ソレニ對シテ政府ハ如何ヤウナル成案ヲ持テ居ラレルカ、此三點ニ就テ御答辯アラント希望致シマス(拍手)

○國務大臣床次竹二郎君登壇、拍手

○國務大臣床次竹二郎君 只今御尋ニ御答シマスガ「國稅」ト云フ字ヲ殘シマシタノハ、御承知ノ如ク只今マデハ公民權ニ加フルニ、直接國稅三圓以上ノ納稅資格ヲ以テ致シタ譯デアリマス、大體ノ主義ハ現行法ヲ其儘襲ヒ

マシテ、唯ダ國稅ノ納稅ノ要件ヲ引下ゲタニ止マル譯デアリマス、即チ現行法ヲ唯ダ程度ヲ引下ゲタト云フコトニ止マル次第デアリマス、デ重複ハ致スミト思ヒマス、公民權ヲ制限スルニ、國稅ノ納稅者ト云フコトヲ以テスルノデアリマスカラ、重複ハ致スミト考ヘマス、ソレカラ將來郡ノ廢置分合ノアリマス際ハ、法律ヲ要セヌコトニナラウト思ヒマス、命令ヲ以テ出來得ルト考ヘマス、隨テ左様ナコトニ相成リマスレバ、例ヘバ衆議院議員選舉法ノ選舉區ノ如キガ、命令ノ爲メニ動カヤウナコトニ相成、デハナラヌト考ヘマシテ、爰ニ衆議院議員選舉區ニ關スル法律案ヲ提案致シタ譯デアリマス、尙ホ最後ニ御尋アリマシタ自治體トシテノ郡ヲ廢シテ以後、或ハ行政區トシテノ郡ヲ廢合スル考デモアルカト云フコトニ就テハ、單ニ自治體トシテ存セヌ以上ハ、行政區トシテノ存廢ハ餘リ必要ハアルマイカト思ヒマス、併ナガラ御尋ハ郡役所ノ廢置分合ヲ致スコトハナイカト云フコトニ、結局ナルデアラウト思ヒマスガ、郡役所ハ多少其數ヲ減ジ得ルト考ヘテ居リマス、的確ナ數ハ今此所デ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、自然左様ナ事ハアリ得ルト考ヘテ居リマス

○大口喜六君 簡單デアリマスカラ、此席カラ申上ゲマス、只今ノ御答ニ依リマシテ、郡制ニ關スル方ハ大體了解致シマシタ、併ナガラ府縣制ニ關シマス方ハ、私ノ質問ヲ致シタ點ニ少シモ御答ガ無イヤウニ思フデアリマス、大體法文ヲ見マシテモ、是マデ直接國稅三圓トカ十圓トカアリシモノガ、金額ガ取去ラレテ、格下タモノデアルト云フコトハ、質問ヲ致サナクテモ能ク判テ居ルデアリマス、其結果先刻私が演壇ニ於テ述ベタ如キ事ガ出來ルカ、其不公平ニ對シテ、政府ハ何ト御考ニナッテ居ルカト云フ質問ヲシタノデアリマス、即チ直接國稅ヲ納メル者ガ、其附加稅ニ依ッテ公民權ヲ得テ居ル者ハ是デ宜シイノデスガ、直接府縣稅ヲ納メテ居テ、其附加稅ニ依ッテ公民權ヲ得ル者ニ對シテハ、一方ノ者ト比較シテ不公平デアル、即チ府縣稅ノ納入ヲ要求シテ居ル者ニ對シテ、不公平ニ當ルデアリカト云フ質問デアリマス、之ニ對シテ御答辯ヲ要求致シマス

〔國務大臣床次竹二郎君登壇〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答致シマスガ、府縣稅ノ納稅者ト云フ者ハ、今日ノ府縣制ノ上ニモ認メテアリマセヌ、御承知ノ如ク市町村稅並ニ國稅ノ若干以上ヲ納メル者ヲ以テ資格者ト致シテ居ルノデアリマス、之ヲ府縣稅ノ納稅者ヲ以テ尙ホ有權者トスルヤ否ヤト云フコトハ、確ニ一ノ議論デアリマス、ソレモ立テ方ニ依ッテ宜シカラウト思フデアリマス、併ナガラ是其點ニ就テハ現行法其他ヲ襲ウテ、別ニ變ヘルコトヲ致サナクテ、唯ダ程度ヲ下ゲルダケデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 高木正年君

〔高木正年君登壇〕

○高木正年君 只今荒川、大口君ニ依ッテ、私ノ問フベキ所ノ大體ハ分明致シタデアリマス、唯タ一ツ府縣制ノ上ニ就テ、最モ諒解ニ苦シデ居ル點ガアルノデアリマス、改正府縣制ノ第四條ニ、府縣知事ハ府縣會議ノ決議ヲ經、內務大臣ノ許可ヲ受ケテ、前條ノ規定ニ基キ數箇ノ選舉區ニ分ツコトヲ得ルト云フ箇條ガアルノデアリマス、其內容ヲ申シマスレバ、從來郡ヲ單位トシタ所ノ府縣會議員ノ選舉區ハ、府縣會議ノ決議ヲ經テ、內務大臣ノ許可ヲ受ケレバ、之ヲ數箇ニ分ツコトヲ出來ルト云フ箇條デアル、讀メリマスト何等ノ意味モ無イヤウデアリマス、府縣會議ノ實際ノ上ニ於キマシテ、此箇條ハ寧ろ現在ノ制度ヲ、惡化スルヨリ外ナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ク申シマスルト議論ノヤウデアルガ、少シク其事情ヲ申シマスレバ、元來選舉區ヲ細カニ分ケルト云フコトハ、要スルニ地方問題ヲ惹起スルト云フ弊ガ益、殖エテ來ルノデアリマス、郡ノ中デモ河ヲ以テ其利源トナス所モアレバ、山ニ依ッテ郡ヲ成シテ居ル所モアル、又海ニ依ッテ是等ノ業務ニ依ッテ、多クノ人口ヲ集メテ居ル所モアル、若シ之ヲ一郡ノ上ヨリ選出致シマスレバ、大體ノ利害ヲ考ヘテ、其上ニ是等ノ府縣會議員ガ、代表的ニ府縣會議ノ上ニ集テ議論スルノデアリマス、若シ斯様ニ分レマストキニハ、勢ヒ數箇町村若クハ有力ナル五六ノ町村ハ、其所ダケガ集テ一府會議員ナリ一縣會議員ヲ出スコト云フコトニナル、實際行ハレル上ノ利害ノ上ニ就テ、斯ノ如キハ徒ラニ府縣會議ニ於テ小ナル地方ノ問題ノ爲メニ騷擾ヲ惹起スル仲立トナルトモ、決シテ公平ナル結論ヲ得ル途ナイト云フコトハ分テ居ルノデアリマス、(拍手)現ニ昨年ノ臨時議會、本年ノ此帝國議會ニ、何故ニ斯ク毎日澤山雨ノ如ク議案ガ降リテ來ルカト云フト、是ハ要スルニ大選舉區ヲ小選舉區ト更ヘタ結果、各々片ズミタル所ノ地方ノ利害ヲ持出シテ、中央ノ此議場ノ問題ニスルト云フコトハ、自然是ガ起ルノデアル、如何ナル理想ノ人ト雖モ、其立場トシテ選バレル地方ノ爲メニハ、膝ヲ屈セザルヲ得ナイ今日狀態ニナッテ居ルノデアル、衆議院議員選舉區制改正ノ結果、斯ノ如クナッタコトハ、諸君自ラ此事ハ御了解ニナッテ居ルコト、思ヒマス、況ヤ府縣ノ上ニ於テ斯ノ如キ事ヲ爲スコトハ、暫ク黨略上之ヲ利用セストシテモ、其害ノ及ボス所ハドレダケ甚大デアルカト云フコトハ考ヘテ見ネバナラヌ、(拍手起ル)況ヤ府縣會議ニ於テハ、恐ラクハ中央政界ヨリモ一層所謂黨弊ト云フモノガ多ク、黨ノ力ト云フモノガ一方ニ偏スルノデアル、其場合ニ於テ郡ノ狀況ニ依ッテ、所謂黨派ノ消長若クハ黨略上、徒ラニ一郡ヲ數箇ニ分ケテ選出シテ、府縣會議員ヲ私スルト言フト少シシ語弊ガアルカ知ラヌガ、所謂製造スル爲ニ各選舉區ヲ分ツト云フコトニナッタナラバ、寧ろ今日ノ府縣會議ハ無キニ優ル結果ヲ得ルカ知レヌノデアリマス、何故ニ政府ハ第四條ニ一項ヲ加ヘテ、斯ノ如ク將來ニ弊害ノ起ルモノヲ御拵ニナッタカ、此點ニ就テ簡明ナル內務大臣ノ御答辯ヲ承リタイノデアリマス、(拍手起ル)第二ハ郡制ノ事デアリマス、荒川君モ色モ仰セガアリ、大口君モ、此事ニ就テハ有力ナル御質問ガアリマシタガ、私ハ此問題ニ就テ、最モ露骨ニ政府ガ今ノ郡制施行ト或法律施行ノ上ニ、行詰タ政策ノ結果デアルト云フコトヲ明白セラレンコトヲ望ムモノデアリマス、斯様ニ申スト、如何ニモ突飛ナ事ヲ申スヤウデアリマスガ、忘レモ致シマセヌ、大正八年春ノ議會デアリマス、道路法案ガ出テ、私モ當時審議ニ與シタ一人デアリマスガ、凡ソ道路法施行ノ上ニ於テ、徹底スベカラザルモノガ幾多アリマシタケレドモ、其中ニ郡道ナルモノ程徹底シナイ事柄ハ無イト當時認メタノデアリマス、荒川君モ言ハレタ通り、郡ナルモノハ收稅力ヲ有ッテ居ラヌ、郡會ガ決メレバ之ヲ町村ニ割當テ、町村ニハ所謂納稅ノ制限ガアル、郡會カラ澤山ノ金ヲ割當テ、來タ所ガ、町村自身ハ或ハ之ガ爲メニ教育費ノ幾分ヲ割イテ、教育ヲ廢シテモ郡費ヲ辦ジナケレバナラヌト云フ行詰タ結果ガ來ルノデアリマス、已ムヲ得ズ郡ノ賦課力ト云フモノハ最も少ナキ程度ニ行ハレル、無クモガナト言タ內務大臣ノ自由ハ、即チ此事ヲ意味シテ居ルノデアル、制度ノ罪デアル申セバ申スガ、畢竟道路法ノ上ニ郡道ナドヲ置イテ、此郡道ノ負擔ノ上ニ就テ必ズ政府ノ行詰タ、郡制廢止當テヨリノ理想デアルト申シナガラ、突然今日之ヲ御提出ニナッタハ、現內閣政策ノ行詰タノ結果、斯ノ如キ事ガ生ジタト私ハ斯ウテ了解致シテ居ルノデアル、此所デ承リタイノハ、郡制ヲ廢止シテ後ノ事デアリマス、私共ハ郡制ヲ廢シテ後ノ處分ガ最も善良ニ解決セラル、ナラバ、必ズシモ郡制廢止ニハ反對ヲシナイノデアリマス、有體ニ言ヘバ更ニ郡役所ヲ廢シテ貴ヒタイ、郡役所ヲ廢シテ、何カ此間ニ行政機關ノ運轉ノ上ニ就テ、特殊ナル方法ヲ設ケテ置キマシタナラバ、今日郡役所ガ徒ラニ中間ノ機關トナッテ用ヲ濫濫サセラルダケデアテ、毫モ郡役所ハ用ヲ機敏ニ爲スノ機關ニナラヌノデアリマス、ソレ故ニ郡制ト共ニ郡役所ヲ廢シテ貴ヒタイガ、郡制ヲ廢スル上ニ承リタイ事ハ、現在手ヲ著ケテ居ル所ノ教育、衛生——衛生ト云ヘバ主ニ避病院、教育ト云ヘバ或ハ特殊ノ學校、餘リ課程ノ高クナイ所ノ學校ヲ立ツテ居ルガ、一番困難ナノハ所謂郡道デアリマス、此將來ヲドウ爲サル積リデアリマスガ、之ヲ府縣費ニ引繼ガ積リデアルカ、町村ノ組合ニ負擔サセル積リデアルカ、之ヲ府縣ノ上ニ引繼ガナラバ私共ハ之ニ深ク反對ヲシナイガ、之ヲ町村組

合ニ負擔サセルト云フコトニナルト、元來今日ノ郡道ナルモノ、性質ヲ考ヘマス、道路法ノ規定ニ依テ、郡ノ中央カラ出發シテ或ハ港灣ニ行タトカ、或ハ停車場ニ行タトカ、色々ナ道路ノ著ケ方ガ道路法ニ決テ居ルガ、道路ヲ著ケル數箇ノ町村ガ、必ズシモ道路ト利害ヲ一ニシテ居ラヌ非常ニ厚薄ガアルカラ、之ヲ町村組合ノ上ニ入レルト云フ、必ズ今日ノ道路ト云フモノハ、恐クハ荒廢ニ屬スルモノガ多シ、ソレ故ニ郡制存置ノ上ニ於ケル郡道モ宜シクナイガ、郡制ヲ廢シテ後、此郡道ナルモノ、將來ト云フモノモ、頗ル是ハ考フベキモノデアルト私共ハ思フデアアル、ソレ故ニ是等ノ善後處分ニ就テ、政府ハドウ云フ御考ニナ、テ居ルカ、此點ニ就テ政府ノ御答ニ諒解ヲ得レバ、私ハ郡制廢止ニハ必ズシモ反對スベキデナイト思フテ居ルデアアル、以上申上ゲマシタ通りニ、郡制第四條及郡制ノ上ニ就キマシテ、私ノ疑ノ存シテ居ル點ニ就キマシテ、明快ナル御答ヲ煩シタイト思フデアリマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 床次内務大臣

○國務大臣(床次竹二郎君) 高木君ニ御答致シマスガ、

府縣制ノ第四條ハ此度ノ改正ニ依リマス云フ、選舉有權者ノ數ハ今日ノ約倍數ニナリマス、今日最モ困テ居ル事ハ、選舉費ノ多クヲ要スルト云フコトデアリマス、デソレ故ニ御承知ノ如ク現在府縣會議員ノ選舉區ハ、郡ヲ以テ選舉區ト致シテ居リマス、或ハ一郡一名ノ所モアリマスガ、一郡數名ヲ出シテ居ル所モゴザイマス、是等ニ於テハ、便宜郡内ニ選舉區ヲ設ケテ選舉スルト云フコトガ、或ハ適當デアリイカト考ヘルソレ故ニ是ハ縣ノ意ニ任セテ、選舉區ヲ設ケ得ルト云フコトニ致シタ方ガ宜カラウト云フ考デ、第四條ヲ設ケタ次第デアリマス、ソレカラ郡制廢止ノ結果、種々ノ事業ヲ如何ニ引繼處分スルコト云フコトニ就テハ、廢止案第二條ニ依テ御承知ヲ願フ次第デアリマスガ、只今ノ御尋ハ專ラ道路法施行ノ結果、郡道ナルモノガ出來テ居ルガ、ソレハ如何ニスルコト云フコトニ御質問ノ眼目ガ在リヤウニ思ヒマス、ソレハ郡道ハ將來准府縣道ニシテ、府縣知事ヲシテ認定管理セシメル、斯ウ大體ニ致シタナラバ、宜シカラウト云フ考ヲ持テ居リマスガ、或ハ其費用ハ府縣費ノ負擔トシテ、關係町村ニ一部ヲ分擔セシメルト云フヤウナコトモ宜カラウト思ヒマスガ、免モ角准府縣道ト云フヤウナコトニ致シテ處分ヲ致シタ宜シカラウカ、併シソレニハ何レ道路法ノ改正ヲ致サナレバナラス、大體ノ考ゲテ申上ゲテ置キマス(拍手)

○高木正年君 簡單デスカラ此席デ……
○議長(奥繁三郎君) 高木正年君

○高木正年君 前ノ府縣制第四條ノ事ニ就テ一應申上ゲマス、内務大臣ガ選舉人ノ増加ノ結果、其爲メニ幾分選舉區ヲ分ケタ方ガ選舉ノ手續ヲ減ズルデアラウト云フ御言葉ガアリマシタガ、是ハ分ケルモ分ケナイモ別ニ手數ニ變リハナイ、一郡役所ニ總テノ選舉人ヲ集メルトキナラバ、郡ノ大小若クハ廣狹等ニ依テ、數區ニ分ツト云フコトハ無論當然デアアルカモ知レマセヌガ、各役所ヘ投票ヲ集メルデアルカラ、候補者ハ便宜トスルデアリマスガ、候補者ノ便宜トスル所ハ、總テ一方ニ今申上ゲタ通り種々ノ弊害ガ起ル、此點ニ就テ的確ナル御答辯ガ無イヤウデス、併シ内務大臣ハ只今或ハ其方ガ便宜デアルト云フ御言葉ハ、第四條ヲ御決メニナタ上ニ、確タル御確信ガ無イト云フコトヲ、或ハト云フ御言葉ガ言ヒ表ハシテ居リマスカラ、此上私ハ追窮ハ致シマセヌ

○議長(奥繁三郎君) 井上孝哉君

○國務大臣(床次竹二郎君) 只今ノ御質問デモナクヤウデアリマスアレドモ、併シ條文ガ縣ハ選舉區ヲ設ケルコトヲ得「下ナ」テ居リマスカラ、或ハ「ト」云フ言葉ヲ使フハ當然ダト私ハ思フ(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 井上孝哉君

○井上孝哉君 府縣制改正ニ就キマシテ簡單ニ御尋ヲ致シマスガ、府縣制改正ノ機會ニ於キマシテ、現在ノ七ツノ府縣ニ於テ施行サレテ居リマス所ノ三部會制度ハ、之ヲ廢止セラレルノ御見込ヲ御持ニナ、テ居リマスカト云フコトガ伺ヒタイデアリマス、選舉法ガ改正ニナリマシテ、選舉權ガ擴張サレマシテ、適材ガ選出サレマシテモ、若シモ縣會ノ組織ニ於テ缺點ル所ガアリマスレバ、適當ナル決議ヲ得ルコトガ出來ナイデアラウト云フ遺憾ガアリマス、恰モ建築ニ於キマシテ、杉檜ノ良材ヲ用井マシテモ、其設計、其組立ガ惡カッタラバ、其建築ノ價值ハ頗ル少ナイコトニ歸著ヲ致シマセウ、今日ノ三部會制度ハ、明治十三年並二十四年ノ布告ニ於キマシテ決定メタル制度デアリマシテ、其當時ハ名古屋若クハ神戸、橫濱等ニ於キマシテモ、僅ニ六七万人、若クハ七八万人ノ人口デアデ、其當時其事情ニ於テ必要ガアデ、斯ノ如キ制度ガ設ケラレタモノデアルト存ジマスガ、爾來大ナル年所ヲ經テ、今日ノ事情ニ於キマシテハ、其設ケマシタ當時ノ理由ハ全ク消滅ヲ致シマシテ、今日ニ於テハ斯ノ如キ制度ハ不利ガアリマシテモ、利益ノ無イモノデアラウト存ジマス、諸般ノ制度ノ御改正ニ頗ル急ガレテ居リマス今日ニ於キマシテ、斯ノ如キ制度ハ全ク速ニ御廢止ニナル御見込ガアリサウナモノデアラウト信ズルデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 井上孝哉君(續) 一縣ノ經濟ガ三ツニ分ケラマシテ、縣會ガ三ツモアリマシテハ、洵ニ以テ窮富ナル狀態デアリマス、如何ニ議員ガ抱負ヲ持テ縣政ニ參與シヤウト思ヒマシテモ、此方ニ差支ヘ、此方ニ差支ヘ、殆ド議員ガ十分ナル才能ヲ用井ルノ頗ル窮乏ヲ感ジテ、總テノ議員ガ殆ド迷惑ヲ致シテ居ル狀態デアルト確信ヲ致シマス、當局モ之ガ爲メニ迷惑シ議員モ之ガ爲メニ迷惑スル、其迷惑ハ尙ホ忍ブベシト致シマシテモ、縣民ガ縣政ノ發達ノ爲メニ、大ナル遺憾ヲ免レナイデアラウト存ジマス、私ハ現在ノ三部會制度、即チ連帶ノ縣會アリ、市部會ノ縣會アリ、又郡部ノ縣會ガアデ、三ツモ縣會ガ一府縣ニアリマスコトハ、恰モ二人三脚ノヤウナ狀態ト存ジマス、市部ト云フ一人アリ、郡部ト云フ一人アデ、連帶ノ會議ト、市部會ト、郡部會ト三脚ガアルガ如ク形ヲ成シテ進マウトシテモ、思フヤウニ進マレズ、止マラムトシテモ意ノ如クナラズ、往々ニシテ未議ヲ復タ未議ヲニ終ルコトガ頻々ト行ハレテ居ルノハ、實ニ此三部會制度ノ結果デアリマイカト存ジマス、政府ニ於キマシテハ「何ダ其話ハ」ト呼フ者アリ、斯ノ如キ制度ハ一府縣ヲ一自治體ト認メマシタ所ノ主義ニ對スル、大ナル障害ヲ與ヘルモノデアルト御考ニナリマス、此邊モ重テ御伺ヲ致シマス

○議長(奥繁三郎君) 床次内務大臣

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答致シマスガ、此度ノ府縣制ノ改正ハ、選舉權ノ擴張並ニソレニ伴フ事ト併セテ、僅カナ小サイ事ニ就テ改正ヲ主トシテ金テ爾積リデアリマス、只今御話ノ如キ事ハ、確ニ論議スベキ一ツノ點デアリマス、レドモ、マダサウ云フヤウナ事ヲ吟味致シマシタナラバ外ニモゴザイマスガ、是ハ他日ニ致シタイ積リテ居リマス

○議長(奥繁三郎君) 是デ質疑ハ終リマシタ、右五案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマス

第六 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 右五案ヲ一括シテ、濱田國松君外二名提出ノ府縣制中改正法律案外六件ノ委員ニ、併セテ付託セラレントコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ニ御尋シマスガ、濱田國松君ノ案ハ既ニ撤回サレマシタガ……

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ニ御尋シマスガ、濱田國松君ノ案ハ既ニ撤回サレマシタガ……

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ニ御尋シマスガ、濱田國松君ノ案ハ既ニ撤回サレマシタガ……

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ニ御尋シマスガ、濱田國松君ノ案ハ既ニ撤回サレマシタガ……

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ニ御尋シマスガ、濱田國松君ノ案ハ既ニ撤回サレマシタガ……

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ニ御尋シマスガ、濱田國松君ノ案ハ既ニ撤回サレマシタガ……

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ニ御尋シマスガ、濱田國松君ノ案ハ既ニ撤回サレマシタガ……

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ニ御尋シマスガ、濱田國松君ノ案ハ既ニ撤回サレマシタガ……

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ニ御尋シマスガ、濱田國松君ノ案ハ既ニ撤回サレマシタガ……

○岩崎勳君 濱田國松君ノ撤回シタノハ、町村制ト市制
ダケト思フテ居リマス

○議長(奥繁三郎君) サウデスカ

○岩崎勳君 府縣制ハ撤回ニナテ居リマセヌ

○議長(奥繁三郎君) 居リマセヌカ—岩崎君ノ動議ニ
御異議ナシト認メマス

○議長(奥繁三郎君) 仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程
第七第八ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括シ
テ議題ニ供シマス、日程第七、産業組合法中改正法律案、
日程第八、住宅組合法案ヲ一括シテ第一讀會ノ續キヲ開
キマス、委員長福井三郎君

第七 産業組合法中改正法律案(政府提出)
報告書
一産業組合法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也
大正十年三月十四日
産業組合法中改正法律案委員長
福井 三郎
衆議院議長奥繁三郎殿

第八 住宅組合法案(政府提出)
報告書
一住宅組合法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也
大正十年三月十四日
住宅組合法案委員長
福井 三郎
衆議院議長奥繁三郎殿

第九 明治四十一年法律第三十五號中改
正法律案(政府提出)
報告書
一明治四十一年法律第三十五號中改正法律案(政府
提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也
大正十年三月十四日
明治四十一年法律第三十五號中改正法律案委員長
大石 大
衆議院議長奥繁三郎殿

第十 小田原電氣鐵道株式會社所屬軌道
經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發
行ニ關スル法律案(政府提出)
報告書
一小田原電氣鐵道株式會社所屬軌道經營廢止ニ對ス
ル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也
大正十年三月十四日
小田原電氣鐵道株式會社所屬
軌道經營廢止ニ對スル補償ノ爲
公債發行ニ關スル法律案理事
大石 大
衆議院議長奥繁三郎殿

○議長(奥繁三郎君) 仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程
第七第八ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括シ
テ議題ニ供シマス、日程第七、産業組合法中改正法律案、
日程第八、住宅組合法案ヲ一括シテ第一讀會ノ續キヲ開
キマス、委員長福井三郎君

マス、ソレニ對スル補償デアリマスノデ、委員會ハ屢、質問ヲ重ネマシタガ、殊ニ公債ノ利子ニ對シテ各派其將來ヲ慮リ、又今後補償ヲ與ヘル上ニ於テモ、非常ニ憂慮セラレタ點デアリマス、此利子支拂ニ對シマシテハ、政府ハ斯ク答辯ヲ致シタ次第デアリマス、公債ヲ發行シマシタル以後デナレバ、利子ヲ拂フコトハ不可能デアル、併ナガラ省線ガ運輸ヲ開始シタ結果會社ガ實際ニ於テ損害ヲ被ル場合ニ於テハ、ハレハ政府ニ於テモ調査ノ未考慮ヲ要スル次第デアル、謂ハバ損害ヲ被テ居ルコトヲ能ク調査シ、果シテ損害ヲ被テ居ルト見ル場合ニハ、政府ノ考慮ヲ要スルコト云フデアリマスカラ、會社ハ隨テサウ損害ヲ受ケルコトハ無イト云フ答辯ノ下ニ、本案モ一人ノ異議者ナク全會一致ヲ以テ可決シタ次第デアリマス、此段御報告致シマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○岩崎勲君 日程第九第十ノ兩案ヲ一括シテ直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長ノ報告通り可決確定アラント望ミマス
〔賛成々々ト呼フ者アリ〕
○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ異議ナシト認メマス、仍テ直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開キマス

明治四十一年法律第三十五號中改正法律案
第二讀會(確定議)
小田原電氣鐵道株式會社 所屬軌道經營廢止ニ關スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案
第二讀會(確定議)

○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト呼フ者アリ
○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ兩案ハ委員長ノ報告通り可決確定致シマシタ日程第十一、第十二ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括シテ議題ニ供シマス、第十一、市制中改正法律案、第十二、町村制中改正法律案ヲ一括シテ第一讀會ノ續キヲ開キ委員長ノ報告ヲ求メマス——田邊熊一君

第十一 市制中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

一市制中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十年三月十四日
市制中改正法律案委員長 田邊 熊一

衆議院議長奥繁三郎殿
市制中改正法律案中左ノ通修正ス
第十一條第二項中「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケ」ヲ「六
年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ」ニ改ム
第三十八條第一項第三號ヲ左ノ如ク改ム
三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
第二百二十五條中「直接市稅ヲ賦課セサル市ニ於テハ直接國稅ヲ標準ト爲シテ削ル

第十二 町村制中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書
一町村制中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十年三月十四日
町村制中改正法律案委員長 田邊 熊一

衆議院議長奥繁三郎殿
町村制中改正法律案中左ノ通修正ス
第九條第二項中「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケ」ヲ「六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ」ニ改ム
第三十五條第一項第三號ヲ左ノ如ク改ム
三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

○田邊熊一君 只今上程サレマシタル市制及町村制中改正法律案特別委員會ニ於キマス、經過ノ大要ト其結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、御承知ノ如ク本案ハ時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、地方ノ自治團體ノ圓滿ノ發達ヲ期セシガ爲メニ、御提案セラレタルデアリマス、ソレ故ニ委員會ハ政府ノ説明スル所ヲ諒ト致シマシテ、委員會ニ於ケル諸般ノ委託セラレタル調査スベキ事項ト切離シマシテ、特ニ本案ヲ審查シタルデアリマス、滿場ノ委員ハ地方制度ノ改善ニ關スル提案デゴザイマスガ故ニ、先程荒川君ノ御論旨ト少シ違ヒマシテ、各委員ハ虚心坦懷ニ全ク黨派心ヲ去リマシテ、私情ヲ捨テ、最も深切ニ最も丁寧ニ本案ヲ審查シタルデアリマス、併ナガラ本案ガ去ル八日上程セラレタル當日ニ於テ、

床次内務大臣ガ其大要ヲ説明セラレマシタルニ對シマシテ、砂田君ノ如キ、三木君ノ如キ、一騎當千ノ勇將ヲ首メト致シマシテ、數多ノ諸君ガ、交々其骨子ニ向テ質問セラレタルデアリマス、諸君モ御承知ノ通り、當時内務大臣ノ御説明ニ對シマシテ、長時間ニ亘ル此議場ノ質問應答デ大體御承知デアリマス、故ニ、時間モ切迫シテ居リマス、此議場ノ光景ニ顧ミマシテ、私ハ其内容ヲ紹介スルニ就テ、極メテ煩ヲ省キマシテ、唯ダ最も重要ナ問題トシテ現ハレマシタル數箇ノ質問要領ヲ、御紹介致シタイト思フデアリマス、ケレドモ、本案ハ地方自治ニ最も重要ナル關係アルモノデアリマス、故ニ、立法院トシテハ審議ノ際ニ斯ノ如キ事モアツクト云フコトヲ御紹介スルコトモ、必ズシモ無用ニ非ズト信ジマス、故ニ、數分間御清聴ヲ汚シタイト思フデアリマス、先ヅ第一選舉權ノ擴張ニ對シマシテ、能力主義ヲ廢シタル理由如何、勞働階級ノ智識ガ相當ニ發達シテ居ルコトヲ認メナガラ、内務大臣ハ此強キ選舉權ノ要求ヲ容レザリシ理由如何、之ニ對シマシテハ、政府ハ今日ノ時勢ニ於テハ、急激ノ變化ヲ避ケネバナラスノデアル、若シ急激ノ變化ヲ避ケナカラナラバ、今日マデ圓滿ニ發達シ來リマシタル所ノ自治制度ニ、幾分ノ動搖ヲ來シハセヌカト云フ憂ガアルデアリマス、故ニ、他日サウ云フ機會ガアルデアラウガ、今日ノ場合、マダ其程度ニ同意スルコトニハ行カヌト云フコトデアリマス、次ニ納稅ノ條件ニ關シテハ、國稅主義ヲ廢シマシテ、直接市町村稅ニ改メマス、選舉權ノ擴張シテ有權者ガ約五割ヲ増シ、即チ二百五十万人増スコトガ出來ルデアル、政府ハ今日ノ場合先ヅ此程度ニ於テ擴張シテ止ムル積リデアル、斯ウ云フ答デアリマシタ、次ニ等級選舉制度ヲ廢シマシテ——即チ原則トシテハ町村ハ廢シテ、特別ノ事情アルモノハ、内務大臣ノ下ニ之ヲ許スト云フコトニナリマシタルデアリマス、市ニ於テハ三級ヲ二級ニ改メタルデアリマス、大分此事ニ就キマシテハ、委員會ニ質問ガ起キマシタ、其趣意ハ若シ文化ノ程度ガ發達シテ居ルニ從テ階級ヲ設ケザルモノナラバ、市ニ設ケナイノガ順當デアル、町村ニ廢シテ市ニ廢シナイト云フコトハ——文化ノ程度ノ進デ居ル市ニ廢セスシテ、町村ニ廢スルト云フコトハ矛盾デナイカ、又若シ此制度ガ完全ニ市モ廢シ町村モ廢スト云フコトナラ格別デアルケレドモ、町村ハ原則トシテ廢シテ市ニ廢シナイト云フコトハ、ドウシテモ本末ヲ誤ルモノデアルト云フコトノ、中ニ嚴シイ御質問デアリマシタ、併ナガラ政府ハ矢張事ニ對シマシテ、先ヅ原則トシテハ此場合町村ニ廢シ、市ハ三級ヲ二級ニ進メルデアル、併シテ此階級ノ即チ納稅ノ關係ノ上ニ於テ、著シク一級ノ人員ガ多クナル結果デアルガ故ニ、今日ノ場

合ハ此程度ヨリ政府ハ同意スルコトハ出来ナシト云フ言明
アリカニシテ、次ニ獨立ノ生計ト云フモノハ如何ナルモノデ
アルカニシテ、對シテ政府ハ、自己ノ經濟ヲ以テ生活ヲ營
ム者アルト云フ定義ヲ與ヘタノデアリマス、是ハ簡單明瞭
デアリマス、其次ハ直接市町村稅ニ於テ各々異ルモノガ多
イガ、甚ダ不公平デハナシカ、政府ハ之ヲ如何ニ處理スル積
リデアアルカト云フ質問ニ對シテハ、實施ノ際ニハ間接稅
等モ色々大藏當局ト交渉シテ整理シテ、全國成ベク統一ス
ル積リデアアルト云フ答ヲ得タノデアリマス、次ニ戶數割ノ賦
課標準ニ就テハ政府ハ考慮シ、富豪ト下級民トノ間ノ輕重
ノ調和ヲ圖ル意思ハ無イカ、之ニ對シテ政府ハ是亦大藏當
局ト協議ノ上、決定スルコト云フ方針デアアルコトヲ答ヘマシタ
選舉人名簿ハ大ナル市ニ在リテハ、到底二十日間ノ期間ニ
ハ調製出來難キ、實際上困難デアアルガ、政府ハ此期間ヲ
延長スル意思ハ無イカト云フ御質問モアリマス、又餘リニ
長キニ失スルカラ、短クシテハドウカト云フ意見モアリマス
ガ結局政府ハ短シ長シト云フ程度ガアルカラ、此程度ガ適
當デアアルト云フ挨拶ヲ受ケタノデアリマス、次ニ議員定數ガ
三分ノ一ノ缺員ノ場合ニ、始メテ補闕選舉ヲ行フノデア
ルガ、是ハ自治代表ノ精神ニ反シハナシカト云フ質問ガ出
マシタ、答ヘテ政府ガ申シマスルニハ、若シ必要ヲ感ズルトキ
ハ、市町村會又ハ監督官ガ其選舉ヲ命ズルコトガ出來ルガ
故ニ、却テ此方ガ自治精神ニ副ウテ居ルモノデアアルト云フ御
答ヲ得マシタ、次ニハ父子兄弟ノ緣故アル者ガ同時ニ當選
シタル場合ニハ、投票ノ少ナキ者ヲ辭シシムル規定ニナッテ
居リマスルノガ、是ハ寧ろ當選人ノ自由意思ニ任シテハドウ
デアアルカ、此質問ニ對シテハ、現狀ニ在リテハ、當選人ハ何
レモ希望者ガ當選シタモノト推定スルガ故ニ、寧ろ少數ノ投
票ヲ辭セシムルガ適當デアアルト云フ答ヲ得タノデアリマス、次
ニ市參事會ノ任期デアリマスルガ、之ヲ短クスル意思ハ無イ
カ、政府ハ今日ノ場合府縣制ノ如ク一年交代ト云フコト
ハ、市參事會ニ於テハ弊害ガアリマスルガ故ニ、之ニ同意ス
ルコトガ出來ナシト云フ答辯ガアタノデアリマス、其他町村
會議長ヲ、市會ノ如ク町村長ニ其職ヲ執ラシメズシテ、議員
ヨリ公選シテハ如何ナモノデアラウカ、又町村長ヲ公選スル
意思ハ無イカ、其他選舉施行ニ關シテハ、六十日前ノ
準備ノ要ガアテ、四月一日ト假定シタ場合ハ、六月一日以
後ニ選舉ヲセラレモノデアアルト云フ、選舉實施ノ方法ナド
ノ御答ガアリマス、更ニ北海道ニ對シテハ、町村制ヲ實施
スル意思ハ無イカ、之ニ對シテハ區ニ對シテハ市制ヲ行ヒマ
スルケレドモ、町村ハ其程度ニ達シナシト云フ御答ガアタノ
デアリマス、大體ハ右ノ如クデアリマス、最後ニ町村條例
ヲ以テ等級選舉存置ノ申請ノアツタ場合ニハ、成ベク內務

大臣ハ地方自治ノ精神ヲ尊重致シマシテ、認可スル方針デ
アルト云フコトヲ言明致シタノデアリマス、右ノ如クニシテ質
問ハ終リマシタガ、之ニ對シテ修正案ガ出タノデアリマス、此
修正案ハ既ニ諸君ノ御手許ニ提出シタアリマセウガ、市制
第十一條第二項中「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケ」ヲ「六
年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ」ニ改メタノデアリマス
第三十八條第一項第三號ヲ左ノ如ク改ム、即チ三ノ「禁
錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ」ト云フコトニ改メタノデア
リマス、此第十一條ノ修正ノ意味ハ、禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ
受ケレバ直チニ公民權ヲ失ヒマシテ、公民ヲ資格ノ要件ト
スル府縣會議員、市町村會議員等ハ其職ヲ失フコトニナル
ノデアリマス、是ハ衆議院選舉法ノ確定判決ノ後ニ失格ス
ルハ合法的ノモノガ適當デアアルト云フノ修正意見ガ出タ
ノデアリマス、更ニ第三十八條第一項第三ノ修正ハ、右同様
ノ理由ニ依リマシテ、議員ノ權利ヲ尊重スルコトニテ、精神ニ
改メヤウト云フノデアリマス、次ニ第二百二十五條中「直接
市稅ヲ賦課セサル市ニ於テハ其ノ直接國稅ヲ標準ト爲シ
ト云フコトハ是ハ割利ノデアリマス、即チ市制第九條末項ノ
「市稅ヲ賦課セサル市ニ於テハ市公民ノ要件中市ノ負擔分
任ニ關スル規定ヲ適用セス」ト云フコトハ割除致シマシタガ
ソレハ現在市稅ノ賦課ナキ市ハ一モ無イガ故ニ、將來ニ斯
ノ如キ市ハ無カルベキコトヲ信ジマシテ、割除スルコトニ致シ
タノデアリマス、町村制ノ第二項中「禁錮以上ノ刑ノ宣告
ヲ受ケ」ヲ「六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ」ト改
メマシタ、第三十五條ノ第一項第三號ヲ「禁錮以上ノ刑ニ
處セラレタルトキ」ト云フコトニ改メタノモノ、前同然ノ精神デ
改メタノデアリマス、此他討論ニ移リマシテ政府原案ヲ總テ
ハ可決致シタノデアリマス、之ニ對シ國民黨ノ大口君ヨリ
修正案ガ提出サレマシテ、小山松壽君ノ贊成ガアリマシタ
ケレドモ、少數ヲ消滅シタノデアリマス、右大要ヲ御報告致
シマス、願クハ諸君ノ御贊成ヲ請ウテ通過センコトヲ希望致
シマス（拍手起ル）

○議長（奧繁三郎君） 此兩案第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ
御諮リ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奧繁三郎君） 第二讀會ヲ開クニ異議ナシト認メ
マス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 兩案共一括シテ直チニ第二讀會ヲ開カレン
コトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長（奧繁三郎君） 岩崎君ノ勸議ニ御異議ナシト認
メマス、仍テ兩案ヲ一括シテ直チニ此第二讀會ヲ開キ、議
案全部ヲ議題ト致シマス

市制中改正法律案 第二讀會

町村制中改正法律案 第二讀會

○議長（奧繁三郎君） 此場合ニ於キマシテ、小山松壽君
外諸君ヨリ兩案ニ對スル修正案ガ提出サレテ居リマス、修
正案ノ少數辯明ヲ許シマス、黑金泰義君

○黑金泰義君 只今議題ニ供セラレマシタ市制町村制ノ
改正案ハ、如何ニモ委員長ノ御話ノ如ク、國家ノ基礎ヲ固
メマスル所ノ最重要ナル法律案デアリマスルガ故ニ、吾々
ハ無論政黨派ノ觀念ヲ離レ、慎重ニ審議ヲ致シマシタガ、
不幸ニシテ原案ニ贊成スルコトハ出來マセヌ隨テ國民黨ノ
諸君並ニ憲政會ノ吾々同志ト共ニ、茲ニ修正案ヲ提出スル
次第デゴザイマス、此修正案ハ昨日事務局マデ提出致シマ
シタケレドモ、時間ノ關係上、マダ御手許ニ廻ラヌト云フコ
トデアリマス、少シ詳細ニ互ルカモ知ラセヌガ、御辛抱
ノ程ヲ願ヒマス（謹聽ト呼フ者アリ）市制改正案ノ第九條
第一項中ニ於テ、貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受ケタル後二年
ヲ經過スルニアラザレバ、公民權ヲ得ラヌト云フ規定ニナ
テ居リマス、是ハ私共ハ一年ニ短縮致シタイト思ヒマス、又
同ジク同條ノ中ニ於キマシテ、公民權ヲ有スル住民ガ、其市
ニ於テ二箇年居住シナケレバ公民權ヲ得ラヌト云フコ
トニナッテ居リマスルガ、是ハ私共ハ六箇月ニ短縮シタイト思
フノデアリマス、又同條ニ於キマシテ、改正案ニ依リマスレバ、
第四號三二一年以來其市ノ直接市稅ヲ納ムル者ト云フコトニ
ナッテ居リマス、一豫メ御斷リスルコトヲ落シマシタガ、私共
改正案ニ要シマスル點ハ、市制町村制ヲ通ジテ根本ノ主義ニ於
テハ同一デアリマス、隨テ市制町村制ヲ區別セズニ同一ナル
所ハ同一ニ論ジテ參リマス積リデアリマス、左様御承知ヲ
願ヒタウゴザイマス、此二年以來其市ノ直接市稅ヲ一町村
稅ヲ納ムル者ヲ以テ市町村ノ公民ノ資格トスルコトニ規定サレ
マシタガ、吾々ハ之ヲ絕對ニ除去スルノ希望ヲ持ッテ居ルノデ
アリマス、最も改正案ニ於キマシテハ、公民權ノ擴張ヲ圖ラ
レタル結果ト致シマシテ、今日迄市稅ノ外ノ市町村ノ負
擔ノ外、直接國稅並ニ地租ト云フ條件ガアリマシタノヲ、地
租及直接國稅ノ條件ヲ除去セラレタガ爲メニ、五百萬人ノ
公民者ガ之ガ爲メニ七百五十萬人ノ公民者ニ其數ヲ増
加シタト云フコトデゴザイマス、併ナガラ私共ガ最も公民權
ノ擴張ヲ希望スルコト云フコトハ、申迄モナク今日ノ最も熱心
ナル所ノ希望デゴザイマスルケレドモ、私共ノ希望スル所
ハ、單ニ納稅ニ根據ヲ置クノデアリマセヌ、又只今ノ政府
ハ、改正案ノ如ク、何處迄モ納稅主義ヲ確守スルコト云フコト
ハ、甚ダ私共ノ取ラザル所デアアルノデアリマス、何ガ故ニ市町
村制ニ於テ此納稅主義ヲ公民權ノ資格ニ置カレタカ、全部

何故ニ之ヲ除去セラレナカタクト云フコトヲ政府當局ニ
向テ質問致シマシタ所ガ、政府當局ノ答ハ、先刻委員長ノ
御話ノ如ク、先ヅ今日我國ノ現代ニ於テハ、此邊ガ適
當デアラウト思フト云フ御説明デアリマシタ、又モウ一ツ
理由ハ、今日市町村ノ事業ハ、多ク財政ニ關係シテ居ルモ
ノデアリ、然ラバ自治ノ責任觀念上、納税ヲ基礎トシテ其
資格ヲ公民權ノ條件ニ定ムルコトハ、又適當ト思フト云フ
コトノ御説明ニ過ギナイデアリマス、納税主義ヲ選舉權ノ
條件、若クハ公民權ノ條件ニスルト云フコトハ我國今日ノ
狀勢ニ適セナイト云フコトハ、吾々同士ガ今日迄何度トナ
ク此壇上ニ於テ説明シ盡シ來タ所デゴザイマスルガ故ニ、
私ハ此點ニ於テ最早言葉ヲ加フルノ必要ガ無イト存ズルノ
デアリマス、然ルニモ拘ラズ政府ハ今回市町村制ノ改正ヲ
爲スニ方リマシテ、尙且此納税主義ヲ採ラレマシタト云フコ
トニ就テハ、實ニ此現時ノ狀勢ヲ理解セラレザルモ亦甚シキモ
ノデアリマシテ、實ニ其基礎論據トセラル、所ノ主張ヲ吾々
ハ疑ハザルヲ得ヌデアリマス、此直接市町村稅ヲ公民權ノ
條件トスルコトハ、今日ノ狀勢ニ於テ適當デアリ——適當デ
アルカ適當デナイカト云フコトハ、是ハ各、其人ノ見ヤウニ
存ジマス、併ナガラ市町村ノ今日ノ事業ヲ財政ニ關係スル
コトガ多イト云フ所ノ點ニ至リマシテハ、私共一言シナケレ
バナラヌコトデアルト思ヒマス、何故ナラバ、今日市町村ノ事
業ハ、財政ニ關係スルモノ、ミナナク云フコトハ申迄モナ
イ、但シ財政ニ關係スル事ガ多イダケデアッテ、分量ノ差デア
テ、決シテ市町村ノ事業ハ財政ニ關係スルモノ、ミナナクハ
デアリマス、又市町村ノ財政ノ根原ハ、直接市町村稅デ
アルカト申シマスレバ、今日ハ決シテサウデアリマセヌ、間接
稅ノ——間接稅ヲ以テ其二三分ヲ占メテ居ルト云フコトハ、
今日各市町村ノ狀勢デアラウト思ヒマス、果シテ然ラバ此
市町村——直接市町村稅ノミヲ以テ公民權ノ條件トスル
ト云フコトハ、是亦甚ダ穩當ナラザル處置デハナイカト存
ズルノデアリマス、今日我國ノ各社會ニ於キマシテ、選舉權ノ
擴張ニ就テハ、最も熱心ナル所ノ要求ガアルノデアリマス、殊
ニ我ガ資產無キ智識階級及勞働階級ニ於テハ、最も熾烈
ナル所ノ要求ガアルノデアリマス、然ルニ今日此市町村制ヲ
改正セラル、ニ當リマシテ、直接市町村稅ヲ此條件トセラ
ル、如キコトニ至リマシタナラバ、此資產無キ所ノ知識階
級並ニ勞働者ノ如キニ至リマシテハ、今日所得稅ヲ納メザ
ル限リハ、全く此公民權ヲ有スルコトガ出來ヌ結果ニナルノ
デアリマス、果シテ斯ノ如キニ至リマシタナラバ、今日ノ最も
熱心ナル所ノ要求——之ヲ要望スル所ノ各階級ガ、如何ニ
失望スルコトデアリマセウカ、又今日ノ時勢ニ鑑ミマシテ、是

等ノ階級ニ對シテ此公民權ノ擴張ヲ圖ラナイト云フコトニ
至リマシテハ、實ニ國家ノ前途ニ對シテモ憂フベキ次第デア
ルト私共考ヘルノデアリマス、殊ニ甚ダ奇怪ナル所ノ現象
ヲ來シマスルノハ、此改正案ガ直接市町村稅ト云フコトヲ
條件ニ致シマシタ結果トシテ、今日車挽、或ハ馬車挽、或ハ
遊藝稼入幫間、斯ノ如キ者ハ公然タル所ノ公民權ヲ有スル
ノデアリマス、而シテ今申上ゲタ學校ノ教員ノ如キ、或ハ銀
行會社ニ勤ムル人ノ如キ、所謂資產ナキ所ノ階級ニ屬スル
智識階級ニ屬スル人ハ、全く公民權ヲ得ルコトガ出來ナイ、
之ニ反シテ今申上ゲタ加キ者ガ公民權ヲ得ルト云フヤウナ、
實ニ奇怪ナル所ノ現象ヲ來スデアリマス、斯ノ如キ事ハ全
ク納税主義ヲ固執セラレタル所ノ結果デアリマシテ、時代ノ
要求ニ伴ハザル、最も不都合ナル所ノ事柄ト吾々ハ存ジマ
シテ、如何ニ熟慮致シマシテモ、此改正案ニ賛成スルコトガ
出來マセヌ爲メニ、改正案ノ第一項ノ第四號ヲ削除スルコ
トニ致シタ次第デアリマス、(簡單ト呼ビ、詳シクヤレト呼
フ者アリ)重要ナル問題デアリマス、暫ク御辛抱ヲ願ヒマ
ス、次に改正案ノ第十五條ニ於キマシテ「選舉人ハ分チテ
二級トス」所謂今日ノ選舉ノ等級制ヲ又復採用セラレタノ
デアリマス、併ナガラ政府ノ意見ヲ聽キマスルニ、選舉ニ對シ
テ階級ヲ存置スルト云フコトハ、全體ニ於テハ是ハ撤廢スベ
キモノデアルト云フコトノ政府ノ御意見デアリサウデアリマス、
併ナガラ今俄ニ全部之ヲ撤回スルト云フコトハ、甚ダ其當
ヲ得ザルモノト思考スルガ故ニ、先ヅ漸進主義ヲ執リテ斯ノ
如ク致シタノデアリ、即チ市町村制ニ於テハ階級ヲ全廢シ、市
制ニ於テハ現在三級ナルモノヲ一級廢シテ二級ト爲シタト
云フコトデアリマス、成程數ノ上カラ申シマシテ、二級ノモノ
ヲ全廢シ、三級ノモノヲ一級ニスルト云フコトハ、漸進デアリ
マセウケレドモ、是等ハ私共ニ於テ如何ニシテモ今日ノ時
勢ニ於テ賛成ヲ表スルコトノ出來ナイ點デアリデアリマス、
今日ノ現行法ニ依リマスル、市ニ於ケル所ノ一級ノ選舉人
ガ、(三級ノ選舉人ニ對シテハ百倍、二百倍、甚シキハ一千倍
ニ對スル所ノ強キ所ノ選舉權ヲ有シテ居ルノデアリマス、又
町村ニ於キマシテハ、恰モ一ニ對スル所ノ六ト云フヤウナ割
合ニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ今回政府ノ改正セラレマ
シタ案ニ依リマスレバ、全體ヲ通ジテ一ト三トノ割合デア
ルト云フコトデアリマス、今迄ノ不均衡ナル所ノ約合
ニ於テハ、大ニ緩和サレタルコトハ勿論デアリマス、併ナガラ
尙ホ今日ノ實際ノ狀況ヲ見マスルニ、此改正案ニ依リマシ
テモ、尙ホ一級ノ一ハ二級ノ五ニ對シ、若クハ二級ノ一ハ
三級ノ十ニ對スルコト云フヤウナ市モ、今日ニ於テハ尙ホ現
存スルコトハ、統計ノ示ス所デアリマス、吾々ノ元來要求致
シマス所ノモノハ、選舉權ノ擴張ハ勿論デアリマスルガ、擴張

ノミデアリマセヌ、選舉權其モノヲシテ平等ナラシムルト云フ
コトガ、又吾々ノ希望ノ一ツデアリマス、階級制度ハ(モウ五
時半ニナリマス)成ベク簡單ニ願ヒマス「ト呼フ者アリ」或時
代ニ於キマシテハ、勿論此社會ノ階級間ニ於テノ節制ニ力
ノアツコトデアラウト存ジマス、政治思想ノ發達セザル間ニ
於テハ、或場合ニ於テハ、資產階級ヲ保護スルト云フヤウナ
必要モアツデアリマセウカ、最早我國ノ今日ノ現狀ニ對シ
テ、斯ノ如キ必要ハ認メマセヌノミナラズ、現ニ町村ニ於テ今
日此階級選舉ノ制ヲ廢シテ實行シテ居ル所ノモノハ、二十
三箇町村アリマス、其二十三箇町村ニ對シテ內務省ニ於
テ地方長官ノ意見ヲ徵セラレマシタル——吾々ニ與ヘラレタル
參考書ニ依リマスル、其弊害ノアル所ノモノト云フモノハ、
一ツモ無イノミナラズ、之ニ反シテ資產階級ノ橫暴ヲ防ギ、
或ハ資產階級ト其下ノ階級トノ間ノ杆格ヲ取テ、洵ニ
結構デアルト云フヤウナ總テノ復命ニナッテ居ル、現ニ今日
ト雖モ、各町村ニ於テ現ニ斯ノ如キ有様デアリマス以上ハ、
今日全部ニ對シテ之ヲ撤廢スルト云フコトハ、何ノ弊ガアリ
マセウカ、私共ハ其利益ヲ見ルノミデアルト存ズルノデアリマ
ス、又……(能ク判リマセヌ、今少シ大キイ聲デ願ヒマス)ト
呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 靜ニ

○黑金泰義君(續) 今日ノ此改正ハ時勢ノ進運ニ伴ヒ、
文化ノ進歩ニ從テ此改正ヲシタト云フコトデアリマス、果シ
テ然ラバ町村ノ市ニ對スル文化ノ程度ハ如何デアリマセウ、
又其他社會ノ諸般ノ程度ガドナラガ進歩シ、ドナラガ後レ
テ居リマセウカ、今更申迄モナイコトデアリマス、然ルニモ拘
ハラズ、漸進主義ト稱シテ二級ノモノヲ全廢シ、三級ノモノ
ヲ二級トスルガ漸進ダト稱シテ、斯ノ如キ進歩シタル所ノ市
ニ對シテハ階級制度ヲ實行シ、進歩セザル所ノ町村ニ對シ
テ此制度ヲ取テラレタト云フコトハ、殆ド是ハ其遺方ニ於
テ冠履轉倒ノ行爲ト謂ハナケレバナラヌト存ズルノデア
ル(拍手起ル)吾々ハ斯ノ如ク時勢ニ伴ハザル、寧ロ時代錯誤
トモ謂フベキ所ノ改正、舊時ノ思想ノ存續ニ向テハ、何處
マデモ賛成スルコトハ出來ヌデアリマス(拍手起ル)次に第
十八條ニ於キマシテ——市制ノ第十八條ニ於キマシテ、第
二項ノ第四號及第五號ヲ削リタイト云フコトデアリマス、是
ハ今回ノ政府ノ改正案ニハ現行ノ舊存置シテアリマス、併
ナガラ吾々ニハ之ヲ除去スルコトノ希望ヲ持ッテ居ルノデア
リマス、ソレハ申迄モナク神官、神職、僧侶其他諸宗ノ教師、
並ニ小學校教員ノ被選舉權デアリマス、折角今回市制町
村制ノ改正ヲ企テ、公民權ノ擴張ヲ圖ラレタニ拘ラズ、此在
來ノ規定ニ向テ何等改正ヲ加ヘラレザリシ政府ノ意圖ハ、
ドウデアラカト云フコトヲ御尋ネ致シマスレバ、是ハ獨リ市

制町村制ノミナラズ、他ノ法律ニモ關係シテ居ルノデアリマス、郡制、府縣制、並ニ衆議院議員ノ選舉法ニモ關係シテ居ルノデアリマスルガ故ニ、是ハ先ヅ今日ニ於テハ手ヲ觸レズニ殘シタト云フコトデアリマス、成程此規定ハ他ノ法律ニ存置シテ居リマスケレドモ、此總テノ法律ヲ一時ニ改正スルト云フヤウナ時期ガ何時參リマセウカ、吾々、衆議院議員ノ改正案ヲ提出致シマシテモ、其改正ノ目的ヲ達スル機會ガ今日マデ得マセヌノデアリマス、況ヤ其諸法律ガ總テ同一ニ改正サレト云フ時期ノ來ルベキヲ見ルコトハ出來マセヌ、殊ニ今日ニ於テハ折角市制町村制ノ改正ヲ企テラレル以上ハ、先ヅ以テ第一著ニ此點ニ於テ著手サレテモ、他ノ法律ノ權衡ヲ得ナイト云フ理論ハアルマイト私ハ存ズルノデアリマス、又此規定ハ元來何ガ故ニ斯ノ如キコトハ起ルカト申シマスレバ、是ハ恐ラク外國ノ法律ヲシテ其儘翻譯致シテ來タ所ノ結果デアリト申スヨリ外仕方ガナイノデアリマス、如何トナレバ我國ノ歷史上ニ於テ、神官神職若クハ僧侶ノ如キ、政治上ニ關シテ如何ナル弊害ヲ事ガアリマセウカ、是ハ決シテ歷史上ノ事實ニ基キタモノニズ非シテ、全ク外國ノ法律ヲシテ其儘用井テ結果ニ總ギナイノデアリマス、殊ニ其本家本元タル所ノ外國ニ於テ、總ギ其點ニ於テ改正ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、獨リ之ヲ襲用致シマシタ我國ニ於テ之ヲ存置スルコト云フコトハ、甚ダ世界ニ對シテ時代後レナル面目ヲ失スル次第デアリマセヌガ、(簡單)ト呼フ者アリ)又小學校教員ノ如キモノハ、是ハ神官僧侶ト道伴レニ規定サレタモノデアラウ存ジマスル、別ニ理由ノアツタ事デアリト存ズルノデアリマス、又是等ノ人達ガ其職業上カラ考ヘテ見マシテモ、社會ノ人心ニ對シテ一部ノ勢力ヲ有シテ居ルト云フコトハ申迄モナイ事デアリマスルガ、今日ノ政治思想ノ發達シタル場合ニ於テ、是等ノ人ニ向テ被選舉權ヲ與ヘナイト云フコトハ、何等理由ノ無イモノト私共ハ認メテ居ルノデアリマス、況ヤ今日ニ是等ノ人達ガ一般市民——市町村公民ト何等ノ異ナル所ノ負擔ヲナシテハ居リマセヌ、總テノ點ニ於テ同一ノ負擔ヲナシテ居ルニ拘ラス、又時ト致シマシテハ、是等ノ人ノ力ニ依テ今日ノ國民思想ノ善導ヲ圖リ、政府當局トシテモ常ニ之ヲ圖デ居ラレルノデアリマス、又是等ノ人ノ努力ニ俟ツト云フコトハ、最も必要デアルト私ハ感ズルノデアリマス、斯ノ如キ事デアリマスルナラバ、單ニ負擔ハ其人ニサセ、又殊ニ此社會ノ爲メニ盡力ヲサセルト云フ上カラ考ヘマシテモ、之ニ被選舉權ヲ與ヘズシテ區別スルコト云フヤウナコトハ、甚ダ理ニ於テ適セザル所ノ事柄デアルト存ジマス、寧ろ口進シテ是等ノ人ニ被選舉權ヲ與ヘ、此活世界ニ携ハシメタナラバ、總テノ點ニ於テ、彼我ノ間ニ於テ利益スル所少カラザルモノト存ジマスル爲メニ、是ハ

折角改正ノ序デアリマスルカラ、是非此條文ヲ削除シタイト云フコトノ意見ヲ以テ、修正ヲ加ヘタ次第デアリマス(拍手起ル)次ニハ先刻委員長ノ御話ガアリマシタガ、現行ノ法律ニ依リマスレバ、市町村ノ議員ニシテ議員ノ生ジタ場合ニ於テ、其議員ガ三分ノ一二違セザル迄ハ補選舉行ハザルト云フコトガ原則ニナシテ居リマス、併ナガラ私共之ヲ修正シテ、議員ガアツタナラバ直チニ議員ノ選舉ヲ行フト云フコトヲ原則トシタイト存ズルノデアリマス、申迄モナク議員ハ市町村民ノ代表者デアリマス、其代表者ヲ關イタト云フ場合ニ於テハ、之ヲ補充スルコト云フコトハ、原則トシテ適當デアルト自分ハ感ズルノデアリマス、併ナガラ之ヲ嚴正ニ議員ノアル度毎ニ選舉スルコト云フコトニ致シマシテハ、或ハ事情ノ許サザル所モアラウカト存ジマシテ、之ニ對スル所ノ除外例ヲ設ケテ、修正ヲ致シタイト存ズルノデアリマス、又次ニ吾々ガ修正ヲ加ヘ行ツタコトニナシテ居ルノデアリマス、是モ先刻委員長ヨリ御説明ガアリマシタガ、政府當局ニ於テハ、現行ノ儘ニシテ然ルベシト云フ事デアリマスルケレドモ、今日市町村ノ事務ノ實際ヲ見マスレバ、決シテ此選舉人名簿ト云フモノハ、今日以前ノ法律ノ規定ノ如ク、選舉期日ヲ基礎トシテ、其六十日以前ニ於テ選舉名簿ノ作成ニ著手スルト云フヤウナ事ハ、中々煩瑣ニシテ行ハレル事デハナイノデアリマス、故ニ今日市町村ノ實際ヲ見マスレバ、常ニ此點ニ於テ加除訂正ヲ加ヘテ、サウシテ其時ノ來ル場合ニ於テ町村ニ合フヤウニシテ居ルコト云フコトハ、今日ノ優良ナル市町村ノ狀況デアリノデアリマス、果シテ然ラバ是ハ年々一圓確定ノ作成スルコト云フコトガ最も必要デアルト存ジマスルノミナラズ、私共ガ今申上ゲタ——前段ニ申上ゲマシタ議員ノアツタ場合ニ、補選選舉ヲ隨時ニ行フト云フコトノ趣旨ヲ貫徹スル爲メニ、是ハ確定ノ作成スルコト云フコトノ必要ヲ生ジタ爲メニ、之ヲ改メメント欲スルノデアリマス、ソレカラ名譽職參事會員ノ任期ハ、今日ハ議員ノ任期ノ通リト云フコトニナシテ居リマス、併ナガラ是ハ府縣議會ノ規則ニ依リマスレバ、其任期ガ一年ト云フコトニナシテ居リマス、一年ト云フコトハ甚ダ短キニ失シマスルシ、又四年ト云フコトハ長キニ失スルト存ジマシタ爲メニ、此改正ニ伴フテ是ハ二年ト云フコトニ改メタイト存ズルノデアリマス、ソレカラ現行法ノ第二十九條ニ於キマシテハ「投票ノ拒否及效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス」ト云フコトニナシテ居リマスガ、是ハ他ノ法律ニ依リマシテモ、選舉立會人ノ意見ヲ聽キ、選舉長之ヲ決スト云フコトガ適當デアラウト存ジマシテ、其趣旨ニ依テ改メタイト存ズルノデアリマス、尙ホ分會ノ場合ニ於テモ、分會長之ヲ決スト云フコトニ改メタイト存ズルノデアリマス、以上ハ市

制町村制ヲ通ジマシテ改正ヲ要スル所ノ點デアリマス、又町村制ニ於キマシテハ、尙ホ此外ニ一箇條ヲ加ヘタイト存ジマスルノハ、今回ノ政府ノ修正案ニ依リマスレバ、北海道ノ區ニ向テハ、内地ノ市制ヲ適用スルコトニナシテ居リマス、然ルニ北海道ノ町村ニ對シテハ、此町村制ヲ施行セヌコトニナシテ居リマス、所ガ北海道ノ今日ノ狀況ハドウデアアルカト申セバ、北海道ニハ一級町村、二級町村、及戸長役場ノ制ガアリマス、其一級町村ノ狀況ハ今日ノ内地ノ町村ト何等異ル所ガナイノデアリマス、其人口ニ於キマシテモ、其財政ノ狀態ニ於キマシテモ、全ク内地ノ町村ト異ナル所ガアリマセヌノミナラズ、北海道ノ一級町村ニ屬スル所ノ公民權ノ資格ハ、北海道ノ區ノ公民權ノ資格ト殆ド同ジデアラフテ、納税ニ於テ僅ニ九十錢ノ差ガアルノミデアリマス、其他ニ於テハ全部同一デアリマス、斯ノ如キ有様デアリマスルカラ、町村制ヲ北海道ノ一級町村ニ限シテ實施セント欲スルノガ、此改正ノ要旨デアリマス、以上ノ諸點ヲ改正シマシタガ爲メニ、法律ノ各條文ニ向テ多々修正ヲ加ヘル所ガアリマスガ、ソレ等ハ餘リ煩瑣ニ互リマスルシ、御退席デアリマスルカラ、此要點ノミヲ述ベテ修正ノ意見ト致シ、此壇ヲ降ル次第デアリマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 討論ノ申込ガアリマス、通告順ニ依テ之ヲ許スコトニ致シマス、小田切磐太郎君

○小田切磐太郎君 只今議題ニナリマシタル市制並ニ町村制ニ就テ、委員長ノ報告ガアリマシタ、之ニ對シテ只今憲政會ノ黒金君カラ修正ノ意見ヲ御提出ニナツタノデアリマス、修正ノ條項ハ多々アリマス、未ダ印刷ガ間ニ合ハヌト云フノデモ、手ニハ參リマセヌケレドモ、只今ノ御演說ニ依テ委細テ承シタ次第デアリマス、今回政府ノ提案ニ依リマスルモ、將タ又只今ノ修正案ニ依リマスルモ、此度ノ修正案ノ骨子ト云フモノハ二點デアリマス、即チ公民權ノ擴張、選舉權ノ擴張ト云フモノ宜イノデアリマスルガ、公民權ノ擴張ト等級制度ノ改廢ノ問題デゴザイマス、只今修正論者モ此點ニ最も力ヲ入レテ論ゼラレタノデアリマスルカラ、本員モ亦此點ニ就テ政府ノ提案ニ對シテ贊成スル所以ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマスル積リデアリマス、御承知ノ如クニ現行法ハ公民權ヲ與ヘルコトニ就テ、種々ノ條件ヲ規定シテ居ルノデアリマス、政府ノ修正案ハ、其條件ノ中、納税資格ヲ改メルト云フコトニ相成デ居ルノデアリマス、即チ御承知ノ如クニ現行法ニ於テハ、公民權ヲ附與スルニ市町村ノ負擔ヲ分擔スルコト云フ上ニ、尙且ツ國稅ノ納入ヲ條件トシテ居ルノデアリマス、政府ノ修正案ハ、此國稅ノ納入資格ヲ撤廢スルコト云フノデアリマス、只今修正意見ヲ拜聽

致シマスルト云フト、獨り納稅資格ヲ全廢スルノミナラズ住居ニ於テ、現行法ニ於テ二年ト云フノ六箇月ニ短縮シヤウト云フノデアリマスル、翻テ現行ノ市町村制發布ノ理由ヲ見マスルニ、市町村ノ公民ハ名譽職ヲ負擔シ、或ハ自治ノ機關ニ參與スルモノデアリマスルカラ、此者ニハ相當ノ財産ガ無クハバナラヌト云フ立前ノ上ニ、現行法ハ制定セラレテアルノデアリマスル、併ナガラ諸君御承知ノ通り自治制發布以來茲ニ三十年、我ガ帝國國民ノ文化ト云フモノハ、非常ニ發展シタノデアリマスル、此財產ヲ要スルト云フ觀念ハ、又昔日ノ如ク必要デアルト云フコトハ、或ル程度マデハ無イノデアリマス、殊ニ又市町村制ヲ運用シ、我ガ帝國國民ノ福利ヲ増進スルト云フコトニ就テハ、ドウシテモ此參政權ヲ擴張シテ行カナレバナラヌト云フコトハ、申上ゲル迄モナイコトデアアルノデアリマスル、ソコデ問題ニナルノハ、程度問題ト云フコトニナツテ來タノデアリマスル、政府案ハ只今申上ゲタ通り、國稅ノ條件ハ撤廢ハ致シマシタケドモ、直接市町村稅ヲ納メルト云フコトヲ尙且ツ條件トシテ居ルノデアリマスル之ヲ只今ノ修正意見ノ如クニ全部今直グニ撤廢スルト云フコトハ、餘リ大ナル一急激ナル變化ヲ自治制ノ上ニ與フルモノデアルト本員ハ信ズルモノデアリマスル(拍手起ル)

何ナルモノガ直接稅デアリ、如何ナルモノガ間接稅デアルカト云フコトハ、一見明瞭シテ居ル然ラハ則チ直接稅ヲ納入スル者ニ向テ選舉權ヲ與ヘテモ、決シテ差支ハナイノデアリマスル、尙又間接稅ノ如キハ、納入者ヲ明確ニ調ベルト云フコトハ、修正論者ト雖モ至難デアルト云フコトハ御了承ニ相成ル次第ト存ズルノデアリマスル(時勢ヲ解セズ憫ムベシト呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 木村君、靜ニ

○小田切磐太郎君(續) ソレカラ又或ハ申サレルノニ、市町村ノ財政ニ寄與スルモノハ市町村稅バカリデナイ、此間モアリマシタガ、今日例ヘバ市ガ電車ヲ經營スル、或ハ水道ヲ經營スル、電車賃ヲ拂ヒ、水道料ヲ拂フ者ハ市ノ財政ニ干與シテ居ルノデアアル然ルニ、斯ノ如キ市ノ財政ニ干與スル者ヲ省イテ、何故ニ直接稅ヲ納メル者ニノミ限ルカト云フコト御承知ノ如クニ使用料デアルトカ、或ハ手数料デアルトカ云フモノハ、格段ニ營造物ヲ使用スルカ、或ハ格段ニ市町村ニ或ル行為ヲサセルモノデアアル、電車ニ乘ル、水道ヲ使フ、ソレニ對スル一ツノ對價デアアル——代價デアアル、斯ノ如キ代價ノ性質ヲ帶ビル所ノ使用料デアルトカ、或ハ手数料デアルトカ云フモノヲ納メル者ニ向テ、公民權ヲ附與スルト云フコトハ、茲ニ納稅主義ヲ執テ居ル以上ハ、斷ジテサウ云フ者ニ與フルコトハ出來ヌダラウト信ズルモノデアリマスル(拍手起ル)

次ニ此國稅ノ條件ヲ撤廢スルコトニナリマスル、市町村トノ間ニ不權衡ヲ來ス、不公平ヲ來ス、サウ云フコトヲ言ハル、ノデアリマス、何故ナラバ、市ハ大抵家屋稅ヲ施行シテ居ル、之ニ反シテ町村ハ多クハ戶數割ノ賦課ヲ受ケテ居ル、今直接國稅ノ要件ヲ撤廢スルト、町村ニ住スル人ハ、即チ戶數割ノ賦課ヲ受ケルノデアリマスカラ、皆チ直接町村稅ヲ拂フコトニナリ、市ノ如キ家屋稅ヲ施行シテ居ル所ニ於テハ、借家人ハ家屋稅ヲ拂ハナイノデアアルカラ、サウ云フ人ハ公民權ヲ得ルコトガ出來ナイ爲メニ、不權衡デアルト云フコトヲ言ハル、ケレドモ、併ナガラ實際ニ於テ觀察致シマスルニ、市ニ於テハ町村ニ於テ賦課シテ居ラヌ所ノ直接ノ特別稅ガアリ、其他營業稅或ハ商工業稅ヲ負擔ヲ受ケルコトハ市ハ町村ニ比シテ頗ル多イノデアリマスカラ、結局市ハ町村ニ對シテ不利益デアルト云フ議論ハ決シテ出來ナイノデアリマス、又之ヲ實際ニ就テ見マス、今日市ニ於ケル公民ノ數ハ三十三萬人デアリ、之ヲ國稅ノ要件ヲ撤廢スルト云フコトニナリマス、市ニ於テ將來増加スル公民ト云フモノハ、六十九萬人トナリ、而シテ其増加ノ割合ト云フモノハ二倍強ニ相成リマス、之ニ反シテ町村ハ如何ナル狀態カト云フト、町村ニ於ケル公民ハ今日ニ於テハ四百六十六萬人デアリマシテ、國稅ノ要件ヲ撤廢シテ結果百八十二萬人ノ増加

トナル、此増加ノ割合ハ三割九分ニシカ當ラナイノデアアル、只今申上ゲタ通り、直接市町村稅ヲ標準トシテ公民權ヲ與ヘルコトニナリマスレバ、町村ニ重ク市ニ輕イカラ不權衡デアルト言ハル、ガ事實ニ於テハ只今申上ゲタ通り、市ハ二倍ノ増加トナリ、町村ハ三割九分ノ増加ニ過ギナイノデアリマスカラ、此點カラ論ジテモ、杞憂トコロデハナイ、議論ハ全ク根柢ヨリ間違ッテ居ルト謂ハナレバナラヌト信ズル、又修正論者ハ今日勞働者ガ選舉權ヲ要求スルノハ非常ニ熱烈デアアル然ルニ直接國稅ヲ納ムルト云フコトニナレバ、多數ノ勞働者ハ公民權ヲ得ルコトガ出來ナイ、勞働者ヲ除外シタモノデアアルカノ如ク言ハル、ケレドモ、今日ニ比スレバ勞働者モ大ニ選舉權ヲ得ルコトニナル、直接國稅ヲ撤廢シテ結果、勞働者ノ公民權ヲ得ル數モ、論者ノ想像スル如ク少クナイノデアラ、決シテ其點ニ於テ勞働者ヲ除外スルナドト云フコトハ、以テノ外ノ議論ト謂ハナレバナラヌ、又或ハ市等ニ於テハ遊藝人ノヤウナ者ガ稅ヲ納メテ、其他ノ正業ニ就テ居ル者ガ選舉權ヲ得ナイ者ガアルト云フコトモアリマスガソレバ苟モ納稅主義ヲ取テ以上ハ、多少サウ云フコトハ免レマセマス、併ナガラ政府ハ直接特別稅ヲ整理シテ居ルト云フノデアリマスカラ、其點カラ考慮シテ、苟モ稅ヲ納メテ居ル者デモ選舉權ヲ與ヘイカヌト云フヤウナモノハ、特別稅ヲ整理スルトキニ於テ、吾ハ政府ニ向テ十分考慮ヲ望ムノデアリマスカラ、其點ニ於テモ、大ナル差支ハナイト吾ハ信ズルノデアリマス……

○議長(與繁三郎君) 諸君、時間モ迫リマシタケドモ、討論ガ容易ニ盡キマセスト認メマシテ、時間ヲ延長致シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○小田切磐太郎君(續) 次ニ重大問題デアッテ、而モ修正論者ガ最も力ヲ入レテ論ゼラレタモノハ、等級制度改廢ノ問題デアリマス、御承知ノ通り現行法ニ於テハ市ハ三級、町村ハ二級デアリマス、此立法ノ精神ハ——等級制ヲ採ッテ立法ノ精神ハ、多ク稅ヲ納メル者ニハ多クノ權利ヲ附與スル必要ガアリ、又多數無產階級ガ少數ヲ壓迫スル弊ヲ防グト云フ趣旨カラ出來テ居ルノダト云フコトデアリマスケレドモ、是ハ文化ノ程度ノ大ニ發達シタル我日本帝國今日ノ狀況ニ於テハ、サウ云フ必要ハ多ク認メナイノデアリマスカラ、疑ニ政府案ヲ提出セラレタ時ニ、政府當局者ガ言ハル、如ク、大體ニ於テ斯ウ云フ制度ヲ撤廢スルト云フコトハ、本員モ差支ナイト信ズルノデアリマス、併ナガラ是ハ亦先程公民權擴張ノ時ニ述ベタル通り、風俗デモ、習慣デモ、立法デモ、理想デモアルカト云フテ、餘リ急激ナル變化ヲ來スト云フコトハ、却テ其モノヲシテ、進歩發達セシムル所以デハナイノデアリマス、ソレ故ニ今日ニ於テハ市ノ三級ヲ二級トシ、二級

デアル所ノ町村ノ階級ヲ撤廢シテ平等選舉ニスルト云フコトハ、一面ニ於テ時勢ノ要求ニ應ジテ不平等ナル制度ヲ廢スルト共ニ、一面ニ於テハ餘リ急激ノ變化ヲ避ケルト云フ當局立法ノ用意周到ナルヲ以テ私ハ稱スルモノデアリマス、且又現行法ニ於テハ、級別ヲスルノニ、澤山ノ稅ヲ納ムル者カラ級別ヲ居ル、ソレカラ公民デナイ者モ、多額ノ稅ヲ納ムル者ニハ、年齡ノ制限モナク、男女ノ區別モナク、禁治產者デアルトカ、准禁治產者デアルトカ云フ者ニモ選舉權ヲ與ヘテ居リマス、併シ是等ノ制度ノ時勢ニ合ハヌト云フコトハ、申迄モナイコトデアリマスカラ、政府ハ是等ノ者ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ、今度ノ法案ニ於テハ廢止シテ居リマス、斯ノ如クニテ級別ヲスルノニ今度ハドウシタカト云フト、全體ノ稅ヲ納稅總人員デ割リテ、其平均額以上ノ者ヲ一級トシ、以下ノ者ヲ二級トスルト云フヤウニシタデアリマス、現今ニ於テハ市ノ一級選舉人ハ三級選舉人ノ五十人ニ當リテ居ル、甚シキニ至テハ千人ニ當リテ居ルト云フヤウナ不公平ナル選舉ヲシテ居ルデアリマス、只今申上ゲタ通り政府ノ改正案ニ依レバ、市ノ一級選舉人ハ、二級選舉人ニ對シテ一對三ト云フ關係ニナリテ居ルデアラ、殆ド從前カラ見タナラバ、平等選舉ノ理想ニ稍、近イ所迄改正サレテ居ルデアリマス、何故ニ全部ノ撤廢シナカ、タカト云フコトハ、屢、申上ゲタ通り、餘リ急激ナル變化ヲ自治制ノ上ニ及ボスト云フコトハ、却テ自治制ノ圓滿ナル進歩發達ヲ期スル所以デアハナイト云フ周到ナル注意ノ下ニ出タノデアリマス、斯ノ如キ次第デアリマスカラ、本員ハ政府ノ提案ノ市ヲ二級トシ、町村ヲ原則トシテ此級別制ヲ撤廢スルト云フ此改正案ニ賛成致シマシテ、修正案ノ如ク急轉直下、全部撤廢スルト云フ急激ナル議論ニハ反對ヲ表スル者デアリマスル(「急激デアアリマセヌ當然デス」ト呼フ者アリ)其他マダ條文ハ一々手許ニアリマセヌデアリマス、只今ノ修正ノ御意見ハ、公民權擴張ニ基ク所ノ關係上、條文ヲ訂正シタモノ、ソレカラ級別制ヲ撤廢シタ關係上、條文ヲ整理シタモノ、及ビ其他ニ於テハ只今修正者ガ述ベラレタノデアリマスルガ、市會議員ノ議員ヲ生ジタ時ニハ、今日ニ於テハ三分一以上ナル迄ハ、先ヅ補選舉行ハナイノデアリマス、併ナガラ府縣知事市長又ハ市會ガ必要ト認メル時ニハ、何時タリト補選舉行ヲ行フト云フコトニナリテ居ルノ原則トシテ、補選舉行ハ直グニ行フト云フコトデアリマス、市町村ノ狀態ニ於テ、決シテ現行法ノ如キ法ノ下ニ於テ不便ト云フコトハナイノデアラ、改正ヲシタ方ガ却テ不便デアルト本員ノ信ズルノデアリマス、其他選舉名簿調製期間間一定スルト云フヤウノ御議論ガアリマス、是モ現行法ノ方ガ本員ハ宜シト思フノデアリマス、憲政會國民黨

カラ御出シニナリテ修正案ニハ反對ヲ致シマス、其他市參事會議議員ノ任期ヲ二年トスル、斯ウ云フヤウノコトモ、今日ノ現行法ヲ改正スル所ノ必要ハ少シモ無イノデアリマス、只モ、亦政府ノ改正案ニモ現ハレテ居ラナイノデ、一ツ改正ヲ加ヘラレタ比較的重大ナル事項ト云フモノハ何デアルカト云フト、只今修正者ノ御意見ヲ拜聽シマス、神官神職諸宗ノ教師、僧侶、ソレカラ小學教員、是等ノ人ニハ現行法ニ於テ被選舉權ヲ與ヘテ居ラナイノデアリマス、又政府ノ改正案ニモ無イノデアリマス、是等ノ人ニ被選舉權ヲ與ヘヤウトスルノデアリマス、此事ハ最も慎重ニ研究ヲ要セナケレバナラヌ所ノ重大問題デアリマシテ、獨リ市町村ノ選舉ト云ハズ、衆議院議員選舉法其他ニモ大ナル關係ヲ持テ居ルノデアリマス、斯ノ如キ重大問題ハ、同一ノ下ニ解決スルヲ以テ本員ハ至當ト思ヒ、今市町村制ヲ改正スル此場合ニ、市町村制ノミニ此所ヘ出シテ來ルコトハ、當リ得テ居ラヌト信ズルノデアリマシテ、此事ハ十分研究ノ上ニ、衆議院議員選舉法其他ノ法ト同時ニ解決スルヲ以テ本員ハ最も至當ナリト信ズルノデアリマス、其他委員會ノ修正ヲ委員長ガ御述ベニナリマシタ、是ハ最も適當ノ修正ト思フノデアリマス、其修正ノ主ナルモノハ、只今御報告ニナリマシタ、市制或ハ町村制ニ於テ、現行法ニ於テハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタ者ハ、公民權ヲ停止セラル、コトニ相成ルノデアリマス、是ハ刑ノ確定ヲ待テ公民權ヲ停止スルト云フコトニ改メルト云フコトモ、最も適當ナ事デアリ、現ニ衆議院議員選舉法ニ於テ斯ウナリテ居リマス、是ハ同一ニスルト云フコトハ、最も必要デアルト本員ハ信ズルノデアリマス、要スルニ本員ハ委員長ノ報告ニ賛成シマシテ、只今黑金君カラ御述ベニナリマシタ修正ニ就テハ反對ヲ表スル者デアリマス、之ヲ要スルニ若シモ公民權ノ擴張、即チ選舉權ノ擴張ヲ最も大ニスル所ノ法律ガ最も良イ法トシタナラバ、衆ニ國民黨諸君ニ依テ提出セラレタ改正案ガ最も良イ法ト謂ハナケレバナラヌデアリマス、何故ナラバ國民黨諸君ニ依テ提出セラレタ案ニ依リマス、若シモ只今申上ゲタ通り、公民權ノ擴張ノ大ナルモノ、即チ公民權サハ擴張スレバソレガ最も良イ法トシタナラバ、今日御提出ニナリタ所ノ修正案ハ改惡ト言ハナケレバナラヌ、併ナガラ本員ハ改惡トハ信ジナイノデアリマス、恐ラクハ國民黨諸君ハ、衆ニ提出セラレタ案ノ如クデアタナラバ、餘リ大ナル急激ナル變化ヲ自治制ノ上ニ及ボスト云フ、餘リ大ナル

急激ナル變化ヲ自治制ノ上ニ及ボスハ不可ナリト御考ヘ直シニナリテ、少シ選舉權ヲ狭メテ、此修正案トナリテ現ハレタモノノナカラウカト信ズルノデアリマス、既ニ然リトスレバ、モウ一步御考ヘ下スタナラバ、政府ノ改正案ニ就テ御賛成ヲ得ルコトハ、蓋シ至難デハナカラウト本員ハ信ズルノデアリマス(拍手起ル)諸君、此政府提案ニ依リマス、結果カラ申シマシテモ、公民ノ數ハ増加スルコト五割デアリマス、此法案ガ成立ヲ致シマシテ、此多數ノ人ガ新クニ選舉權ヲ得テ、自治制ニ參與スルコトニ相成リマシタナラバ、自治ノ圓滿ナル發達ヲ期スルニ於テ、多大ノ幸福ガアリ、吾ニ國民ハ非常ナル幸福ヲ感ズルノデアリ、賴テ以テ憲法政治ノ健全ナル發達ヲ期スルコトガ出來ルト信ズルノデアリマス、本議會ニ提出セラレタ重要法案ハ頗ル多クアリマス、本議案ノ如キ國民利福ヲ増進スル案ハ、他ニ其比ヲ見ナイノデアリマス、依テ本員ハ切ニ本案成立ヲ希ヒ、只今黑金君カラ御述ベニナリマシタ、修正ノ意見ニ反對シ委員長ノ報告ニ賛成ヲ表スル者デアリマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 大口喜六君

○大口喜六君 登壇、拍手起ル

○大口喜六君 昨、私ハ黑金君ヨリ御提出ニ相成リマシタル修正案ニ賛成ヲ致スモノデアリマス、黑金君御提出ニナリマシタル修正案ハ、大分澤山ノ箇條ガ修正サレテアルヤウデアリマス、大要之ヲ約シマス、七箇條許リノ要點ニ相成ルヤウデアリマス、而シテ其他ニ此委員長ヨリ御報告ニナリマシタル所ノ一箇條ノ修正、是モ矢張含マレテ居ルノデアリマス、故ニ、委員長ヨリ御報告ニナリマシタル二箇條ノ修正ニ就テハ、矢張私共之ヲ賛成スル者デアリマス、此二箇條ノ御修正以外ニ於テ、七箇條許リノ要點ニ依テ更ニ修正ヲ加ヘントスル此黑金君ノ御修正ニ賛成スル者デアリマス、而シテ此御修正ハ、只今モ小田切君カラ御話ニナリマシタ、其主ナル點ハ先ヅ公民權ノ擴張ト、階級選舉ノ撤廢デアリマス、故ニ、私モ先ヅ此二ツノ問題ニ就テ其賛成ノ趣意ヲ述ベマシテ、而シテ更ニ他ノ條件ニ互リマシタハ、其後ニ於テ之ヲ申述ベタイト思フノデアリマス、勿論此公民權ノ擴張ト階級選舉撤廢ト云フコトハ、市町村制ノ何レニモ相通ジマシテ、同じ趣意ニナルノデアリマス、故ニ、私ハ矢張此問題ニ對シテモ、市制町村制ヲ通ジテ賛成ノ意見ヲ申述ベテ見タイト思フノデアリマス、凡ソ此自治ノ發達ト云フモノニ就テハ、住民ニ成ルベク多數參加セシメテ、此行政ノ事務ニ當ラシムルト云フコトハ、當然デアルト云フコトハ、内務大臣既ニ之ガ言明ニナリテ居リマス、只今小田切君モ其意見デアリマシテ、即チ此自治ノ發達ヲ希望スルガ爲メニハ、一人デモ多ク住民ヲシテ所謂公民權ヲ得セ

シメ、而シテ行政事務ニ參加セシムルト云フコトハ、一人モ異議ノ無イコトデアラウト思ヒマス、只ダ是ヨリ先キハ程度ノ問題デアルト云フ御議論デ、私共ハ先日來屢此委員會等ニ於キマシテ、内務大臣首メ政府委員ニ對シテ、質問應答ヲ重ネマシタル結果、決シテ此程度ノ問題ノミニ非スト云フコトヲ認メテ居ルデアリマス、即チ根本ノ觀念主義ガ相分レテ居ルヤウニ私共ハ信ゼラレノデアリマス、既ニ内務大臣ガ段々御説明ニナツタ所ヲ承リマシテモ、又只今小田切君ノ御演說ヲ承リマシテモ、所謂此納稅主義デアアル、即チ公民權ヲ與ヘル、此自治體ト云フモノニ對シテ、權利ヲ得セシムルト云フコトノ條件トシテハ納稅主義デアアル、納稅ト云フコトヲ土臺トシテ稅ヲ納メテ居ル者ニ對シテ、權利ヲ與ヘルデアアル、即チ納稅ト云フコトガ權利ト云フモノ、代償物ニナル、是ガ根本ノ觀念ニ相成テ居ルヤウデアリマス、即チ私ハ此委員會ニ於キマシテ、内務大臣ノ御意見ヲ承テ見タノデアリマシタガ、凡ソ此我國ニ於テ明治二十一年四月十七日初メテ市町村制ヲ發布サレマシテ、其翌年ノ二十二年カラ之ガ實行サレタコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、其當時此政府ノ出サレテ居リマス所ノ理由書ト云フモノハ、是ハ只今小田切君ガ大體御述ベニナツタ如クデアリマス、此當時ニ於ケル根本觀念ト云フモノガドウナリテ居タノデアアルカ、之ヲ讀ムデテ見ルト、極メテ其當時ノ爲政者ノ思想ト云フモノガ判ルデアリマス、即チ斯ウ云フコトガ書イテアル、蓋シ本制ニ定ムル要件中納稅額ノ制限ヲ設クル所以ハ市町村ヲ以テ其盛衰ニ利害ノ關係ヲ有セザル無智無產ノ小民ニ放任スルコトヲ欲セザルカ爲ナリ、之ガ當時ノ根本觀念、其當時ノ納稅資格ヲ以テ、公民權ノ要件ト致シテ置イタト云フコトハ、無智無產ノ小民ニ地方ノ自治ヲ放任スルコトハ欲シナイ、ソレガ根本觀念ニナツテ居リマス、ソレカラ等級選舉ヲ設ケラレレ觀念ハ、ドウデアアルカ、斯ウ云フ事ガ書イテアル、蓋シ名譽職ニ任セルハ町村公民ノ輕カラサル義務ナレハ資產アル者ニ非サレハ之ニ任スルコト能ハス又其稅額ノ多寡ハ姑ク之ヲ論セサルモ其專ラ自治ノ義務ヲ負擔スル者ニ相當ノ權力ヲ有セシムルハ固ヨリ當然ノ理也今等級選舉法ヲ以テ常例トセルハ即チ此要旨ニ外ナラス、即チ等級ヲ分ケルト云フコトモ、矢張之ヲ納稅スル者稅金ヲ餘計納メル者ニハ、相當ノ權力ヲ與ヘルノ當然デアアル、斯ウ云フ意味カラ等級ヲ設ケラレマシタ故ニ我國ノ自治制ト云フモノニ對シテ、納稅ノ主義ヲ執テ居ルト云フコトガ、權利ヲ與ヘル代償物トシテ稅金ヲ持テ行クノデアアル、金ヲ餘計納メル者ニハ權利ヲ餘計與ヘルノガ當然デアアル、此根本觀念カラ來テ居ルモノデアアルカ、今回政府ガ提案サレタ所ニモ、矢張納稅額ヲ認メテ居ル

ソレガ矢張昔ノ如キ主義ヲ執ラル、カト云フコトヲ私ハ質問シタトキニ、内務大臣ハ何ト御答ニナレ居リマスカ、矢張納稅主義デアルト云フコトヲ御答ニナレ、明治二十一年ニ出サレテアル理由書ノ御趣意ヲ明カニ御認ニナツタノデアリマス、之ガ吾々ト根本觀念ニ於テ、自治ノ根本ナル所ノ選舉權公民權ヲ定メル上ノ根本思想ニ於テ、私ハ政府當局ト遺憾ナガラ意見ヲ異ニシテ居ルデアリマス、決シテ是ハ程度ノ問題デハナイノデアリマス、根本主義ノ問題デアアルノデアリマス、我國ノ自治制ト云フモノハ、何所カラ參テ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスニ、總テノ說明ニ依リマス、母法トシテ採ラレタ所ノモノハ獨逸、殊ニ普魯西ノ制ヲ採タモノデアルト云フコトデアアルガ、私ガ申サデモナク、諸君ノ御承知ノ如ク獨逸デアルトカ、英國デアルトカ云フ所デ、最初階級制ヲ執テ居リマシタ、ソレガ歷史的沿革ヲ十分ニ備ヘテ居ルノデアリマス、即チ英吉利ノ立憲政體ニ於テハ、國王ガ人民ノ權利ヲ承認致シマス、人民ガ一方ニ於テ納稅ヲ承諾スル其代償トシテ、權利ヲ與ヘタト云フコトノ歷史ノ認メラレテ居ル經歷ガアルノデアリマス、獨逸モ御承知ノ通りデアリマス、然ルニ我國ノ國體國情ハ全然異テ居リマシタ、神代ノ昔ヨリ吾々日本臣民ハ一天萬乘ノ君ヲ戴キ、皇室ニハ絕對服從致シテ居ル者デアリマス、故ニ、皇室ニ對スル奉仕ノ觀念、國家ヲ維持スル熱心義務ノ上カラ、必要ニ應ジテ納稅ヲ致シマシタ故ニ、決シテ納稅ト云フモノハ權利ノ代償物ニナラナイト云フコトハ、我國ハ全ク獨逸、英吉利ト其事情ヲ異ニシテ居ルカラデゴザイマス、況ヤ今日ノ立憲思想ニ依リマスレバ、人民ト云フモノニ斯ル理由ニ於テ權力ヲ與ヘルコトハ有ルベカラザル事デアリマス、我國ノ人民ハ御承知ノ通り非常ニ進ンデ居ルノデアリマシテ、決シテ此納稅ノ多寡ニ依リテ國民ニ對スル所ノ奉仕、又ハ己ノ自治體ニ對スル所ノ義務ニ對シテ、多イ少ナイト云フ如キ觀念ヲ持ツガ如キ人民ハ、我國ニハ一人モアルマイト吾々ハ信ジテ居ルノデアリマス、(拍手起ル)ソレ故ニ此資格トカ、納稅額トカ云フモノヲ權利ノ代償物ト爲シ、之ヲ土臺トシテ公民權ヲ定メ、殊ニ我國ノ基礎ニナル所ノ自治體ノ如キモノニ對シテ、重要ナル位置デアアル、公民權其モノヲ定ムルモノハ、納稅ノ多寡ヲ以テ標準ト爲シ、内務大臣ノ所謂納稅主義ヲ執ルモノ云フガ如キハ、我國ノ國體國情ノ上カラ、吾々ハ反對セザルヲ得ザル者デアリマス、既ニ吾々ガ此納稅ヲ認メナイト云フ趣意ガ此ニ在ルデアリマス、故ニ吾々ハ決シテ内務大臣ノ言ハル、事ヲ、漸進主義トハ見ナイノデアリマス、内務大臣ハ漸進主義ト言ハル、ガ、漸進主義ト云フナラバ、同シ主義ニ於テ秩序能ク或點マデ進ンデ行クナラバ、漸進主義デアアルケレドモ、一面

ニ於テハ納稅ト云フモノハ權力ノ代償物トシテ認メナイト云フ主義、一方ハソレヲ認メルト云フ主義ノ違フモノガ歩合ヲト云フコトハ、吾々ハ漸進主義ト云フコトガ出來ナイト思フノデアリマス、此見地ニ於キマシテ、私共ハ此改正ノ場合ニ於テ、全ク是迄申シテ居タ如ク、英國デアルトカ、獨逸デアルトカ云フ如キ、或ル歷史的沿革ヲ持テ居ル國トハ、全ク違フ我國ノ國情デアリマス、故ニ、此納稅ヲ根本トナス主義ヲ撤廢シテ、納金ニ依ラズ、我が國民ノ智識ニ信賴シ、我が國民ノ愛國心ニ信賴シテ、之ニ相當ノ公民權ヲ與ヘ、我が國家ノ基礎ヲ鞏固スルハ、今日當ニ爲スベキ事ナリト吾々ハ信ジテ疑ハヌノデアリマス、(拍手起ル)次ニ此階級ノ事ニ就テ、等級選舉ノ事ニ就テ申サデテ見タイト思ヒマス、是モ明治二十一年ニ政府ガ出シマシタ理由書デ、當時ノ當局ガ如何ナル觀念ニ依テ此等級選舉ヲ設ケタモノデアアルカト云フコトヲ申サレタノデアリマス、此理由書ヲ段々味ツテ分ケテ見マス、斯ウ云フ觀念ニナツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、即チ此等級選舉ヲ必要ト致シマシタ第一ノ理由ハ多ク納稅シテ居ル者ニハ多クノ權力ヲ與ヘナクテハナラナイ、第二ノ多數ノ細民ノ善思ニ依テ、或ル少數ノ富豪者ヲ壓迫スルコトヲ如キ事ヲアツテハナラナイ、是ガ第二ノ觀念、第三ノ觀念ハドウデアアルカト云フ、成ベク選舉權ハ擴張シナクテハナラナイ、之ヲ擴張スレバスル程、一面ニ弊害ガ起ルノデアアルガ故ニ、此社會ノ三ツニ見テ、上流ト中流ト下流ト云フモノ、各階級ノ間ノ權力ノ平衡ヲ圖ラナクテハナラナイト云フノガ、第三ノ觀念デアッタト吾々ハ思フノデアリマス、然ルニ只今申シタ如ク、吾々ハ今日ノ時代ニ於テハ、決シテ此納稅額ヲ標準トシテ、權力ノ對象トシテ納稅額ト云フモノヲ認メルト云フコトハ、大ナル誤リト思ヒマス、故ニ、此理由ハ採ルニ足ラナイノデアアル、今日ノ時代ニ於テハ、此觀念ハ打捨テナクテハナラヌ、第二ノ細民ガ富豪階級ヲ壓迫スルコト云フコトハ、事實ニ於テ如何デアリマセウカ、現在ノ市制町村制ニ於テハ、細民ガ富豪ノ人ヲ壓迫スルヨリモ、寧ろ極メテ少數ノ富豪ノ人ガ三人ヤ、五人ヤ多數ノ議員ヲ選出シテ、多數ノ細民ヲ壓倒スルコト云フノガ、事實ノ上ニ爭フベカラザル事ニ相成テ居ル、(拍手)故ニ此觀念ト云フモノモ、全ク打破シテ居ルノデアリマス、ソレカラ又一般社會ニアル所ノ各階級ト云フモノハ、權力ノ權衡ヲ得ネバナラヌト云フコトハ、一應尤ナ事柄デアアル、吾々モ左様ナ事ハ心懸ケネバナラヌ事デアアルト思ヒマス、此各階級ノ權力ノ均衡ヲ得ヤウト云フコトハ、獨リ納稅ノ多寡ニ依テ等級ヲ定メテ、ソレニ依テ目的ヲ達セラレルモノデアアリマセヌ、(拍手)其中ニハ勿論納稅モ必要デアラウガ、學識デアルトカ、職業ニ依テモ餘程違フノデアリマス、其他人ノ

チ字爲車ヲ一臺ヲ附加シテ、其ノ納メレバ公民ニ對シテ其市町村ガ附加税ヲ賦課スル、之ヲ納メレバ公民權ヲ得ルト云フコトニナルノハ、事實ノ上ニ於テモ明カナ問題デアリマス（拍手）。斯ノ如キ次第デアリマスガ故ニ、此直接市税ト云フモノヲ標準のトシテ爰ニ之ヲ定メラレト云フコトハ、公民權ヲ附與スル上ニ於テ頗ル煩雜デアルノミナラズ、極メテ不公平ナ事ガ出來ルト云フコトヲ私ハ思フ者デアリマス（拍手起ル）殊ニ今日ノ狀態テアッテ諸君如何デアリマセウ、多額納税者必ズシモ智識階級ニ非ズ、智識階級必ズシモ多額納税者ナラズト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通り、即チ國家ト云フモノハ、私が申スマデモナク、和税ヲ納ムルガ故ニ權力ヲ多ク與ヘヤウト云フモノデハナイ、國民ハ何所マデモ國ヲ念ヒ、國家ニ奉仕セントスル所ノ熱誠ヨリ、必要ニ對スル、所ノ租税ヲ一面ニ出ス、其代リニ國家ト云フモノハ、如何ニ國家ヲ經營スベキカ、此自治體ハドウ云フ者ニ任セバ完全ニ行クデアラウカ、國家ハドウスレバ善クナルデアラウカト云フコトヲ考ヘテ、所謂國家ノ行政ヲ進ムル上ニ於テ、適任ト認ムル者ニ權力ヲ與ヘルト云フコトガ當然ナ事デアル、即チ税ヲ餘計納ムレバ、必ズシモ其人ガ行政上ニ適シテ居ル者トハ見ラレナイ相當ニ之ニ對シテ知識アル者ヲ選バナケレバナラスノデアリマスガ故ニ、今日ノ我國ノ知識程度今日我國ニ於ケル文化ノ程度ニ於テハ、納税額ノ如キハ明カニ之ヲ撤廢スルノガ、當然ナ事デアル尙且ツ之ヲ爲サバルト云フコトデアルナラバ、其弊ガ極メテ大ナルモノデアルト私共ハ信ジテ疑ハナイノデアル（拍手起ル）私共ハ此主義ニ於テ、政府ノ今回ノ案ニ賛成スルノデアリマスガ故ニ既ニ根本ノ觀念ガ違フテ居ル漸進主義デハナイ、漸進主義デアレバ程度問題、ドウデモ言ヘルノデアルガ、吾等ハ根本觀念ニ於テ、斯ノ如キ舊思想ヲ打破シ、新シキ我國ノ國情ニ照シ、殊ニ我國ハ先刻申シタ通り、極メテ古キ時代ヨリ完全ナル歷史ヲ以テ進ンデ來タ國柄デアリマシテ、國家ト人民トノ間ハ、密接ナル關係ヲ持テ居ルノデリマス、英國ヤ獨逸ノ古キ例ヲ學ンデ今日此納税資格ヲ認メルガ如キハ、極メテ我國情ニ適セザルモノデアル、況ヤ英國獨逸ノ如キハ、御承知ノ通り大戰前ニ於テ既ニ著々此制度ヲ廢シテ、比例選舉ニ致シテ居ルコトハ、私ノ喋々ノ辯ヲ俟タザル所ノ事ト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス（拍手起ル）是ダケ申上ゲマスレバ、此税ト云フモノヲ當テマスルト云フコトノ宜シクナイコト、並ニ等級選舉ノ宜シクナイ、之ニ反對スル理由ハ申述ベタコト、思ヒマスガ、此次ニ一言ヲ費シテ置キタイノハ、選舉名簿調製ノ事デアリマス、只今小田切君ハ、現制度ノ方ガ名簿ノ調製ニ宜シイト云フコトヲ言ハレタノデアリマスガ、是ハ一ツノ御見識デアリマスガ故ニ、之ニ對シテ吾等ハ彼是言

六八五

フ者デアアリマセガ、現制度ハ一體ドウナテ居ルノデアリマセウカ、御承知ノ通り衆議院議員ノ選舉ニ關スル選舉名簿ト云フモノハ、是ハ定時名簿デアテ、毎年々々一定ノ期間ヲ定メテ調製スル所ノデアリマス、府縣會議員ノ選舉名簿ハ如何ナルモノデアリマセウカ、是亦一定ノ期間ヲ定メマシテ、毎年々々定期ニ之ヲ調製スルモノデアル、郡會議員ノ名簿亦然リデアリマス、然ルニ獨リ市町村會議員ノ選舉名簿ノミガ隨時名簿ニナテ居テ、選舉ノアル度毎ニ六十日前ノ現在ニ依テ此名簿ヲ調製シテ、四十日前ニ縱覽致サナケレバナラヌデアリマスガ故ニ、此名簿ヲ眞ニ調製スル所ノ期間ハ僅ニ二十日シカ無イデアリマス、今日迄ニ於テ既ニ此選舉名簿調製ニハ各市町村長ガ頭ヲ悩シテ居ルノデ、今回ノ選舉權擴張ニ依テ假リニ政府ノ原案ガ通ルト致シマシテモ、此公民權ノ數ト云フモノハ非常ナ殖エ方デアル、何倍ト云フ非常ナルモノニナル、一寸シテ人口十萬ニ足ラザル所ノ市デアテモ、八千九千一萬ト云フガ如キ、大ナル數ノ公民權者ヲ出スノデアル、之ヲ僅ニ二十日間ニ有ユル複雜ナル所ノ直接市稅ニ就テ之ヲ調ベ、有ユル人ニ就テ獨立ノ生計デアルヤ否ヲ取調ベ、此名簿ヲ完全ニ作ラウト云フコトハ、蓋シ普通人間ニ於テハ、極メテ能フベカラザル所ノ事柄デアリマス（拍手起ル）殊ニ私ノ奇怪ニ感ズルハ、今回政府ガ御出シニナリ、今朝拜見シテ改正ノ府縣制ニ依リマシテモ、府縣會議員ノ選舉名簿ハ、矢張毎年定時々々ニ調製スルコトニナテ居テ、毎年九月十五日ヲ期シテ此名簿ヲ作ルコトニナテ居ル、毎年ドウシテモ名簿ヲ作ラナケレバナラヌ、其要件トシテ公民權ト云フモノヲ備ヘナケレバナラナイコトニナテ居ル、ソレデアルカラ、毎年々々九月十五日ヲ期トシテ、縣會議員ノ選舉名簿ヲ作ラントスレバ、必ヤ先ヅ毎年々々公民權ト云フモノヲ取調ベナケレバナラヌデアリマス、是ガ調ベラナケレバ、毎年々々九月十五日現在ニ依テ府縣會議員ノ選舉名簿ハ出來ナイデアル、ソレデアルカラ獨リ市町村會議員ノ選舉名簿、即チ公民權ノ資格ヲ調ベルノ限ニ限テ隨時名簿ニシテ置ク、或ル場合ハ五月ニナル所モアルデアリマセウシ、選舉ハ今日ノ儘ニ依ルト其六十日前ノ現在ニ依ルデアルカラ、各都市ニ依テ色々違ヒ、町村モ色々違フ、三月ノ所モ二月ノ所モアル、有ラユル區別ニナテ居ルカラ、迷惑千萬ナ話デアルケレドモ之ヲ府縣會議員ノ選舉名簿ト同ジヤウニ、毎年毎年九月十五日ヲ期トシテ作ルヤウニ定メタナラバ、市町村長ハ府縣會議員ノ選舉名簿ヲ作ルニハ、ドウシテモ之ヲ調ベナケレバナラナイ、公民權ノ名簿ガ出來レバ、府縣會議員ノ選舉名簿モ直キニ出來テシマウ府縣會議員ノ選舉名簿ガ出來レバ、之ト同時ニ毎年

毎年市町村會議員ノ選舉名簿ハ出來ル譯ニナルデアアル、斯ノ如キ輕便ニシテ確實ナル方法ガ明カニアルニ拘ラズ、今向ホ市町村會議員ノ選舉名簿ニ對シテハ、隨時名簿ヲ採ル、而シテ今ノ現行法ノ方ガ餘程宜シナド言ハル、ノハ、私ハ此自治ノ事務ニ當ラレタ所ノ方ノ言ハレルコト、モ覺エヌデアリマス（拍手起ル）甚ダ遺憾千萬ニ存ズル次第デアルデアリマス（マダデアリマス）呼フ者アリ（三枝君、今少シ御幸抱テ願ヒマス、吾々ノ親友三枝君ニ御願ヲ致シマスモウ是ヨリ先ハ餘リ多ク愛ニ論ジマスル事ハ無イヤウデアリマスガ、向ホ簡單ニ申シテ置キタイノハ、神官、僧侶、小學校教員ニ被選舉權ヲ與ヘルト云フコトデアリマス、是ハ多クハ論ズル必要ハ無イト思ヒマスガ、先刻小田切君ヨリスウ云フ御話ガデアリマシタ故ニ、一言申シテ置キタイト思フ、是ハ先ヅ今暫ク見合セテ、惡イトハ思ハナイガ、今暫ク之ヲ見合セテ、衆議院議員ノ選舉法改正ト共ニ行フガ宜カラウト云フコトデアリマシタガ、凡ソ此國ノ基礎ヲ確メスルニハ、先ヅ自治體ヨリシナケレバナラナイト云フコト、吾々ガ普通選舉ヲ出シマシタ時代ニ於テモ、是ハ後週ニシテ先ヅ自治體カラ改正セヨト云フコトハ、政府自ラモ言ハレ、其他多數黨ノ諸君モ言ハレテ居ル所ノ事柄デアル（拍手起ル）ソレデアルカラ宜イト思タナラバ、衆議院議員ト一緒ニスルコトハナイ、其例ニ倣フテ自治制ノ改正——國家ノ根本トナル所ノ自治制ノ改正ヨリ、先ヅ之ヲ實行スルノガ當然デアアル、斯様ニ吾々ハ信ジテ居ル次第デアリマス（拍手起ル）ソレカラ此補缺選舉ノ事デアリマスガ、是モ補缺ガアレバ選舉スルノガ當然デアリマス、ソレ故ニ吾々ハ之ヲ原則ト致シタノデアリマスガ、併シ此原則ニ於テモ、理論ノミデハ或ハ迷惑ノ感ズラル、事ガアルト宜シクナイ、斯様ニ吾々ハ信ジマシタ爲メニ、之ニハ一ツノ例外例ヲ設ケマシテ三分ノ一ノ議員ガ缺ケルマデ打捨テ、置ケルト云フコトハ、餘リハ極端デアラウ、人民ガ代表シ得ベキ所ノ權利ノ一部ヲ抑ヘル如キ結果ニナルモノデアリマスガ故ニ、之ヲ縮メテ定員ノ五分ノ一マデ頭マデハ、缺ケテ居テモ之ヲ許シテ宜シイ、ケレドモ成ベク是レハ正則ト致シテ補缺選舉ヲ致スヤウニ斯様ナ事ヲ定メタル次第デアリマス、參事會員ノ年限デアルトカ、或ハ投票ノ效力ノ決定權トカ云フ如キ事ヲ論ズレバ、色々アルノデアリマスガ、是ハ提案者タル黒金君ヨリ一通リ御述ニナリマシテ、私が蛇足ヲ添エル必要ハ無イト思ヒマスガ故ニ、爰ニ是ハ論ジナイ次第デアリマス、又此町村制ニ於キマシテ、北海道ニ關スル御修正ガデアリマシタガ、是モ私ハ當然ノ事デアルト信ズル次第デアリマス、而シテ委員長ヨリ報告ニナリマシタ御修正ノ點ニ對シテハ、吾々ハ是ハ勿論賛成ヲ致スコトハ前ニ申シタ通りデアリマス、之ニ對シテハ滿場一致デアッタ

次デアリマスガ故ニ、大ニ理由ヲ申述ヘル必要ハナカラウト思ヒマス、吾々ハ此點ニ於テ今回政府ガ提案サレマシタ本案ニ對シテ、根本ノ觀念ニ於テ反對スル者デアリマス、故ニ黒金君ノ提案セラレタ此修正案ニ對シテ、絕對賛意ヲ表スル所ノ者デアリマス（拍手）

○岩崎勳君 第二讀會ノ討論ハ此程度ニ於テ終結スベシトノ動議ヲ提出致シマス

〔賛成者 起立〕

○議長（奥繁三郎君） 岩崎君ヨリ討論終結ノ動議ガ出マシタ、御異議ハアリマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 御異議ナシト認メマシタ、仍テ第二讀會ニ於テ討論ハ終結サレマシタ、採擇致シマス、小山松壽君外四名ヨリ提出ノ修正、疑ニ黒金君ガ説明ニナリマシタ修正デス、是ト委員長ノ報告ト共通ノ點ガデアリマス、即チ市制ニ於テハ、第三十條第三號ヲ修正、同ジク第二百二十五條中ノ修正、町村制ニ於テハ第三十五條第三號ヲ修正、是ハ孰レモ共通デゴザイマス、先ヅ其共通ノ點ヲ除キマシタル、小山君ノ修正全般ニ就テ採決致シマス、只今説明致シマシタ如ク共通ノ點ヲ除キマシタル小山君ノ修正全部ニ對シテ、賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

○議長（奥繁三郎君） 少數——少數ト認メマス、仍テ修正説ハ否決ニナリマシタ、次ニ委員長ノ報告ニ就テ採決致シマス、委員長ノ報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

○議長（奥繁三郎君） 多數ト認メマシタ、仍テ兩案ハ委員長報告通り決シマシタ、兩案ノ第二讀會ハ是デ終了致シマシタ

○岩崎勳君 日程第十一及第十二ハ、兩案ヲ一括シテ直チニ其第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔賛成 異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ガナイト認メマス、仍テ兩案ニ就テ直チニ第三讀會ヲ開キマス

市制中改正法律案 第三讀會

町村制中改正法律案 第二讀會

○議長（奥繁三郎君） 此第三讀會ノ場合ニ於テ討論ノ通告ガデアリマス、之ヲ許シマス植原悦二郎君

〔植原悦二郎君登壇拍手、簡單々々ト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 靜ニ……

○植原悦二郎君 私共ハ只今議題ニナテ居リマス、市制

町村制ノ改正ニ就キマシテハ、熱心ニ之ヲ切望スル點ニ於テハ、政府當局ニ劣ラザル者デアリマス、私共ハ是マデ數回既ニ此改正ヲ議會ニ提出シテ居リマス、故ニ現在ノ制度ニ於テハ、時代ノ進運ニ適應セザルモノナリト云フコトヲ痛切ニ感ズル點ニ於テハ、人後ニ落チザル者デアリマス、故ニ此改正ヲ望ムコトハ切デアリマスケレドモ、只今我が同僚ノ大口君カラモ、私共ガ修正案ヲ提出スル理由ニ就キ、又政府ノ案其物ニ就テ、最も適切ナル所ノ批評ヲ加ヘラレデアリマシタカラシテ、之ニ對シテ私が多言ヲ要スル必要ハ無カラウト思ヒマス(其通り)必要ナシト呼フ者アリ、洵ニ國民ガ是等ノ改正ニ就テ切望シテ居ルニモ拘ハラズ、只今政府ノ提案サレタモノニ對シテハ、私共ハ反對セザルヲ得ナイノヲ甚ダ遺憾ト致シマス、併ナガラ私が申スマデモナク、既ニ此席上ニ於テ述ベラレマシタ通り、政府ノ提案サレタ此二案ニ就キマシテハ、私共根本ニ於テ第一ニ其觀念ヲ異ニ致シテ居リマス、公民權ノ資格ニ就キマシテ、私共ハ政府ノ主張スルガ如クニ、財産ヲ以テ公民權ノ對象物トスルガ加キ案ニ贊意ヲ表スルコトハ絕對ニ出来マセヌ、又第二ノ點ニ於キマシテ、政府ノ提案ハ頗ル矛盾ガアルノミナラズ、時代錯誤ノモノデアルト存ジマス、假リニ政府ノ述ベラレタ所ニ依リマシテ、漸進主義ト致シマシテモ、町村市トハ基シテ異ナリ居リマス、此點ニ就キマシテハ、委員會ニ於キマシテモ私ハ内務大臣ニ質問ヲ試ミマシタ、此三十年間ニ於テ、日本ノ町村ノ發達ト、都市ノ發達ト如何ナル相違ガアルカ、又都市ニ於ケル所ノ今日ノ狀態ニ於テ、衛生ノ點カラ申シマシテモ、教育ノ點カラ申シマシテモ、交通機關ノ點カラ申シマシテモ、通商貿易ノ點カラ申シテモ、文化ノ點カラ申シテモ、漸進主義ヲ採ルテモ、市制ニ於テ等級ヲ撤廢スルコトガ焦眉ノ急デアル、此立場カラ行キマシテ、文化ノ町村市トハ於テ甚シク相違ノアルコトヲ、内務大臣自ラ承認サレマシタ、而シテ何故ニ斯ル等級ヲ市制ニ存スルヤト云フ點ニ就キマシテ、之ヲ維持シナケレバ危險ガアルト思フカ、或ハ都市ノ市政ヲ紊亂スルト思フカト言ヒマシテモ、之ニ對シテ何等ノ答ガアリマセヌ、故ニ唯ダ漸進主義ト云フ言葉ノ上ニ隱レテ、此矛盾且ツ時代錯誤ノ案ヲ提出シタモノト、私ハ認定スルヨリ外ニ途ハ無イノデアリマス、故ニ私共ハ此點ニ於テ、遺憾ナガラ政府提出ノ案ニ反對ヲ表シナケレバナラス、今一ツノ反對スル理由ガアリマス、是ハ政府ガ此提案ヲ爲スニ就テ、誠意ノアルコトヲ私共ハ認メルコトガ出来ナイノデアリマス、此案ハ多年ノ問題デアリマス、而シテ若シ政府ニシテ誠意ガアリマスナラバ、此議會ノ既ニ終局ニ近ヅイタ時期ニ於テ提案スルコトヲ如キ理由モナシ、又此案ヲ説明スル政府當局者ノ態度ヲ見マシテモ、私共委員會ニ於テ、私共委員ハ黨派ノ問題

ハ別ト致シマシテ、私共虛心坦懷地方自治ノ爲メニ、委員長報告ノ如クニ誠心誠意審議ヲ進メラレタ、然ルニ政府ノ答辯ニ於キマシテハ、如何ナル理由ヲ取テモ、唯ダ漸進主義ト云フガ如キ言葉ノ背後ニ隱レテ、誠心誠意其意思ノ在ル所ヲ披瀝シタル事實ヲ承認スルコトガ出来マセヌ、私共ハ此三ツノ理由ニ依リマシテ第一ニ根本觀念ノ相違、第二ニ矛盾アリ、錯誤アル提案デアル、第三ニ於テハ之ヲ提案スルニ政府自ラ誠意ナキモノトシテ、私共ハ反對ノ意ヲ表スルノデアリマス

○議長(與繁三郎君) 高山長幸君

(高山長幸君登壇、拍手)

○高山長幸君 我ハ委員長報告通りニ贊成スル者デアリマス(ソレデ分テ居ル)止メロト呼フ者アリ、只今植原君ノ原案廢棄ノ御説ニハ、絕對反對ノ意見ヲ有スル者デアリマス、御承知ノ通り現行市町村制ガ制定セラレマシテ以來、既ニ三十有餘年ノ歲月ヲ經過シタ今日、我國ノ社會ノ其三十年間ニ進歩シタコトハ、御承知ノ通り著シイ事デアリマス、殊ニ歐洲戰後ニ於テ、社會上、思想上ニ於テ一大轉機ヲ劃シタコト云フコトモ又御承知ノ通りデアル、此時勢ニ適應スルベク市町村制ノ改正案ヲ政府ガ提出シタノガ、我々ノ最も適切ナルモノトシテ、之ヲ歡迎シタ所以デアルノデアリマス、然ルニ只今ノ提案者タル植原君ハ、此重要ナル改正案ニシテ、而モ國民ノ權利ノ伸張デアル所ノモノヲ、等閑ニ附セラレヤウナ廢棄ヲ爲サルト云フコトハ、ドウシテモ私共其眞意ヲ解スルコトガ出来ナイノデアリマス、内務當局者ノ説明ニ依リマシテモ、今回ノ此納稅資格ノ變更ニ依リマシテ、現在ノ有權者ノ五百萬ト云フモノガ、七百五十三萬ニ殖エルノデアリマス、即チ五割以上ノ増加ニナルノデアリマス、(シッカリ長廣舌ヲヤリ給ヘト呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 中野君靜ニナサイ……

○高山長幸君(續) 況ヤ此増加スル所ノ權利擴張ト云フモノニ對シテハ、我々ハ大ニ之ヲ贊成セヌケレバナラス、然ルニモ拘ラズ、此權利ノ伸張ヲ無視スルト云フコトハ、提案者ノ眞意ヲ甚ダ解スルニ苦シムノデアリマス、又納稅資格ヲ撤廢スルト云フコトニ就キマシテハ、先刻來色々御議論モアリマスルヤウデアリマス、私ノ考ヘル所ニ於キマシテハ、凡ソ自治制度ノ本體ニ於キマシテ、其町村ノ負擔ヲ分任スル所ノ者ニ、特殊ノ權利ヲ與ヘルト云フコトハ當然ノ事デアル、無論此意味ニ於テ、即チ今回ノ改正ニ依リマシテ、直接町村制ヲ分擔スル者ニハ、總テ選舉ノ權利ヲ附與スルコト云フコトニナクデアリマス、(ノウ)此點ニ就テハ、餘リ多クノ議論ヲ試ミル必要ハナイト考ヘマス

〔「間違テ居ル」議長議場ヲ整理スヘシト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 靜ニ……

○高山長幸君(續) 又一方此級別廢止ノ御議論ニ對シマシテハ、私ハ内務當局者ノ言明ニ依リマシテ、即チ内務當局者ノ級別撤廢ト云フコトハ矢張理想デアル、併ナガラ今日ノ社會ノ狀態ニ於テ、俄ニ之ヲ撤スルト云フコトハ、一種急激ナル變化ヲ起スニ依ッテ、暫ク之ヲ後日ニ延バスト云フコトデアリマス、決シテ諸君ト考ノ違テ居ルコトハナイノデアリマス、唯ダ之ヲ實行スルノヲ、後日ニ延バスト云フコトデアリマス、反對黨ノ諸君ノ平生ノ言説ヲ見ルニ、多クハ理想ヲ主トシ、唯ダ徒ラ理想ニ突進スルコト云フ事バカリヲ御考ニナテ居ルヤウデアリマス、凡ソ政治ノ要道ハ制度ニ在ル(差等ニ在リダ)ト呼フ者アリ、制度ノ基礎ハ即チ必ズ實際ノ上ニ置カネバナラスノデアリマス、實際ヲ離レテ政治ヲ論ズルコトハ出来ナイノデアリマス、(拍手「ヒヤ」)「貧弱ヲ拍手」ト呼フ者アリ、然ルニ反對黨ノ諸君ノ言論ヲ伺ヒマスルニ、多クハ理想ヲ主トシテ、直チニ其理想ニ突進シヤウトスル御言説ガ多イノデアリマス、(理想ヲ御持チデアリマス)「ト呼フ者アリ」例ヘバ昨年ノ議會以來、諸君ガ提唱セル、所ノ普通選舉ノ問題ノ如キモ、之ヲ理想トシテハ、我々モ之ヲ不可トスル者デハナイノデアリマス、(ソナナラ賛成シロト呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 中野君ノ發言ヲ禁止シマス

○高山長幸君(續) 唯タ今日ノ我國ノ社會ノ狀態、及文化ノ實際ニ於キマシテ、今日直チニ之ヲ斷行スルコト云フコトヲ不可トスルコトデアリマス、(簡單)此方ヲ向イテ下サイト呼フ者アリ、諸君諸君ト我々ト理想目ノハ同ジデアル、唯タ是ノ目的點ニ達スル途ニ於テ、諸君ト我々ト自ラ違フノデアリマス、諸君、封建ノ時代ニ於キマシテハ、各藩ニ於テ政治ガ行ハレタ時ニ、所謂名將賢君ト謂ハレタ人ノ政治ノ跡ヲ見マスルノニ、必ズ其領土内ノ地理、地勢、及人情、氣風ト云フモノヲ能ク實際ニ考察ヲシテ、然後之ニ適當ナル制度ヲ立テ、之ニ適當ナル政法ヲ行フコトデアリマス、(ソナナ事ハ分テ居ル)ト呼フ者アリ、今日ノ市町村ヲ見ルノニ、市ニ於テハ七十三、町村ニ於テハ一万七千七百幾ツト云フ澤山町村ガアルノデアリマス、而シテ其町村ノ中ニハ、山村ノ住民ハ自ラ山村ノ住民ノ氣風氣質ガアル、山村ノ住民ハ自ラ山村ノ住民ノ氣風氣質ガアル、之ヲ一概ニ劃一ノ制度ノ下ニ取扱フコト云フコトハ、ドウシテモ考ヘナケレバナラス事デアル、今日政府當局者ガ其點ニ留意シマシテ、級別撤廢ト云フコトヲ總テ徹底セシメナカッタト云フコトハ、洵ニ爲政家トシテ尤モナ事ダト我々ハ同感ヲスルノデアリマス、

六大都市行政監督ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續

報告書

一六大都市行政監督ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正十年三月十五日

六大都市行政監督ニ關スル
法律案委員長
松浦五兵衛

衆議院議長奥繁三郎殿
〔松浦五兵衛君登壇、拍手起ル〕

○松浦五兵衛君 本案ハ市又ハ市長ニ屬スル國ノ事務
ニ關シ府縣知事ノ許可又ハ認可ヲ要スル事件ニ付テハ六
大都市ニ限リ勅令ノ定ムル所ニ依リ其許可又ハ認可ヲ受
ケシメサルコトヲ得下斯ウ云フ簡單ナ文書デアリマスガ、而
モ其内容ハ中々重大ナモノガアルデアリマス、就キマシテ其
委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマスガ、委員會ハ昨日
及本日午前二回ニ互テ開會致シマス、其政府當局ニ對
シ、詳細ナル質問應答ヲ遂ゲマシテ、就中其質問中、最も重
要ナルモノト感シマス二三ノ點ヲ簡單ニ御報告シヤウト思
ヒマス、先ツ第一ハ東京ヲ初メ大都市ハ、十數年前ヨリ既
ニ特別市制ノ施行ヲ希望シ居ル、然ルニ拘ラズ政府ハ今日
迄ソレヲ施行シナイガ、一方ニ於テ今回ノ如キ法案ヲ提出
スルト云フコトハ、益、以テ特別市制ヲ執行スルノ意思ノ有
無ヲ疑ハシケレバナラス、政府ハ果シテ此東京市ノ如キ大都
市ニ對シ、特別市制ヲ執行スルノ意アリヤ否ヤノ質問ガア
リマシテ、之ニ對シテ政府ハ都市ハ其發達ニ從テ色々行政
上ノ手續ヲ變ヘナケレバナラスコトハ當然デアル、又大小ノ
都市ヲ通ジテ一樣ノ規定ニ依ルト云フコトモ、段々不便ヲ
感ズルコトヲ思ヒマス、是等ヲ考慮シテ今回先以テ此
六大都市ニ關シテモ、一言スレバ二重監督ヲ省クト云フヤ
ウナコトデアリマスガ、或ハ市長ノ權限增加トモ云ヘマセウ、是
ガ此案ヲ提出シタ所以デアル、サレバ此案ハ所謂市ノ行政
ノ監督權ノ改廢ニ止マテ居ッテ、市制ノ改廢トハ全然別モノ
デアル、故ニ特別市制ニ就テハ、此案ハ別物トシテ考慮シ
テ貰ヒタイト云フ、斯ウ云フヤウナ答辯デアリマス、次ニ勅令
ヲ以テ許可又ハ認可ヲ要シナイト云フヤウナコトヲ規定スル
ト云フコトハ、他ノ法律ニ規定シテアル所ノ規定ヲ動カス次
第二ナデ、詰リ勅令ヲ以テ法律ヲ改廢スルト云フヤウナ結
果ニ陷ル、即チ或ハ憲法上ノ規定ニモ、幾分低弱スル嫌ヒハ
ナイカト云フ質問モ出マシテ、是亦重要ナモノト思ハレマシ
タ、之ニ對スル政府委員ノ答辯ハ、矢張ハ一種ノ委任立

〔拍手起ル〕乃チ諸君ハ理想論デアアル、實行ニ就テハ、餘程
御考ヲ要スル事デアラウト思フデアリマス、例ヘバ憲政會
諸君ニ於テハ、此普通選舉ノ問題ニ於キマシテ、色々徹底
的ノ御議論モアッタデアリマス、結局獨立ノ生計
ト云フコトヲ固ク御守ニシタノハ、是亦一種ノ漸進論デナ
イトハ云ヘナイデアリマス、諸君ノ言フ所ハ矢張漸進論デ
アッタ、即チ我々ハ憲政會ノ中ニ獨立ノ生計ト云フコトヲ維
持サレタト云フコトニ就テ、敬意ヲ表シタ者デアリマス、唯ダ
漸進ト云ヘバ或ハ因循姑息ト云ヒ、或ハ社會ノ情勢ヲ解セ
ザル者ナドト云フ御批評ガアルヤデアリマス、凡ソ
世ノ中ノ事ハ必ズ其目的ニ達スルト云フコトガ能事デハナ
イデアリマス、諸君ハ唯ダ理想ニ任ゼヨ、吾々ハ何處マデモ
十分國民ノ狀態、國家ノ狀態ノ實際ニ就テ十分研究ヲシ
テ、サウシテ國ノ前途ニ對シテ、吾々ハ大イニ努力スルト云フ
コトハ、即チ國家ニ重キヲナス吾々ノ任務デアルト考ヘテ居
ルデアリマス(拍手起ル)此故ニ本案ニ對シテハ、即チ植原
君ノ廢案論ニ對シテハ、全然反對スルモノデアリマス(拍手
起ル)

○岩崎勳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌ
カ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ討論ハ
終結サレマシタ、採決致シマス、此兩案ニ就テ第二讀會決
議ノ賛否ヲ決シマス、兩案共二讀會ノ決議ノ通り、決定ス
ルニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

○議長(奥繁三郎君) 起立多數、仍テ兩案ハ第二讀會
議決ノ通り可決確定致シマシタ(拍手起ル)

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致
シマス、即チ茲ニ政府提出六大都市行政監督ニ關スル法
律案、政府提出黃燐燐寸製造禁止法案、政府提出畜牛
結核病豫防法中改正法律案ヲ、各別ニ議題トナシ、其第
一讀會ノ續キヲ開キ、各委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審ヲ
進メラレンコトヲ望ミマス

〔賛成「賛成」ノ聲起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ賛成ト認メマス、
仍テ日程ハ變更サレマシタ、六大都市行政監督ニ關スル法
律案ノ第一讀會ノ續キヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマ
ス、松浦五兵衛君

法ノ一形式デアッテ、理論上決シテ差支ガナイモノト認メテ
居ル、殊ニ既ニ先例ハ幾ツモアルト云フノデアリマス、是亦
之ヲ諒ト致シマシタ、ソレカラ次ニ此勅令ニ規定スルト云フ
コトハ、寔ニ抽象的デアッテ、漠然トシテ居ルガ、而モ其内容ニ
依ッテ此法律ノ效果ニ非常ナル差異ヲ生ジテ來ルデアアル、
故ニ其内容ハ一體下ウ云フモノデアアルカ、勅令ニ規定シヤウ
ト云フ所ノ條項ハ如何ナルモノデアアルカト云フ質問ガ出マ
シタ、之ニ對シテ、又政府委員ハ數十項ニ涉ル所ノ項目ヲ
列舉シタ參考書ヲ提出サレマシテ、先ツ第一ニ現在市制ニ
規定シテアル所ノモノハ、勿論全部ヲ包含セシムル積リデ
アル、又其他各種ノ關係法律ニ於テ規定サレテアル所ノモ
ノ、成ベク大部分之ヲ包含セシメテ、勅令ニ規定スル積リ
デアアル併ナガラ各種ノ關係法律ニ就テハ、獨リ內務省ノ所
管ノミナラズ、他ノ各省ニ關係スル所ノモノモアルカラ、只今
之ヲ斷言スル譯ニハ行カナイガ、宛三角成ルモノハ、之ヲ大部
今日マデ各法律關係ニ於テ規定サレタ所ノモノハ、之ヲ大部
分包含セシムルヤウナ趣意デアルト云フノ答辯デアリマス
テ、是亦委員會ニ於テハ之ヲ諒ト致シマシタ、斯ノ如クニシ
テ、其他二三質問モアリマシタガ、是ハ簡單デアリマスカラ省
略致シマス、斯クシテ質問ハ終結致シマシテ、更ニ討論ニ移
リマシタ所ガ、宮崎三之助君ヨリ原案全部賛成御演說ガ
アリマシタ、其次ニ武内作平君、高木正年君ヨリモ賛成ノ
御演說ガアリマシテ、全會一致ヲ以テ決シマシタ、右御報
告申シマス(拍手起ル)〔異議ナシト呼フ聲アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 討論ノ通告ガアリマス、作間耕逸
君

〔作間耕逸君登壇、拍手起ル〕

〔異議ナシ「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○作間耕逸君 本員ハ只今委員長カラ御報告ノアリマシ
タ通り、六大都市ノ「簡單」簡單ト呼フ者アリ自治行政
並ニ國ヨリ六大都市ノ市長ガ委任ヲ受ケタル行政事項ニ
付テ特ニ府縣知事ノ認可又ハ許可ヲ要スル事柄ニ付此
法律ノ委任シタル勅令ヲ以テ其許可又ハ認可ヲ要セザル
コトニ定メラル、ト云フ次第デアリマス、(賛成「賛成」
「モウ宜イ」ト呼フ者アリ)此法案ノ趣旨ノ如キハ、既ニ早ク
自治制施行ノ當初ニ於テ、元來六大都市位ニ限リテハ、其
當時施行セラレタレバナラヌ位ニ、本員共ハ考ヘテ居ッ
タデアリマス、今日ニ於テ、此法案ノ提出ノアリマスルコトハ、
寧ろ時期ニ於テハ大ニ晚キヲ感ジマス、ノデアリマス、ケレ
ドモ、併ナガラ時期晚シト雖モ、尙ホ無キニ勝レルノデアリマ
ス、又本員等ガ「餘計ナコトハ止シ給ヘ」無用無用ノ
聲起ル(多年熱求シテ參リマシタ特別市制ノ一部ノ實現ト
〔無用無用〕簡單ト呼フ者アリ)認メラレル事柄デアリマ

改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、柳原九兵衛君

畜牛結核病豫防法中改正法律案 (政府提出)
第一讀會ノ續 (委員長報告)

報告書

一 畜牛結核病豫防法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十五日

畜牛結核病豫防法
中改正法律案委員長

柳原九兵衛

衆議院議長奥繁三郎殿

〔柳原九兵衛君登壇、拍手起ル〕

○ 柳原九兵衛君 只今問題ニ上リマシタ、畜牛結核豫防法ノ委員會ノ經過ヲ報告致シマス、本案ハ結核豫防法中手當金支給ノ改正案デアリマス、委員會ニ於キマシテハ、政府委員ノ説明ヲ聴キ、質問應答ヲ重ネマシテ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、御賛成アラント希望致シマス(拍手起ル)

○ 議長(奥繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔二讀會ヲ開クニ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○ 議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○ 岩崎勳君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定アラント希望シマス

〔賛成々々〕ノ聲起ル

○ 議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○ 議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

畜牛結核病豫防法中改正法律案
第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○ 議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ委員長報告通り、可決確定致シマシタ

○ 岩崎勳君 日程ノ審議ハ本日ハ此程度ニ止メ、殘餘ノ

日程ハ之ヲ延會シ、明十六日定刻ヨリ特ニ本會議ヲ開キ、他ノ日程ト共ニ審議セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○ 議長(奥繁三郎君) マダ諮問ガアリマス、第一部選出請願委員與村千太郎君辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○ 議長(奥繁三郎君) 許可致シマス——而シテ岩崎君ノ動議ニハ御賛成ト認メマス、動議ノ如ク決シマシタ、就テハ明十六日本會議ヲ開クコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會午後七時二十五分散會

衆議院議事速記録第二十五號正誤

頁 段 行 誤 正
六五 下 一〇九 第十四條第一項第三號中「山林ノ所得」ヲ「山林ノ所得」ニ改ム

衆議院議事速記録第二十六號正誤

頁 段 行 誤 正
六七 上 一八 「鳩山一郎君ヲ削ル」
六七 上 二二 「石川淳君ヲ削ル」